



ISDN

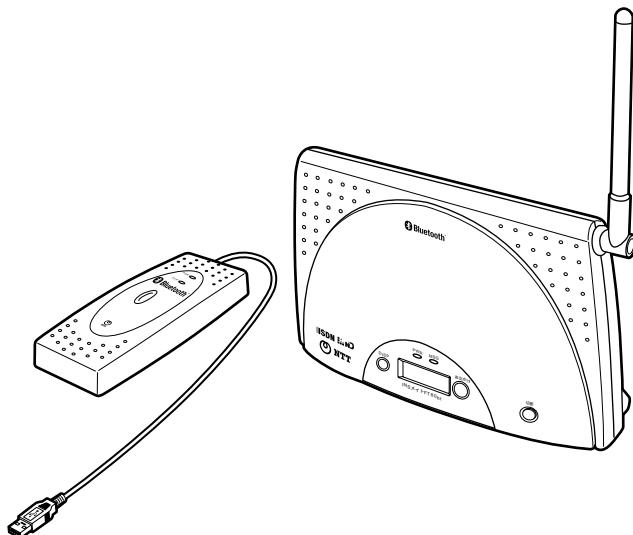
■■■■■ L.モード 対応

■■■■■ ナンバー・ディスプレイ 対応
名前・ディスプレイ / キヤッテホン・ディスプレイ

INSメイトFT80bt ワイヤレスセット 取扱説明書

このたびは、INSメイトFT80btワイヤレスセットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

Bluetooth™は、その商標権者が権利を所有しており、当社へライセンスされています。

Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP operating systemの略です。

Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® 98 Second Editionは、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Editionの略です。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

Windows NT® 4.0は、Microsoft® Windows NT® operating system Version 4.0の略です。

Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

Hayesは米国Hayes Microcomputer Products, Inc.の登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

付属品のCD-ROMは日本語版OS以外の動作保証はしていません。

付属品のCD-ROMはソフトウェアのパックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

ご使用にあたってのお願い

本商品のご利用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となつた場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。

[認証機器名：INSメイトFT80bt]

ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- 本商品を分解、改造すること
- 本商品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品の仕様は国内向けてとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本商品のアナログポートは、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。

本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。

本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。

本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

本商品の使用上の注意

本商品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

- 1.本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2.万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、すみやかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
- 3.その他不明な点やお困りのことが起きたときは、弊社通信機器お取扱相談センタまでお問い合わせください。

使用周波数帯について

2.4FH8

本商品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は80 m、全帯域を採用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 危険

乾電池のアルカリ液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

万一、煙が出ている、変なにおいがする、異常音がするなど異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

万一、内部に水などが入ったり、本商品をぬらした場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本商品を分解、改造したりしないでください。火災、感電の原因となることがあります。また、改造は法律で禁止されています。

本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検、調整、清掃、修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

本商品のそばに花びん、コップ、化粧品、薬用品など液体の入った容器や植木鉢、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。

ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグ等を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電の原因となります。

⚠️ 警告

電源アダプタコードに傷を付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源アダプタコードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。電源アダプタコードが傷んだら、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

ぬれた手で本商品を操作したり、ぬれた手で乾電池を交換しないでください。感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災、感電の原因となることがあります。

テープルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となることがあります。

お客様がご用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

本商品を移動させる場合は、電源アダプタを電源コンセントから抜き、電話機コードを差込口から抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。

万一、漏電した場合の感電事故防止や、誘雷による感電防止、機器保護のため、必ずアースをとつてください。また、アース線をガス管に接続しないでください。爆発の原因となることがあります。

電源アダプタを電源コンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。電源アダプタの刃に金属などが触れると、火災、感電の原因となることがあります。

電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。ほこりにより火災、感電の原因となることがあります。

本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使いになる前に（設置環境）

⚠ 注意

直射日光の当たる所や、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本商品をあおむけに置かないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。

本商品を重ね置きしないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

お使いのとき

⚠ 注意

近くに雷が発生したときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災、感電の原因となることがあります。

本商品や電源アダプタを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

本商品の近くに、紙などの燃えやすいものを置かないでください。発熱により火災の原因となることがあります。

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。
- 本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
- 紙、本などを載せたり立て掛けたりする。

お使いのとき

⚠ 注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず乾電池を抜き、電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。

電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

お手入れをするときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。

半年に1回程度、電源アダプタと電源コンセント間のほこりを、取り除いてください。ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。ほこりを取り除くときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。

本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

乾電池は正しくお使いください。使いかたを間違えると液漏れ、発熱、破裂により、けがや故障の原因となることがあります。以下のことを必ず守ってください。

- ・保証期間内の単3アルカリ乾電池をお使いください。
(アルカリ以外のマンガン電池などの動作保証はしていません。)
- ・乾電池をショートさせたり、分解したりしないでください。
- ・乾電池のプラス(+)マイナス(-)の方向を確認して入れてください。
- ・乾電池の液漏れによる本商品の故障については保証いたしかねます。
- ・外装ラベルがはがれたり、傷付いた乾電池を使用しないでください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池などを混用しないでください。
- ・使用済みの乾電池を火中に投げないでください。
- ・消耗した乾電池は、すぐに交換してください。

停電がない場合でも1年に1回の割合で新しいアルカリ乾電池に交換してください。長期間乾電池を装着したままでご使用になると、液漏れによるトラブルが発生するおそれがあります。

乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池をなめたり、誤って飲むことがないようにしてください。乾電池は幼児の手の届かない所に置いてください。

乾電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。

乾電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。

停電回復後すぐに乾電池を交換する場合は、乾電池が熱くなつてやけどをするおそれがありますので、確認してから交換してください。

付属品のCD-ROMをオーディオ用プレイヤーで使用しないでください。大音量によりスピーカの破損や耳の障害の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

取り扱いについて

STOP お願い

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を付けた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからふきしてください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

置き場所について

STOP お願い

製氷庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

電気製品、AV・OA機器などの磁気を帯びている所や電磁波が発生している所に置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れことがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

金属製家具などの近くは避けてください。電波が飛びにくくなることがあります。

周囲の環境（壁、家具など）によって使用範囲が狭くなることがあります。

INSメイトFT80btのアンテナは床面に対して垂直に立ててください。準備のあと、INSメイトFT80btとFT80btアダプタで通信をして、使用できる場所かどうかを確かめてから設置してください。

硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

使いのとき

お願い

電源を再投入する場合、電源を切った状態から5秒以上経った後、電源の再投入を行ってください。
故障の原因となることがあります。

INSナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

本商品プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

本商品は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点に十分配慮してご使用ください。

目 次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
サービスガイド	16
マニュアルの読み進めかた	20

お使いになる前に

セットを確認してください	24
各部の名前 (INSメイトFT80bt)	25
各部の名前 (FT80btアダプタ)	30
停電になったときのために	31
接続します	33
1 INSネット64回線の接続 (内蔵DSUをご使用の場合)	33
2 動作の確認	34
3 電話機などの接続	35
4 電話がかけられることの確認	37
すでにお持ちのDSUをご使用になるには	38
INSメイトFT80bt以外のINSネット64用通信機器を接続するには	39

INSメイトFT80bt編

1 通信をする準備

パソコンとの接続について	42
ご使用のOSを確認するには	43

2 Windows®

ユーティリティをインストールするには	44
USBポートを使うには	47
RS-232Cポートを使うには	51

3 Mac OS

必要なソフトウェアをインストールするには	
(Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2)	55
必要なソフトウェアをインストールするには (Mac OS X)	58

4 設定ユーティリティの利用

設定ユーティリティを起動 / 終了するには	64
Windows®の場合	64
Mac OS (Mac OS Xを除く) の場合	66
設定ユーティリティのメニュー画面が表示されない場合	67
設定ユーティリティの基本操作	68
メニュー画面からの操作	68
設定画面の基本操作	70
カレンダを設定するには	72

FT80btアダプタ編

1 通信をする準備

パソコンとの接続について	74
必要なソフトウェアをインストールするには	76
FT80btアダプタ接続ユーティリティと	
USBドライバをインストールする	76
Windows®XPの場合のインストール操作	80

2 INSメイトFT80btの準備

パソコンを登録するには	82
暗証番号を設定する	82
パスキーを登録する	84
ワンタッチ接続の設定を行う	88
ワイヤレス接続するには	90

3 Windows® XPの場合の準備

インストールされたCOMポートを確認するには	91
モデム定義ファイルをインストールするには	94

4 Windows® 2000の場合の準備

インストールされたCOMポートを確認するには	102
モデム定義ファイルをインストールするには	105

目 次

5) FT80btアダプタ接続ユーティリティの利用

ユーティリティを利用するには	112
FT80btアダプタ接続ユーティリティの画面を表示する	112
FT80btアダプタ接続ユーティリティを終了する	113
FT80btアダプタ接続ユーティリティの画面	114
FT80btアダプタから設定ユーティリティを利用するには	118

電話 / ファクス編

1) すぐに使えます

電話をかける / ファクスを送るには (発信)	120
電話を受ける / ファクスを受けるには (着信)	122
発信履歴 / 着信履歴を表示するには	124
発信履歴を表示する	124
着信履歴を表示する	124
通話 / 通信料金を確認するには	126
直前の通話料金を表示する	126
累積の通話料金を表示する	127
内線でお話しするには (内線通話)	128
外からの電話を取りつぐには (内線転送)	130

2) 電話のいろいろな使いかた

着信音が鳴る電話機を指定するには (優先着信ポート指定)	132
電話やファクスを受けないようにするには (着信拒否)	133
お話し中にかかってきた電話を受けるには	
(INSキャッチホン / 疑似キャッチホン)	135
INSキャッチホン	135
INSキャッチホンを設定する	135
疑似キャッチホン	136
疑似キャッチホンを設定する	137
お話し中にかかってきた電話に出る	138
特定の相手からかかってきた電話を識別するには	
(INSなりわけサービス / 疑似なりわけ)	140
INSなりわけサービス	140

疑似なりわけ	141
お話し中に特定の相手からかかってきた電話を識別するには	
(通信中着信識別通知)	143
3人でお話しするには(フレックスホン三者通話/疑似三者通話)	144
フレックスホン三者通話(切替モード/ミキシングモード)	144
疑似三者通話(切替モード/ミキシングモード)	145
相手を切り替えてお話しする(切替モード)	146
3人で同時にお話しする(ミキシングモード)	147
お話し中の電話を別の電話番号へ転送するには(通信中転送)	149
お話し中に転送する	149
短縮ダイヤルで電話をかけるには(短縮ダイヤル)	151
短縮ダイヤルで電話をかける	151
ハンドセットを取りあげるだけで特定の相手に電話をかけるには	
(ホットライン)	152
ホットラインで電話をかける	152
Lモードを利用するには	154
INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するには	156

3 ファクスのいろいろな使いかた

ファクスを自動転送するには(FAX自動転送)	158
電話機からファクスへ自動転送する	158
着信音を鳴らさずにファクスを受信するには(FAX無鳴動着信)	160

4 発信者番号の通知と表示

発信者番号の通知について	161
一般回線からの電話番号も表示するには	
(INSナンバー・ディスプレイ)	163
INSナンバー・ディスプレイを設定する	163
電話番号が通知されないときにメッセージで応答する	
(INSナンバー・リクエスト)	165
キャッチホンと組み合わせて利用する	
(キャッチホン・ディスプレイ)	166
相手の方の名前を表示する(ネーム・ディスプレイ)	168

目 次

5 電話やファクスの呼び分け

呼び分けのいろいろな方法	170
i・ナンバーで複数の電話番号を使い分けるには (i・ナンバー)	172
i・ナンバーを設定する	172
ダイヤルイン／グローバル着信で複数の電話番号を使い分けるには (ダイヤルイン／グローバル着信)	180
1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには (モデルダイヤルイン)	182
i・ナンバーを利用する場合	182
ダイヤルインを利用する場合	184
サブアドレスを指定して特定の機器を呼び出すには (サブアドレス)	186
接続機器の設定で呼び分けるには (接続機器設定)	187

6 転送 / メッセージ録音

電話に出られないときのいろいろな方法	188
外からの電話を別の相手に転送するには (着信転送 / 疑似着信転送)	190
着信転送 (フレックスホン)	190
疑似着信転送	190
着信転送または疑似着信転送を設定する	191
条件を指定して転送するには	
(INSボイスワープ / INSボイスワープセレクト)	195
INSボイスワープ	195
INSボイスワープセレクト	195
INSボイスワープ / INSボイスワープセレクトを ご利用になる場合の設定	196
転送を開始 / 停止する	198
すべての電話をキャッチするには (INSマジックボックス)	199

7 電話機からの設定

電話機から機能を設定するには	200
----------------	-----

ご参考

1 USBドライバについて

Windows®でUSBドライバを使用できないときは	218
USBドライバをアップデートするには	222
不要になったUSBドライバを削除するには	223
USBポートに関するQ&A	224

2 ご参考に

CD-ROMの「パソコン活用編・参考情報」について	228
オプションをご利用になるには	229
RS-232Cポートインターフェース	230
故障かな?と思ったら	231
Q&A	238
索引	245
仕様	251
保守サービスのご案内	253

- ・インターネットについては、別冊「インターネット接続ガイド」をご覧ください。
- ・以下については、付属のINSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROM (PDFファイル)をご覧ください。 (☞P228)
「パソコン活用編・参考情報」
 - ・設定ユーティリティの活用
 - ・パソコンでの設定画面
 - ・いろいろな通信機能
 - ・イージーウィザードが利用できないときは
 - ・ATコマンド
 - ・設定記入シート

サービスガイド

INSメイトFT80btワイヤレスセットでできること

INSメイトFT80btワイヤレスセットに今までお使いの電話機やファクスを接続して、いろいろ活用できます。また、パソコンを接続すれば、インターネットも簡単に使えます。

ワイヤレスでインターネットに接続

パソコンとワイヤレスに接続して、家中どこでもインターネットを利用できます。

インターネット接続ガイド

別冊

いろいろな設定は電話機からOK

パソコンを接続していなくても、電話機から、いろいろな設定することができます。

パソコンをお使いの方は、設定ユーティリティを使って簡単に設定できます。

電話機からの設定 設定ユーティリティからの設定

P200

P68

3台で同時にインターネット

MUX機能により、INSメイトFT80btのUSBポート、RS-232Cポートに接続したパソコン、FT80btアダプタに接続したパソコンの3台で、同時にインターネットに接続できます。

MUX機能 インターネット接続ガイド

CD-ROM

別冊

Lモード対応アナログ通信機器が接続可能

Lモード(電話機でメールのやりとりや、各種情報の閲覧ができるサービス)に対応したアナログ通信機器を接続することができます。

Lモード

P154

2台の電話を内線で使う

接続した電話機どうしだお話ししたり、電話を転送することができます。

内線通話

内線転送

P128

P130

外からの電話を決められた相手の方に転送する

外の相手の方からの電話を、決められた別の相手の方に転送することができます。

疑似着信転送

P190

かけてきた方を音で識別

登録した相手の方からの電話は、通常と異なる着信音が鳴るようにすることができます。

一般的の電話回線からの電話を識別するには、INSナンバー・ディスプレイの契約(有料)が必要です。

疑似なりわけ

P141

お話し中にかかってきた電話もキャッチ

2本分のBチャネルを使用して、お話し中にかかってきた電話に出ることができます。

疑似キャッチホン

P136

着信音を鳴らさず静かにファクス受信

音を鳴らさずにファクスを受信することができます。

FAX無鳴動着信

P160

INSネット64ならではの幅広いサービス

INSネット64には、いろいろなご利用形態があります。

 INSネット64の付加サービスの料金が別途必要です。

 ご利用形態によって、別途料金が必要となる場合があります。

 INSメイトFT80btの設定が必要です。

 ご利用形態によって、設定が必要となる場合があります。

かけてきた方の電話番号を表示
接続した電話機に、かけてきた方の電話番号を表示することができます。

INSナンバー・ディスプレイ

P163

かけてきた方を音で識別
登録した相手の方からの電話は、通常と異なる着信音を鳴らすようにすることができます。

INSなりわけサービス

P140

1本の契約回線に複数の電話番号
1本の契約で、複数の電話番号を使い分けることができます。

電話とファクスなどを別々の番号で受けられます。

・ナンバー ダイヤルイン

P172

P180

こちらの電話番号を相手の方に通知
発信者番号を相手の方に通知することができます。通知しないようにすることもできます。

発信者番号通知

P161

お出かけ先への転送機能

無条件転送、無応答転送、話中時転送の指定ができます。
ボイスワープセレクトは、かかってきた相手によって転送先を変えられます。

INSボイスワープ

INSボイスワープセレクト

P195

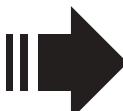
お話し中にかかってきた電話も
キヤッチ

お話し中にかかってきた電話に出ることができます。

INSキヤッチホン

P135

- ・呼び分けのいろいろな方法 (☞P170)
- ・電話に出られないときのいろいろな方法 (☞P188)



サービスガイド

ご利用になれる主なサービス

サービス	説明	料金	設定	参照ページ	
発信者番号通知	電話をかけたときに、こちらの電話番号を相手の方に通知することができます。	-		P161	
料金情報通知	通話料金、通信料金が通知されます。	-	-	P126	
サブアドレス通知	サブアドレスを通知して、特定の機器に着信させることができます。	-		P171 P186	
INSナンバー・ディスプレイ	一般的の電話回線からかかってきた電話も、電話番号が通知されます。			P163	
i・ナンバー	複数の電話番号を持つことができます。			P170 P172	
フレックスホン	INSキャッチホン	お話し中にかかってきた電話に出ることができます。			P135
	三者通話	お話し中に別の相手の方に電話をかけ、3人でお話しになります。			P144
	通信中転送	お話し中の電話を別の電話番号へ転送できます。			P149
	着信転送	かかってきた電話をあらかじめ登録した電話番号へ転送できます。			P188 P190
通信中着信識別通知	お話し中に、あらかじめ登録した電話番号からの電話があると、通常とは異なる音でお知らせします。			P143	
代表取扱サービス	あらかじめ決めておいた代表番号に着信があると、代表群から空き回線を選んで着信します。	-	-	-	
ダイヤルイン	複数の電話番号を持つことができます。			P170 P180	
INSなりわけサービス	あらかじめ登録した電話番号からかかってきたときは、通常と異なる着信音を鳴らします。			P140	
INSボイスワープ	かかってきた電話を、指定した条件によって転送します。			P188 P195	
INSボイスワープセレクト	INSボイスワープの機能に加えて、転送方法を選択できます。			P188 P195	
INSマジックボックス	メッセージ録音、INSキャッチホン、着信転送の機能を利用できます。			P189 P199	
発着信専用サービス	発信専用または着信専用にすることができます。	-	-	-	

サービス	説明	料金	設定	参照ページ
INSメッセージ到着お知らせサービス	メッセージセンタにメッセージがあることを通知するサービスです。			P156
Lモード	電話機でメールサービスとプラウザサービスの2つのサービスがご利用になれます。			P154

フレックスホンとは：INSキャッチホン、三者通話、通信中転送、着信転送の4つの機能の総称です。4つの機能を組み合わせて契約することも、必要な機能だけを契約することもできます。

マニュアルの読み進めかた

本商品を最初にお使いになるときは、この取扱説明書、「インターネット接続ガイド」、「接続早わかりガイド」、「インターネット設定早わかりガイド」、「サービスガイド」、付属のINSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMの「パソコン活用編・参考情報」を次の順序でお読みください。



取扱説明書

お使いになる前に

P24

セットを確認してください

箱を開け、付属品がすべてそろっているか確かめます。



接続早わかり
ガイド



取扱説明書

お使いになる前に

P33

接続します

INSメイトFT80btとINSネット64回線、電話機などを接続します。



インターネット
設定早わかり
ガイド



取扱説明書

INSメイトFT80bt編

P42

パソコンをお使いの方



.....



インターネット
設定早わかり
ガイド



取扱説明書

INSメイトFT80bt編

P44

パソコンのOSと接続方法を確認します

パソコンのOS、INSメイトFT80btとパソコンを接続するポート（USBポートまたはRS-232Cポート）を確認します。



インターネット
設定早わかり
ガイド



取扱説明書

INSメイトFT80bt編

P44

イージーウィザードを利用して、必要なソフトウェアをインストールします

イージーウィザードを利用して、設定ユーティリティおよびINSメイトFT80btにパソコンを接続して使用するためには必要なソフトウェアをインストールします。

Windows® : (☞P44) Mac OS : (☞P55)



CD-ROM

イージーウィザードをご利用になれない場合

CD-ROM



インターネット
設定早わかり
ガイド



取扱説明書

INSメイトFT80bt編

P72

設定ユーティリティを利用して設定します

パソコンからINSメイトFT80btの機能を設定するため、設定ユーティリティを利用します。

設定ユーティリティで電話やファックスのいろいろな機能を設定できます。



CD-ROM

カレンダを設定します

設定ユーティリティを使って、INSメイトFT80btのカレンダの日付、時刻を設定します。



CD-ROM



取扱説明書

FT80btアダプタ編

P74

ワイヤレスで通信するための準備を行います

FT80btアダプタを使用するには、必要なソフトウェアをインストール後、INSメイトFT80btに登録する操作をします。

電話 / ファクスの使いかた



電話 / ファクス編

P120

すぐに使えます

電話機やファクスは、接続したらすぐにお使いになれます。



電話 / ファクス編

P132

電話機やファクスを活用します

電話機やファクスのいろいろな使いかたを紹介しています。

- ・呼び分けのいろいろな方法 (☞P170)
- ・電話に出られないときのいろいろな方法 (☞P188)



電話 / ファクス編

P200

電話機から設定します

電話機からいろいろな機能を設定します。

INSメイトFT80bt
に接続した電話機で
電話やファクスのい
ろいろな機能を設定
できます。



パソコン活用編・参考情報

CD-ROM

通信機能を活用します

通信のいろいろな機能を紹介しています。



インターネット接続ガイド
設定手引き
ガイド

インターネット接続ガイド

別冊

インターネットに接続します

インターネットを利用するための設定を行います。



サービスガイド
取扱説明書

サービスガイド

P16

INSネット64のサービスを紹介します

INSネット64とINSメイトFT80btワイヤレスセットで何ができるか見てみましょう。



ご参考

P218

こんなときにお使いください

- ・INSメイトFT80btのUSBドライバを使用できないときの対処方法などについて説明して
います。(☞P218)
- ・トラブルが発生したとき：修理を依頼される前にご確認ください (☞P231)



パソコン活用編・参考情報

CD-ROM

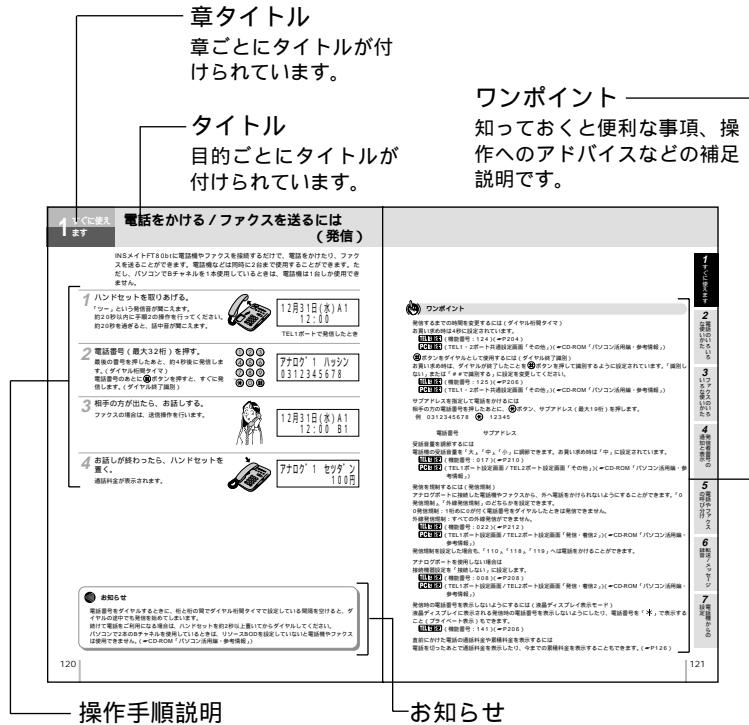
こんなときにお使いください

- ・イージーウィザードが利用できないときに必要なソフトウェアをインストールするときにご覧ください。

マニュアルの読み進めかた

操作説明のページの構成

電話／ファクス編を例に説明します。



操作手順説明

順番に操作を説明します。

一お知らせ

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示します。

参考の見かた

TELで設定電話機から設定を行うときに参考してください。

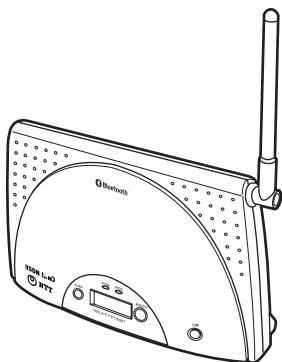
PCで設定パソコンから設定ユーティリティなどを使って設定するときに参考してください。

お使いになる前に

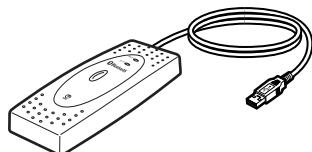
セットを確認してください	24
各部の名前 (INSメイトFT80bt)	25
各部の名前 (FT80btアダプタ)	30
停電になったときのために	31
接続します	33

セットを確認してください

本体

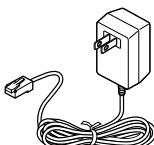


INSメイトFT80bt (1台)

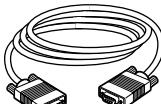


FT80btアダプタ (1台)

付属品



電源アダプタ (1個) 電話機コード (1本: 約3 m) RS-232Cケーブル (ストレート1本: 約1.5 m) USBケーブル (1本: 約1.5 m)



取扱説明書 (1部)



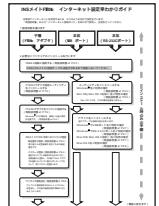
インターネット接続ガイド (1部)



接続早わかりガイド (1部)



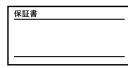
サービスガイド (1部)



インターネット設定早わかりガイド (1部)



CD-ROM (1枚)
専用CD-ROMの使い方 (1部)



保証書 (1枚)



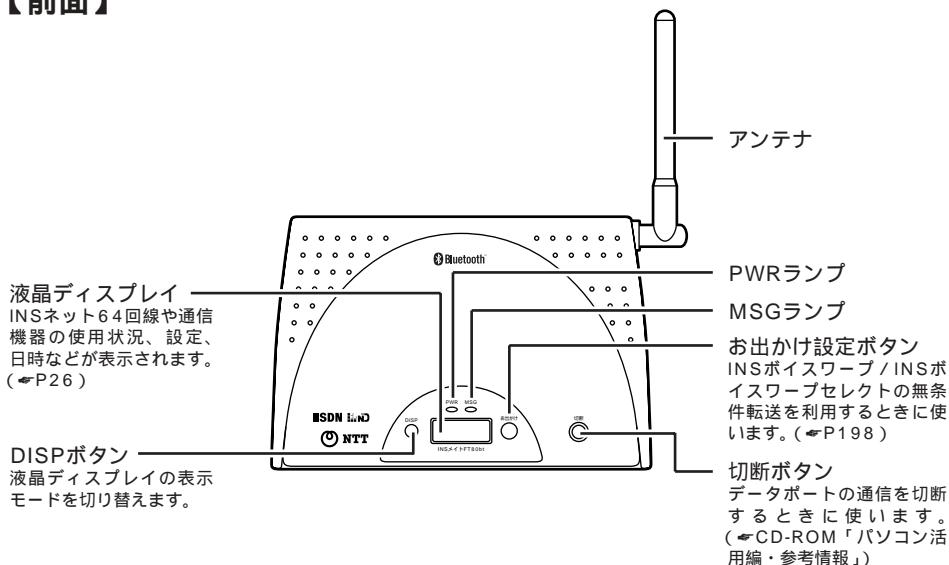
NTT通信機器お取扱
相談センターシール (1枚)



本商品の使用上の
注意シール (1枚)

セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

【前面】



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつきかた(色)	INSメイトFT80btの状態
PWR (POWER) ランプ	点灯 (緑)	電源が入っているとき
	点滅 (赤)	電池動作モードで動作しているとき
	消灯	電源が入っていないとき
MSG (Message) ランプ	点灯 (緑)	メッセージセンタにメッセージがあるとき (Lモード、INSメッセージ到着お知らせサービスをご利用の場合) (P154、156)
	消灯	メッセージセンタにメッセージがないとき (P154、156) またはLモード、INSメッセージ到着お知らせサービスを利用していないとき

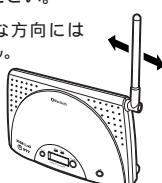
STOP お願い

アンテナを無理に引っ張ったり動かない方向に曲げたりしないでください。

動かせる範囲 180°まで



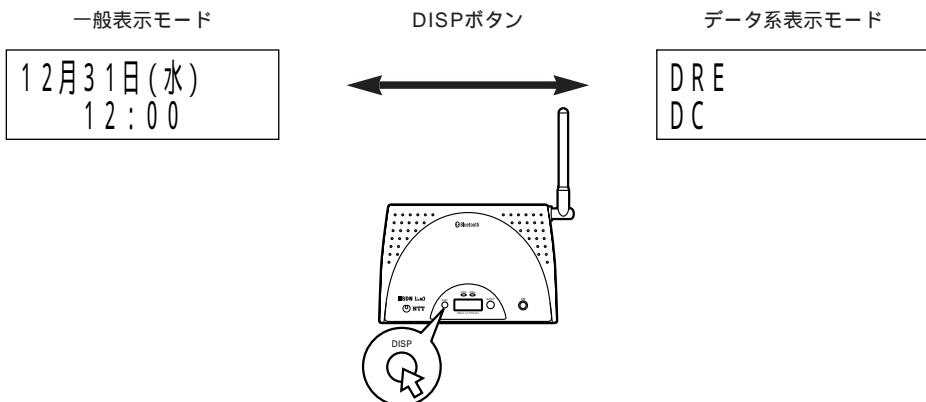
このような方向には
動きません。



各部の名前 (INSメイトFT80bt)

【液晶ディスプレイの見かた】

DISPボタンを押して、一般表示モードとデータ系表示モードを切り替えることができます。電源を入れたときやリセットしたときは、一般表示モードで表示されます。



表示例

一般表示モード	待機中	12月31日(水) 12:00	日付・時刻が表示されます。
	アナログポート使用中	12月31日(水) A 12 12:00	使用しているアナログポート番号が表示されます。 A 1 : TEL1ポートを使用しているとき A 2 : TEL2ポートを使用しているとき
	Bチャネル通信中	12月31日(水) A 2 12:00 B 2	使用しているBチャネルが表示されます。 B 1 : B1チャネルを使用しているとき B 2 : B2チャネルを使用しているとき
	外線発信	アナログ 1 ハッシン 0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 9 >	発信したポートの種別が表示されます。
	外線着信	アナログ チャクシン 0 4 5 1 2 3 4 5 6 7 8 >	着信したポートの種別が表示されます。
	内線着信	アナログ チャクシン ナイセン 1 2	アナログポート番号が表示されます。

一般表示モード	通信終了	アナログ 1 セツタ ン 100円	使用したポートの種別と料金が表示されます。
	着信転送の設定中	チャクシン テンソウ	着信転送または疑似着信転送を設定しているときに表示されます。
	お出かけ設定中	テンソウ セッテイチュウ	お出かけ設定ボタンを押して、INSボイスワープを設定しているときに表示されます。(☞P198)
	回線異常のとき	カイセン イジ ヨウ	INSネット64回線の異常のとき、またはINSメイトFT80btとINSネット64回線が接続されていないときに表示されます。
データ系表示モード	・無線リンクが確立したとき ・無線接続中にデータ系表示モードに切り替えたとき	ムセン リンク Bluetooth PC	接続先のBluetoothデバイス名が約5秒間表示されます。
	・無線リンクが確立してから約5秒経過したとき、または無線接続中にデータ系表示モードに切り替えてから約5秒経過したとき ・無線接続中以外でデータ系表示モードに切り替えたとき	DRE DRE DREL DC DC DC RS-232C USB Bluetooth	信号の状態が表示されます。 表示の意味は次のとおりです。 (上段) D : SD (パソコンからの送信データ) R : RS (パソコンからの送信要求) E : ER (データ端末レディ) L : 無線リンク確立 (Bluetoothのみ) (下段) D : RD (INSメイトFT80btからパソコンへ送られるデータ) C : CS (INSメイトFT80btからパソコンへ送信可能)



ワンポイント

電話番号を表示しないようにするには(液晶ディスプレイ表示モード)

発信、着信したとき、液晶ディスプレイに相手の電話番号が表示されないように設定することができます。また、相手の番号を「＊」で表示すること(プライベート表示)もできます。

TELで設定 (機能番号: 141)(☞P206)

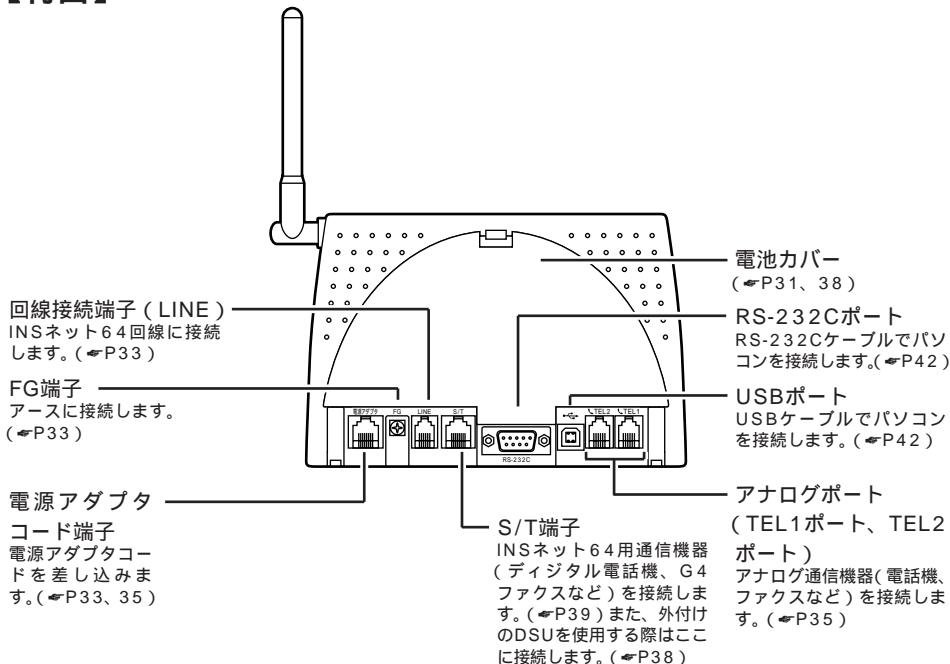


お知らせ

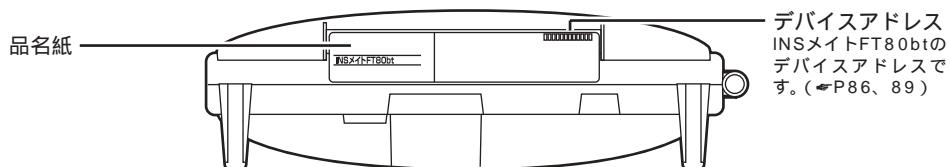
Bluetoothデバイス名に英数字以外の文字が使われている場合は、その文字は「＊」で表示されます。

MacintoshでRS-232Cポートをご利用の場合、ER信号制御の設定(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)を「常時ON」に設定しますが、お使いの変換コネクタまたはケーブルによっては、ER信号表示(「E」)が表示されない場合があります。

【背面】



【底面】

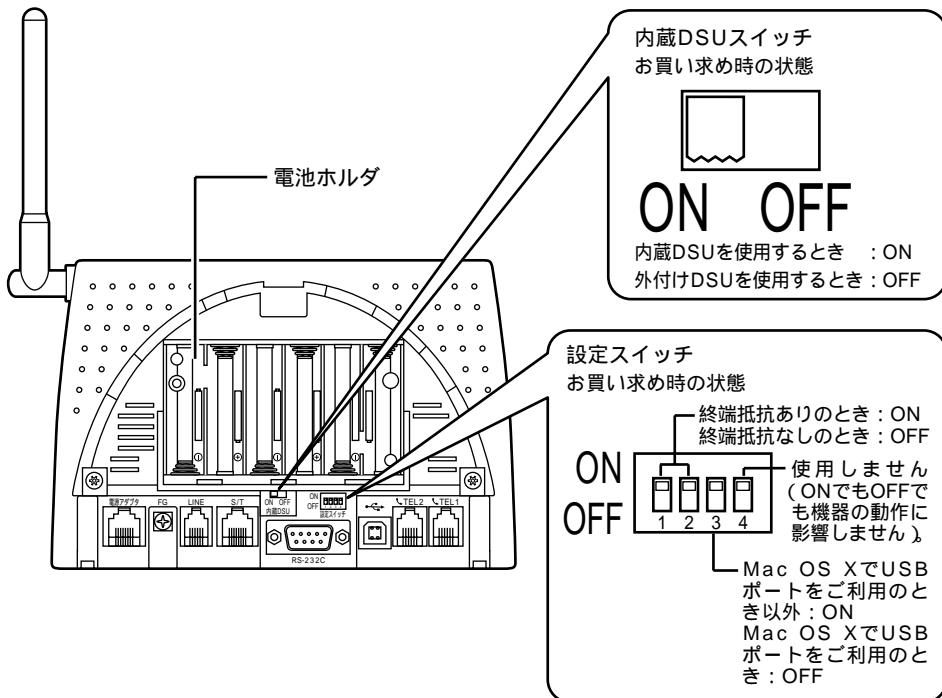


ワンポイント

RS-232CポートとUSBポートについて

- RS-232Cポートは、モ뎀やターミナルアダプタなどの通信機器を接続する標準の規格として、多くのパソコンに装備されています。
- USBポートは、通信機器を接続するための新しい規格です。Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 2000、Mac OS 8.6、9、9.1、9.2およびMac OS Xに対応したパソコンに接続できます。

【電池カバーを開いた状態】



お知らせ

電池カバーを開くときは、背面のコード、ケーブル類を外した状態で行ってください。

各種設定スイッチの操作は、つまようじのような先の細いもので行ってください。

設定スイッチ1、2は、電源アダプタを差し込んでいるときも抜いているときも変更することができます。



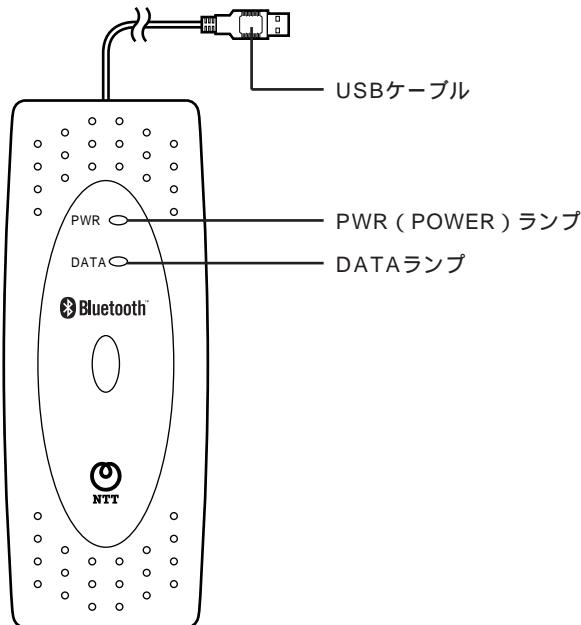
お願い

設定スイッチ1、2の設定は、必ずONとON、またはOFFとOFFの組み合わせで設定してください。

設定スイッチ3、および内蔵DSUスイッチを設定する場合は、電話機コードをINSネット64回線用モジュラジャックから外し、電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で設定してください。

各部の名前 (FT80btアダプタ)

【上面】



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつきかた(色)	FT80btアダプタの状態
PWR (POWER) ランプ	点灯 (緑)	電源が入っているとき
	消灯	電源が入っていないとき
DATAランプ	点灯 (赤)	データ転送を行っているとき
	消灯	データ転送を行っていないとき



お知らせ

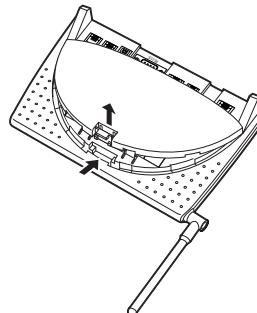
転送しているデータ量が少ないと、DATAランプが点灯しなかったり、暗かったりする場合がありますが、故障ではありません。

停電になったときのために

INSメイトFT80btに市販の単3アルカリ乾電池（6本）を入れておくと、停電時には自動的に電池動作モードに切り替わり、電話をかけたり、データ通信することができます。乾電池はお客様でご用意ください。

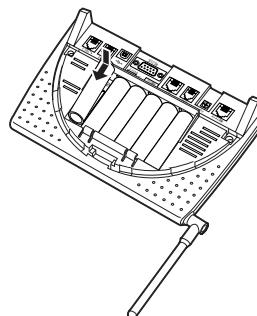
電池動作モード中はPWR（POWER）ランプが赤く点滅し、すべてのポートが使用可能です。

- ① 電池カバーのツメを内側に押し
ながら、持ち上げるようにして
電池カバーを開けます。

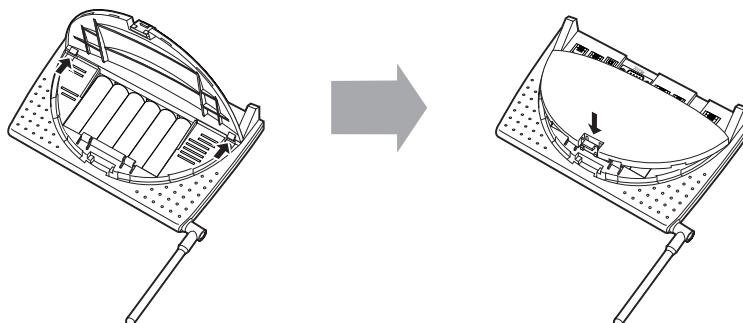


- ② 単3アルカリ乾電池を6本入れま
す。

乾電池を入れるときは、プラス（+）・マ
イナス（-）の向きを確かめて入れてくだ
さい。



- ③ 電池カバーを取り付けます。



（次ページへ続きます）

停電になったときのために

(前ページの続きです)



お知らせ

新品の乾電池で待ち受け時間約3時間、または1つのアナログポートの通話で通話時間約2時間の動作ができます。乾電池の残量がなくなると、INSメイトFT80btは動作しなくなります。

パソコンの背面のコンセントなどからINSメイトFT80btの電源をとっている場合は、パソコンの電源を切ると電池動作モードに切り替わることがあり、乾電池が消耗します。電源はパソコンの背面以外のコンセントからとることをおすすめします。

S/T端子にINSネット64用通信機器を接続する場合は、停電時に動作可能な機器をお使いください。

S/T端子やRS-232CポートまたはUSBポートに接続した機器の種類によっては、乾電池の消耗を早めるものがあります。停電時は、必要でない機器をINSメイトFT80btから外してください。

電池カバーを開くときは、背面のコード、ケーブル類を外した状態で行ってください。



注意

乾電池は正しくお使いください。使いかたを間違えると液漏れ、破裂により、けがや故障の原因となることがあります。

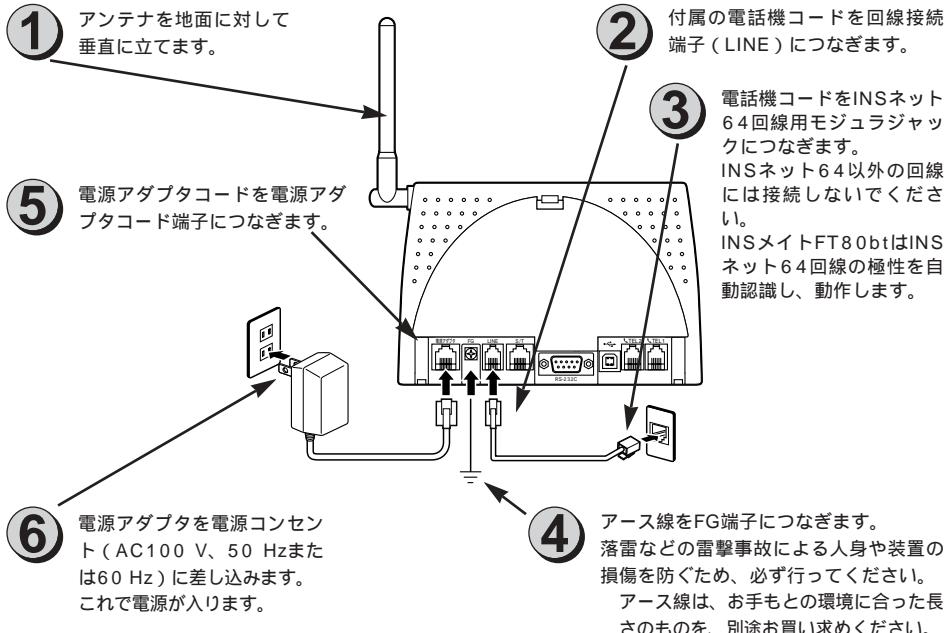
- ・保証期間内の単3アルカリ乾電池をお使いください。
(アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません。)
- ・乾電池をショートさせたり、分解したりしないでください。
- ・乾電池のプラス(+)マイナス(−)の方向を確認して入れてください。
- ・乾電池の液漏れによるINSメイトFT80btの故障については保証いたしかねます。
- ・外装ラベルがはがれたり、傷付いた乾電池を使用しないでください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池などを混用しないでください。
- ・使用済みの乾電池を火中に投げないでください。
- ・消耗した電池は、すぐに交換してください。

停電がない場合でも1年に1回の割合で新しいアルカリ乾電池に交換してください。長期間乾電池を装着したままご使用になると、液漏れによるトラブルが発生するおそれがあります。

接続します

INSメイトFT80btをINSネット64回線に接続し、電話機やファクス、パソコンなどを接続します。INSメイトFT80btにはDSUが内蔵されていますが、すでにお持ちのDSUをご使用になることもできます。(☞P38)

1 INSネット64回線の接続(内蔵DSUをご使用の場合)



お知らせ

電話回線のコンセントがモジュラジャック式でない場合は、工事が必要です。局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。

本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、機器使用料は不要となります。

STOP お願い

アース線の接続は、落雷などの雷撃事故による人身や装置の損傷を防ぐため、必ず行ってください。

⚠ 警告

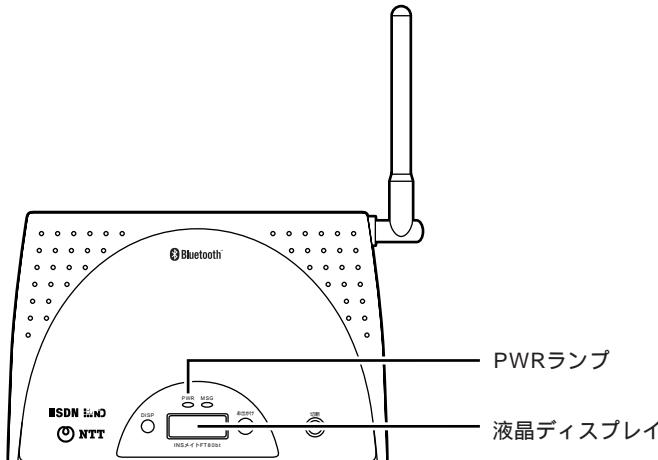
AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

(次ページへ続きます)

接続します

2 動作の確認

電源アダプタを電源コンセントに差し込むと、液晶ディスプレイに文字が表示されます。



正常に接続されているとき

PWR (POWER) ランプが緑色に点灯し、日付・時刻が表示されれば接続完了です。

1月 1日(月)
0:00

何も表示されないとき

- 1 電源アダプタの接続を確認してください。
- 2 電源100Vは電源コンセントに来ていますか？
電源の来ている電源コンセントを使ってください。

正常に接続されていないとき

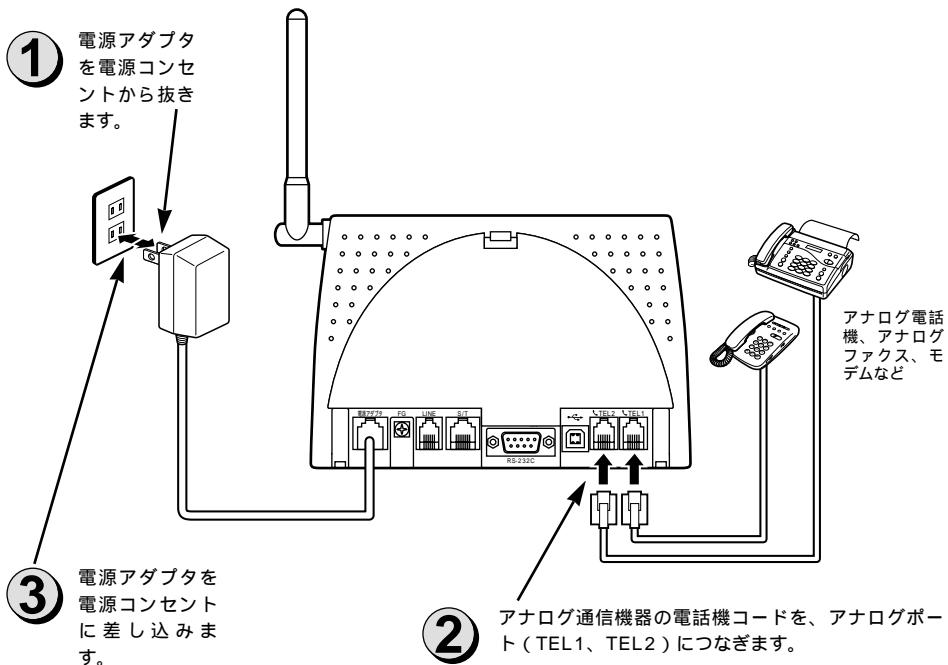
次のように表示されたら、正常に接続できていません。

カイセン イシ ヨウ

- 1 INSメイトFT80btとINSネット64回線との接続を確認してください。
- 2 内蔵DSUスイッチは取扱説明書どおりになっていますか？(☞P29)
正しく設定してください。
接続を確認しても日付・時刻が表示されないとき
INSメイトFT80btまたは回線の異常だと思われます。
局番なしの「113」番までご連絡ください。

3 電話機などの接続

電話機などの機器を接続する前に、必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。



アナログ通信機器を1台のみ接続する場合は

TEL1ポートに機器を接続し、TEL2ポートは接続機器の設定を「接続しない」に設定します。

TELで設定 (ハンドセットを取りあげる **＊＊** **＊** **＊** ②①①⑧**＊**① **＃** ハンドセットを置く) (機能番号: 008) (☞P208)

PCで設定 (TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面「発信・着信2」) (☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

Lモード対応のアナログ通信機器を接続する場合は
INSメイトFT80btの設定が必要です。 (☞P154)

(次ページへ続きます)

接続します

(前ページの続きです)



お知らせ

ダイヤル式 (DP) のアナログ通信機器は、使用できません。

(財) 電気通信端末機器審査協会の適合認証を取得しているアナログ通信機器を接続してください。

一般的の電話回線との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もあります。

料金管理装置などを接続してご使用になると、通信事業者からの通信料金の請求額とは必ずしも一致しない場合がありますので、ご注意ください。

アナログポートに接続したアナログ通信機器の受信音量や自分の声が大きく聞こえる場合は、アナログ通信機器のPADを設定してください。アナログ通信機器のPAD設定方法は、アナログ通信機器の取扱説明書などをご覧ください。



お願い

アナログ通信機器との接続に使用するケーブルの長さは、最長200 m (0.5)を目安としてください。屋外に渡る配線は絶対に行わないでください。雷などによる故障の原因になります。

機器の接続に使用するコード類は、機器に付属のものを使うか、接続する機器に適合したものを使用してください。

1つのアナログポート (TEL1、TEL2ポート) には1台のアナログ通信機器を接続してください。ブランチ接続はできません。1つのアナログポートに複数の通信機器を接続すると、使用できないことがあります。アナログ通信機器にブランチ接続用の端子がある場合でも、この端子には何も接続しないでください。

4 電話がかけられることの確認

接続した電話機から、電話がかかるることを確認します。つながらない場合は、電話機の接続と、電話機のダイヤル種別が「トーン」(ブッシュ対応) に切り替わっているかをご確認ください。

- ① 電話機のハンドセットを取りあげ、117(時報サービス) などにダイヤルします。

ダイヤル後は、そのままお待ちください。



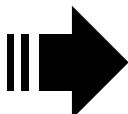
- ② 時報などが聞こえることを確認します。

- ③ ハンドセットを置きます。



お知らせ

117番に電話をかけると通話料金がかかります。



- パソコンをお使いの方は
引き続き、パソコンの準備を行います。 (➡ P42、74)
- パソコンをお使いでない方は
電話やファクスの使いかたへお進みください。 (➡ P119)

接続します

すでにお持ちのDSUをご使用になるには

すでにDSU、DSU内蔵の機器など（外付けDSU）をお持ちの場合は、INSメイトFT80btに内蔵のDSUを使用しないで、外付けDSUをお使いになることができます。

- 1 電池カバーを開け、内蔵DSUスイッチをOFFにします。
- 2 S/T端子にDSUを接続します。
- 3 INSネット64回線用モジュラジャックにDSUを接続します。
- 4 終端抵抗スイッチ（設定スイッチ1、2）を設定します。
INSネット64回線は、INSメイトFT80btの他に最大7台までのINSネット64用通信機器を接続して使用できます。
接続のしかたによって、INSメイトFT80btの設定スイッチ1、2の「終端抵抗」（☞P40）の設定が異なります。
DSUに終端抵抗の設置がある場合は、「OFF」に設定してください。
- 5 以降は、内蔵DSUをご利用の場合と同様に、通信機器、パソコンなどを接続して電源アダプタを電源コンセントに差し込みます。（☞P35）



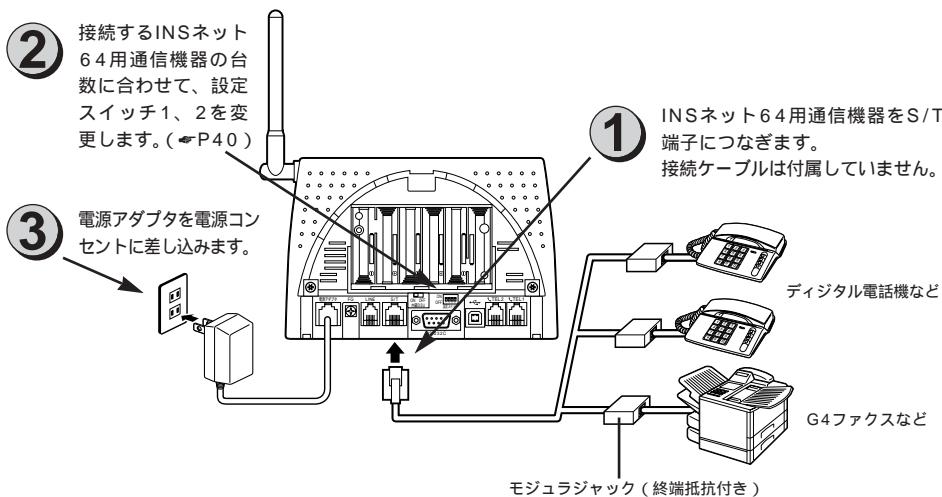
お願い

内蔵DSUスイッチを設定する場合は、電話機コードをINSネット64回線用モジュラジャックから外し、電源アダプタを電源コンセントから抜き、乾電池を取り外した状態で設定してください。

INSメイトFT80bt以外のINSネット64用通信機器を接続するには

S/T端子にケーブル(別売)を接続します。

INSネット64用通信機器は、最大7台まで接続して使用できます。接続する台数によって、終端抵抗スイッチ(設定スイッチ1、2)の設定、配線方法が異なります。



お願ひ

INSネット64用通信機器の接続は、配線が全長で150m以下となるようにしてください。

INSメイトFT80btとINSネット64用通信機器(1台)をつなぐ接続ケーブルが10m以上の場合は、設定スイッチの1と2をOFFにして終端抵抗をなしに切り替えてください。(☞P29)

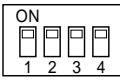
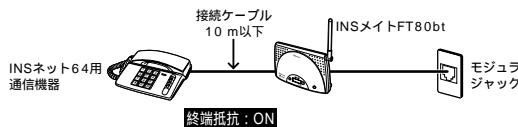
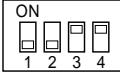
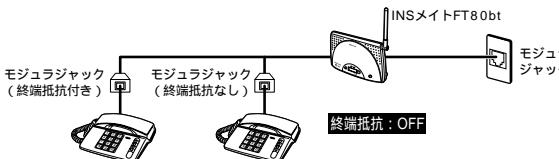
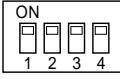
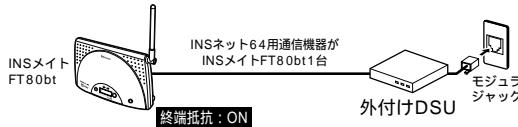
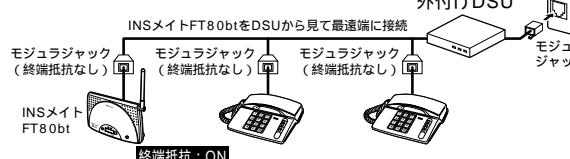
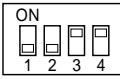
(次ページへ続きます)

接続します

(前ページの続きです)

INSネット64用通信機器を接続する場合の終端抵抗スイッチの設定

INSメイトFT80btのほかに、INSネット64用通信機器を最大7台まで接続して使用できます。
接続方法によって終端抵抗の設定が異なりますので、次の表で設定をご確認ください。

DSU	接続方法	INSメイトFT80bt の終端抵抗の設定	接続図
内蔵 DSU	INSメイトFT80btにINSネット64用通信機器を1台接続する場合で、接続ケーブルが10m以下の場合	設定スイッチ1、2を「ON」にする（お買い求め時の状態）  1 2 3 4	 <p>接続ケーブル 10m以下</p> <p>INSメイトFT80bt</p> <p>INSネット64用通信機器</p> <p>モジュラジャック</p> <p>終端抵抗：ON</p>
	INSネット64用通信機器の接続が1台で、接続ケーブルが10m以上の場合、および2~7台接続する場合	設定スイッチ1、2を「OFF」にする  1 2 3 4	 <p>INSメイトFT80bt</p> <p>モジュラジャック（終端抵抗付き）</p> <p>モジュラジャック（終端抵抗なし）</p> <p>モジュラジャック</p> <p>終端抵抗：OFF</p> <p>INSメイトFT80btから見て、S/T端子に接続した最遠端に位置するモジュラジャックには、必ず終端抵抗付きモジュラジャックを使用してください。</p>
外付け DSU	INSメイトFT80btのみを接続する場合	設定スイッチ1、2を「ON」にする（お買い求め時の状態）  1 2 3 4	 <p>INSメイトFT80bt</p> <p>INSネット64用通信機器がINSメイトFT80bt1台</p> <p>外付けDSU</p> <p>モジュラジャック</p> <p>終端抵抗：ON</p>
	INSメイトFT80btがDSUから最遠端の場合	設定スイッチ1、2を「ON」にする（お買い求め時の状態）  1 2 3 4	 <p>INSメイトFT80btをDSUから見て最遠端に接続</p> <p>モジュラジャック（終端抵抗なし）</p> <p>モジュラジャック（終端抵抗なし）</p> <p>モジュラジャック（終端抵抗なし）</p> <p>INSメイトFT80bt</p> <p>モジュラジャック</p> <p>終端抵抗：ON</p>
	INSメイトFT80btがDSUから最遠端でない場合	設定スイッチ1、2を「OFF」にする  1 2 3 4	 <p>INSメイトFT80btをDSUから見て最遠端でない位置に接続</p> <p>モジュラジャック（終端抵抗付き）</p> <p>モジュラジャック（終端抵抗なし）</p> <p>モジュラジャック（終端抵抗なし）</p> <p>INSメイトFT80bt</p> <p>外付けDSU</p> <p>モジュラジャック</p> <p>終端抵抗：OFF</p>

モジュラジャックの有無は、接続のしかたによって異なります。

INSTITUTE 80bit 編

1 通信をする準備	42
2 Windows®	44
3 Mac OS	55
4 設定ユーティリティの利用	64

パソコンとの接続について

INSメイトFT80btとパソコンを接続して通信を行うには、ご使用のパソコンに合ったソフトウェアをインストールする必要があります。必要な準備は、付属のINSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMからインストールしたイージーウィザードによって行うことができます。(ただし、Mac OS Xでは、イージーウィザードをご利用になれません。)

イージーウィザードをインストールする前に、パソコンとINSメイトFT80btを接続しないでください。

パソコンのOSと使用できるデータポート

INSメイトFT80btのRS-232Cポート、USBポートにそれぞれパソコンを接続することができます。ただし、USBポートはパソコンのOSによって使用できない場合があります。次の表でパソコンのOSと使用できるポートを確認してください。

Windows®

パソコンのOS	使用できるデータポート	接続と設定方法
Windows® XP	USBポート	P44、47
	RS-232Cポート	P44、51
Windows® Me	USBポート	P44、47
	RS-232Cポート	P44、51
Windows® 98 Second Edition	USBポート	P44、47
	RS-232Cポート	P44、51
Windows® 98	USBポート	P44、47
	RS-232Cポート	P44、51
Windows® 2000	USBポート	P44、47
	RS-232Cポート	P44、51
Windows NT® 4.0	RS-232Cポート	P44、51

Mac OS

パソコンのOS	使用できるデータポート	接続と設定方法
Mac OS 8.6、9、9.1、9.2	USBポート	P55
Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2	RS-232Cポート	P55
Mac OS X	USBポート	P58
	RS-232Cポート	P58



ワンポイント

USBポートをご利用になるには

INSメイトFT80btのUSBポートに接続するパソコンは、以下の条件を備えている必要があります。パソコンのOSが対応していない場合は、OSのバージョンアップを行ってください。

- パソコンがUSBポートを備えていること
- 次のいずれかのOSがインストールされていること

Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 2000、Mac OS 8.6、Mac OS 9、Mac OS 9.1、Mac OS 9.2、Mac OS X

ご使用のOSを確認するには

使用しているパソコンの基本ソフト（OS：オペレーティングシステム）がわからない場合は、次の手順で確認してください。

Windows® Me、Windows® 98、Windows® 2000、Windows NT® 4.0の場合

デスクトップの [マイコンピュータ] アイコンを右クリックする。

ショートカットメニューの [プロパティ] をクリックする。

[システムのプロパティ] 画面の [全般] で、バージョンを確認する。

お使いのパソコンによっては、[全般] の部分が [情報] と表示される場合があります。

Windows® 98のバージョンについて

Windows® 98には、Windows® 98とWindows® 98 Second Editionの2つのバージョンがあります。

Windows® 98 Second Editionのとき



Windows® 98のとき



Windows® XPの場合

[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックする。

[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする。

[コンピュータの基本的な情報を表示する] をクリックする。

[システムのプロパティ] 画面の [全般] で、バージョンを確認する。

Macintoshの場合

アップルメニューの [このコンピュータについて] (または [このMacについて]) をクリックする。

バージョンを確認する。

Mac OS 9のとき



ユーティリティをインストールするには

INSメイトFT80btの設定を行うために、付属のINSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMからイージーウィザードと設定ユーティリティをインストールします。インストールを行う前に、起動中のアプリケーションをすべて終了してください。ここでは、次の作業を行います。

1 INSネット64回線に接続する (☞P33)

INSメイトFT80btとパソコンは指示があるまで接続しないでください。

2 ユーティリティをインストールする

この作業が終わったら、次へお進みください。

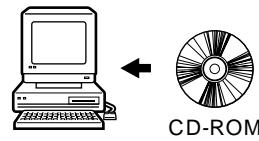
- ・USBポートを使う場合 (☞P47)
- ・RS-232Cポートを使う場合 (☞P51)

Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 2000、Windows NT® 4.0をご利用の場合は、次の手順でインストールします。

1 INSメイトFT80btとパソコンが接続されていないことを確認する。

2 INSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

自動的に案内ページが表示されます。



案内ページ

ワンポイント

自動的に案内ページが表示されない場合は

「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする。

CD-ROMをセットしたドライブの「FT80bt」アイコンをダブルクリックする。

を行っても案内ページが表示されない場合は、「FT80bt.exe」をダブルクリックする。

以降は手順3へ進みます。

ユーティリティをアンインストールするには (☞P244)

お知らせ

ご使用前に必ず案内ページの「本CD-ROMのお取扱い上の注意」を開いてお読みください。

このページの内容は一例を示しています。

Windows NT® 4.0はService Pack3、4、5または6を使いください。

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

3 [ユーティリティのインストール] をクリックする。

インストール確認画面が表示されます。



4 [OK] をクリックする。

セットアッププログラムが起動します。



5 [次へ>] をクリックする。

ここで、パソコンの再起動をうながす画面が出た場合は、画面の説明に従って [再起動] をクリックしてパソコンを再起動したのち、この手順からやり直します。



(次ページへ続きます)

ユーティリティをインストールするには

(前ページの続きです)

6 インストール先を確認し、[次へ >] をクリックする。

インストール先を変更する場合は [変更] をクリックしてインストール先を指定します。



7 [インストール] をクリックする。

自動的にインストールが行われます。

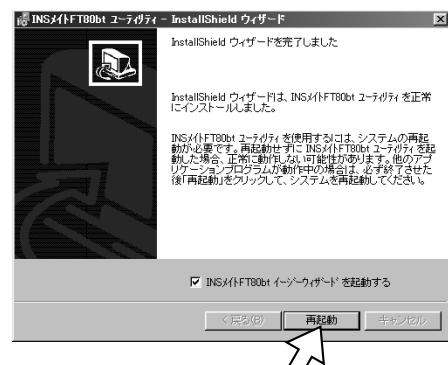


8 [再起動] をクリックする。

パソコンが再起動します。

ここで [INSメイトFT80bt イージーウィザードを起動する] がチェックされている場合は、パソコンが再起動したのち、イージーウィザードが起動します。

インストールが完了しました。



引き続き必要なソフトウェアをインストールします。

- USBポートを使う場合 (☞P47)
- RS-232Cポートを使う場合 (☞P51)

USBポートを使うには

INSメイトFT80btのUSBポートとパソコンのUSBポートを接続して使うために、イージーウィザードを使って、USBドライバをインストールします。

操作を始める前に、INSメイトFT80btとパソコンが接続されていないことを確認してください。

- [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム](Windows® XPでは[すべてのプログラム]) - [INSメイトFT80bt ユーティリティ] - [INSメイトFT80bt イージーウィザード]をクリックする。

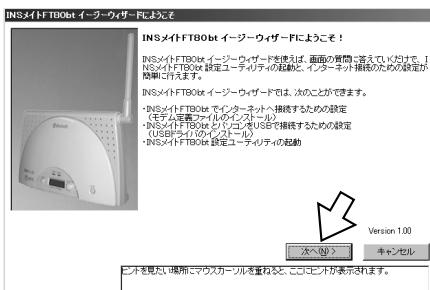
イージーウィザードが起動します。(起動するまでに時間がかかることがあります。)

起動中は、右の画面が表示されます。

「ユーティリティのインストール」(☞P44)に引き続いてイージーウィザードを起動した場合は、手順2から開始します。



- 右の画面が表示されたら、[次へ>]をクリックする。



(次ページへ続きます)

ワンポイント

イージーウィザードを利用できないときは

イージーウィザードを使わない方法で必要なソフトウェアをインストールしてください。(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

お願い

Windows NT® 4.0ではUSBをサポートしていませんので、USBポートにINSメイトFT80btを接続して使うことはできません。

イージーウィザードを起動する前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。

マウスカーソルを自動的に移動させるソフトなど、システムに常駐しているもの([スタートアップ]グループに登録してあるもの)も終了させてください。他のアプリケーションを起動したままイージーウィザードを実行すると、システムが応答しなくなる可能性があります。

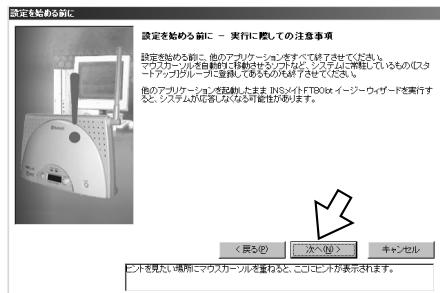
ご利用のパソコンによっては、イージーウィザードが起動しなかったり、操作の途中で止まる場合があります。このようなときは「イージーウィザードによって必要なファイルがインストールできないときは」(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)を参照してUSBドライバのインストールを行ってください。

Windows® 2000の場合、あらかじめ[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [システム] - [ハードウェア] - [ドライバの署名]で表示される[ドライバ署名オプション]にて、[警告]が選択されていることを確認してください。

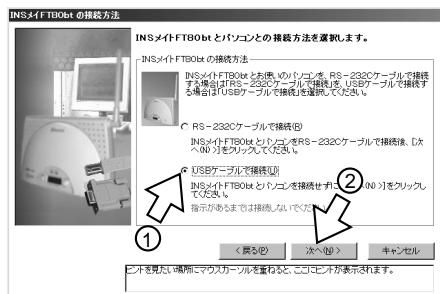
USBポートを使うには

(前ページの続きです)

3 [次へ >] をクリックする。

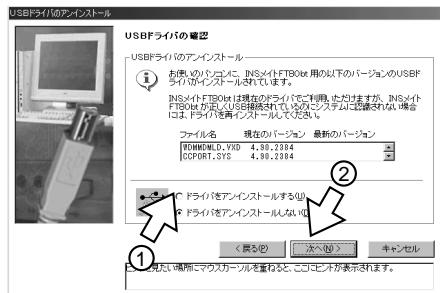


4 [USBケーブルで接続] をクリックし、「次へ>」をクリックする。



ここで右の画面が表示されたときは、[ドライバをアンインストールする] をクリックして [次へ >] をクリックしたのち、画面の説明に従い、[実行] または [再起動] をクリックします。

パソコンが再起動しますので、手順1からやり直します。



お知らせ

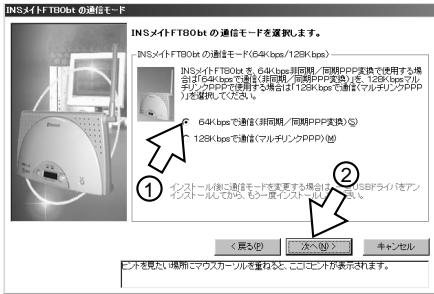
ご利用のパソコンによっては、本書の画面どおりに進まないことがあります。その場合は、画面の説明に従って進めてください。

Windows® MeまたはWindows® 98 Second Editionにおいて、[64kbpsで通信 (非同期 / 同期PPP 変換)] から [128kbpsで通信 (マルチリンクPPP)] に変更する場合、または [128kbpsで通信 (マルチリンクPPP)] から [64kbpsで通信 (非同期 / 同期PPP 変換)] に変更する場合は、「不要になったUSBドライバを削除するには」(☞P223) の手順に従って、それまでのUSBドライバを削除してから再びインストールを行ってください。

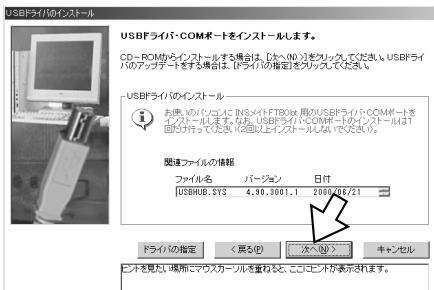
5 ご利用になる通信モード(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)をクリックし、[次へ>]をクリックする。

[64kbpsで通信(非同期/同期PPP変換)]
[128kbpsで通信(マルチリンクPPP)]
のいずれかを選択します。

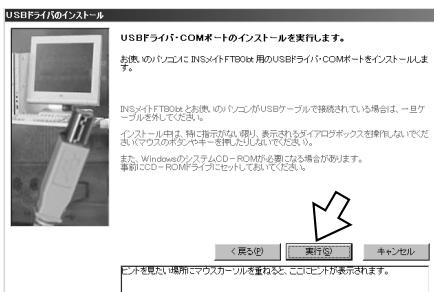
Windows® XP、Windows® 98、
Windows® 2000の場合は、この画面が
表示されませんので、手順6へ進みます。



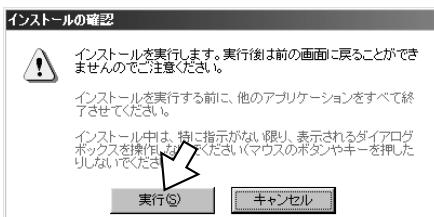
6 [次へ>]をクリックする。



7 Windows®のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、[実行]をクリックする。



8 [実行]をクリックする。



(次ページへ続きます)

USBポートを使うには

(前ページの続きです)

9 画面の説明に従い、付属のUSBケーブルを接続する。

USBケーブルを接続すると、ドライバのインストールが自動的に行われます。

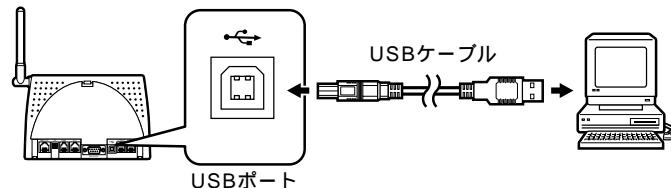
手順10の画面になるまで、マウスやキーボード等にさわらないでください。

USBケーブルの接続待ち



INSメイトFTB05tのUSBケーブルをお使いのパソコンに接続してください。
ケーブルを接続するとWindowsのハードウェアアイザードが起動し、USBドライバがインストールされます。

キャンセル



10 [設定終了] をクリックする。

イージーアイザードが起動し、[設定項目の選択と実行]画面が表示されます。(→P65)

設定ユーティリティを起動するときは[設定ユーティリティ]をクリックします。起動しないときは[ウィザード終了]をクリックし、確認画面で[終了]をクリックします。



USBドライバ処理終了

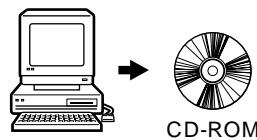
USBドライバのCD-ROMドライブのインストールが終りました。
システムの「デバイルアップネットワーク」フォルダを開き、接続先の設定を行ってください。



□トを覗いた場所にマウスカーソルを重ねると、このマークが表示されます。

11 CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出す。

インストールが完了しました。



引き続き、以下の手順に進みます。

- ・設定ユーティリティの基本操作 (→P68)
- ・インターネットに接続する (別冊「インターネット接続ガイド」参照)

STOP お願い

ケーブルの接続は、パソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。

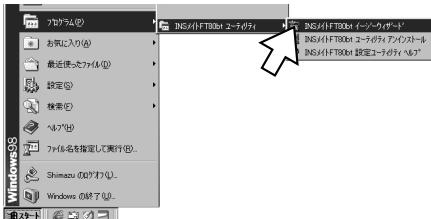
RS-232Cポートを使うには

INSメイトFT80btのRS-232CポートとパソコンのRS-232Cポート（シリアルポート）を接続して使うために、イージーウィザードを使って、モデム定義ファイルをインストールします。

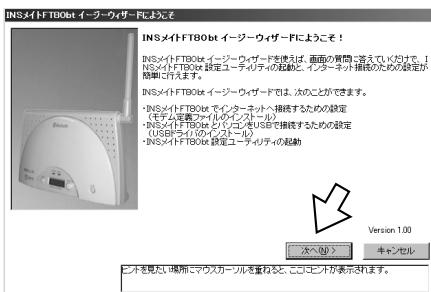
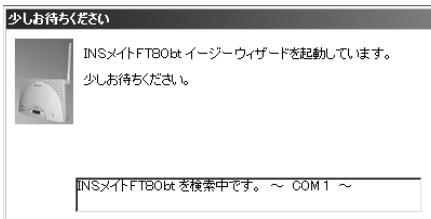
操作を始める前に、INSメイトFT80btとパソコンが接続されていないことを確認してください。

- [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム](Windows® XPでは[すべてのプログラム]) - [INSメイトFT80bt ユーティリティ] - [INSメイトFT80bt イージーウィザード]をクリックする。

イージーウィザードが起動します。（起動するまでに時間がかかることがあります。）起動中は、右の画面が表示されます。「ユーティリティのインストール」(☞P44)に引き続いてイージーウィザードを起動した場合は、手順2から開始します。



- 右の画面が表示されたら、[次へ>]をクリックする。



（次ページへ続きます）

ワンポイント

イージーウィザードを利用できないときは
イージーウィザードを使わない方法で必要なソフトウェアをインストールしてください。（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

STOP お願い

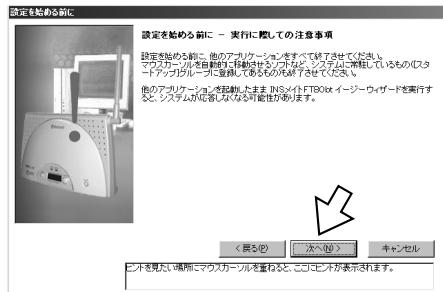
イージーウィザードを起動する前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。

マウスカーソルを自動的に移動させるソフトなど、システムに常駐しているもの（[スタートアップ]グループに登録してあるもの）も終了させてください。他のアプリケーションを起動したままイージーウィザードを実行すると、システムが応答しなくなる可能性があります。

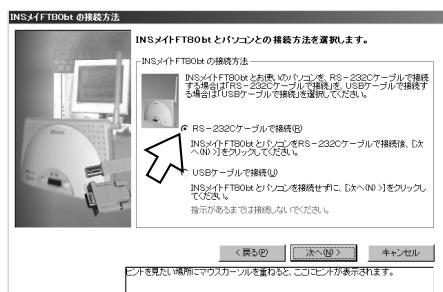
RS-232Cポートを使うには

(前ページの続きです)

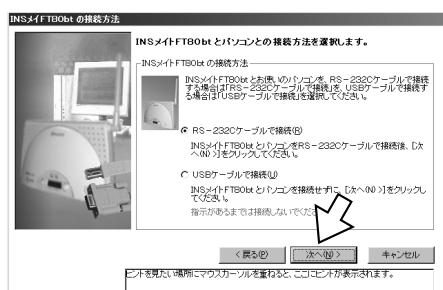
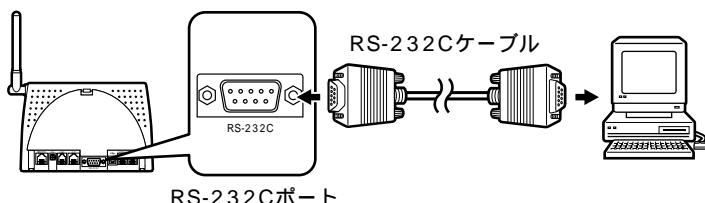
3 [次へ >] をクリックする。



4 [RS-232Cケーブルで接続] をクリックする。



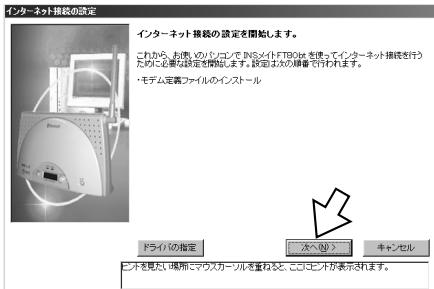
5 INSメイトFT80btとパソコンを付属のRS-232Cケーブルで接続し、[次へ >] をクリックする。



右の画面が表示されたときは、INSメイトFT80btとパソコンの接続を再度確認し
[次へ >] をクリックします。



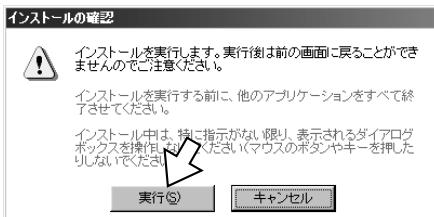
6 [次へ >] をクリックする。



7 [実行] をクリックする。

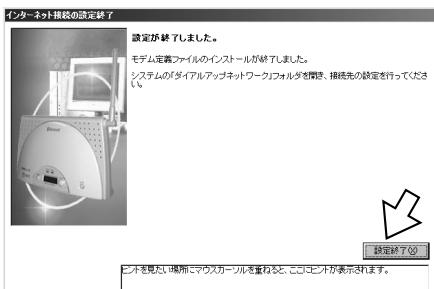
自動的に必要なファイルがインストールされ
ます。

手順8の画面になるまでマウスやキーボード
にさわらないでください。



8 [設定終了] をクリックする。

イージーウィザードが起動し、[設定項目の選択と実行] 画面が表示されます。(☞P65)
設定ユーティリティを起動するときは [設定ユーティリティ] をクリックします。起動しないときは [ウィザード終了] をクリックし、確認画面で [終了] をクリックしま
す。



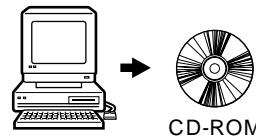
(次ページへ続きます)

RS-232Cポートを使うには

(前ページの続きです)

- 9 CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出す。

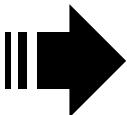
インストールが完了しました。



CD-ROM

引き続き、以下の手順に進みます。

- ・設定ユーティリティの基本操作 (☞P68)
- ・インターネットに接続する (別冊「インターネット接続ガイド」参照)



お願い

ケーブルの接続は、パソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。
RS-232Cケーブルを接続するときは、コネクタの方向に注意して挿入し、両端のネジを回して固定してください。

RS-232Cポートが25ピンの場合、またはノートパソコンなどで特殊な形状のコネクタの場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。

必要なソフトウェアをインストールするには (Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2)

INSメイトFT80btの設定を行うために、付属のINSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMから必要なソフトウェアをインストールします。インストールを行う前に、起動中のアプリケーションをすべて終了してください。Mac OS 8.6、9、9.1、9.2でUSBポートに接続してお使いになる場合は、USBドライバも自動的にインストールされます。

ここでは、次の作業を行います。

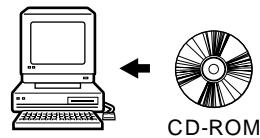
1 INSネット64回線に接続する (☞P33)

INSメイトFT80btとパソコンは指示があるまで接続しないでください。

2 必要なソフトウェアをインストールする

Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2をご利用の場合は、次の手順でインストールします。

- 1** INSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。



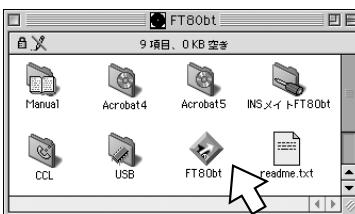
- 2** [FT80bt]アイコンをダブルクリックする。

[FT80bt]アイコンをダブルクリックする前に、手順3のよう画面が表示された場合は、手順3に進みます。



- 3** [FT80bt]アイコンをダブルクリックする。

案内ページが表示されます。



(次ページへ続きます)

ワンポイント

イージーウィザードを利用できないときは

イージーウィザードを使わない方法で必要なソフトウェアをインストールしてください。(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

お知らせ

ご使用前に必ず案内ページの「本CD-ROMのお取扱い上の注意」を開いてお読みください。

お願い

イージーウィザードを起動する前に、他のアプリケーションをすべて終了させてください。システムに常駐しているもの([機能拡張]フォルダに登録してあるもの)とイージーウィザードとの組み合わせによっては、システムが応答しなくなる可能性があります。

必要なソフトウェアをインストールするには (Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2)

(前ページの続きです)

4 [ユーティリティのインストール] をクリックする。



5 [OK] をクリックする。 セットアッププログラムが起動します。



お願い

Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5ではUSBをサポートしていませんので、USBポートにINSメイトFT80btを接続して使うことはできません。

ケーブルの接続は、パソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。

RS-232Cケーブルを接続するときは、コネクタの方向に注意して挿入し、両端のネジを回して固定してください。

インストールを開始する際、パソコンにINSメイトFT80btを接続しないでください。

接続している場合は、パソコンを起動すると「USB装置 “不明装置”」を使用するのに必要なソフトウェアが見つかりません。装置に付属のマニュアルを参照して、必要なソフトウェアをインストールしてください。」と表示されます。この場合は、USBケーブルを外してください。



お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

6 インストールする場所を確認し、[インストール]をクリックする。

イージーウィザード、設定ユーティリティ、CCLファイル、USBドライバ（Mac OS 8.6、9、9.1、9.2のみ）が自動的にインストールされます。

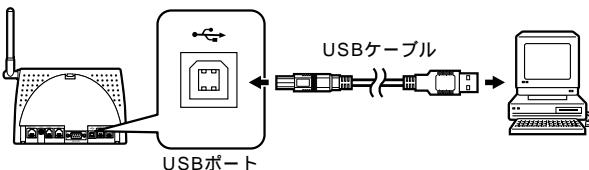


7 [終了]をクリックし、INSメイトFT80btとパソコンを付属のUSBケーブルまたはRS-232Cケーブルで接続する。

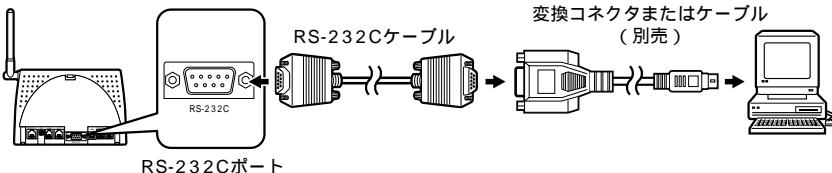
ここで、[INSメイトFT80btイージーウィザードを起動する]がチェックされているときは、イージーウィザードが起動するので、[設定ユーティリティ]をクリックします。

イージーウィザードを起動しないときは[INSメイトFT80btイージーウィザードを起動する]のチェックを外してから[終了]をクリックします。

USBポートに接続する場合



RS-232Cポートに接続する場合

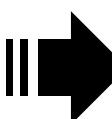


RS-232Cポートで接続する場合はER信号制御の設定を「常時ON」に設定してください。（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

RS-232Cポートに接続する場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。

引き続き、以下の手順に進みます。

- ・設定ユーティリティの基本操作（☞P68）
- ・インターネットに接続する（別冊「インターネット接続ガイド」参照）



必要なソフトウェアをインストールするには (Mac OS X)

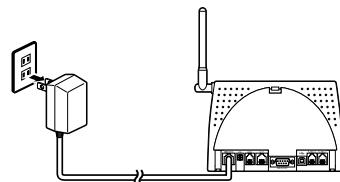
本商品とMac OS Xがインストールされたパソコンを接続して使うには、次の手順が必要です。Mac OS XではUSBポートをご利用になる場合、Mac OS Xの標準USBドライバで本商品をお使いになることができます。付属のINSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMをご用意ください。

- 1 INSネット64回線に接続する (☞P33)
- 2 設定スイッチを切り替える (USBポートを使用するときのみ)
- 3 本商品とパソコンを接続する
本商品とパソコンをUSBケーブルまたはRS-232Cケーブルで接続してください。
- 4 CCLファイル(モデム情報ファイル)をインストールする

設定スイッチを切り替える

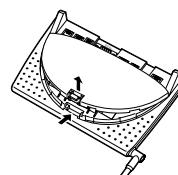
USBポートをご利用の場合は、以下の手順で設定スイッチを切り替えます。

- 1 本商品の電源アダプタを抜く。



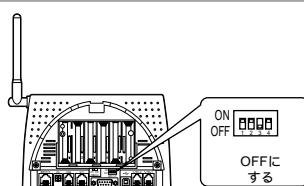
- 2 電池カバーを開ける。

停電のために乾電池をセットしている場合は、乾電池を抜きます。(☞P31)

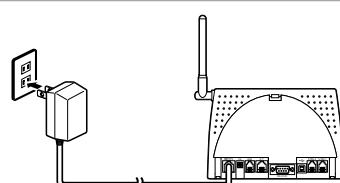


- 3 設定スイッチ3をOFFにする。
(☞P29)

停電のために乾電池をセットする場合は、乾電池を入れます。(☞P31)



- 4 電池カバーを閉じ、電源アダプタを差し込む。

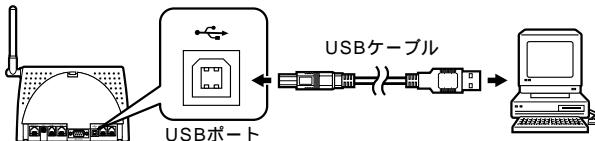


本商品とパソコンを接続する

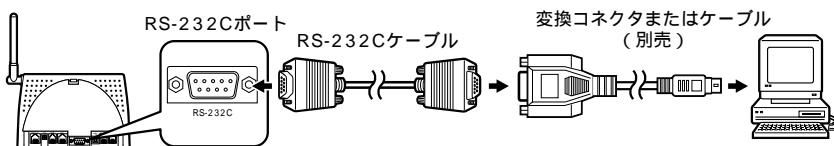
1 パソコンの電源を切る。

2 本商品とパソコンをUSBケーブルまたはRS-232Cケーブルで接続する。

- USBポートに接続する場合



- RS-232Cポートに接続する場合



RS-232Cポートで接続する場合はER信号制御の設定を「常時ON」に設定してください。(→CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

RS-232Cポートに接続する場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。

ワンポイント

PDFファイルを開くには

CD-ROMには、本書の内容と「インターネット接続ガイド」「参考情報」がPDFファイルで収録されています。PDFファイルを開くには、Acrobat® Readerが必要です。CD-ROMの[Acrobat5]フォルダをダブルクリックして開き、インストーラアイコンをダブルクリックしてインストールしてください。Acrobat® Readerをインストール後、[Manual]フォルダのアイコンをダブルクリックしてPDFファイルを開いてください。

お知らせ

Mac OS Xでは、CD-ROMの案内ページは表示できません。必ずこのページの手順でインストールを行ってください。

Mac OS Xでは、イージーウィザードおよび設定ユーティリティはご利用になれません。

ご使用の前に、[readme OSX.rtf]アイコンをダブルクリックし、「本CD-ROMのお取り扱い上の注意」を開いてお読みください。

画面はMac OS X(10.0.4)の例です。

お願ひ

ケーブルの接続はパソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。

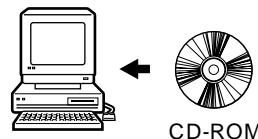
RS-232Cケーブルを接続するときは、コネクタの方向に注意して挿入してください。

必要なソフトウェアをインストールするには (Mac OS X)

CCLファイルをインストールする

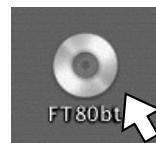
Mac OS Xでは、イージーウィザードは利用できませんので、必ず以下の手順に従ってCCLファイルのインストールを行ってください。

- 1 パソコンの電源を入れ、INSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。



- 2 [FT80bt]アイコンをダブルクリックする。

[FT80bt]アイコンをダブルクリックする
前に、手順3のように画面が表示された場合
は、手順3に進みます。



- 3 [CCL]フォルダをダブルクリックする。



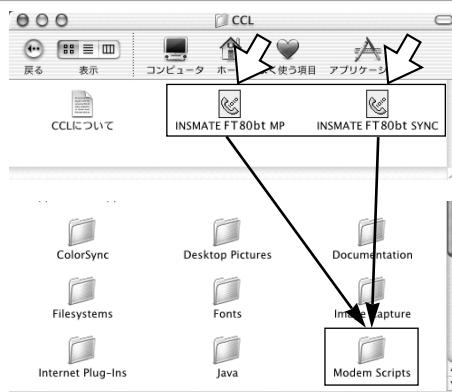
お知らせ

付属のCD-ROM内の[CCL]フォルダにある「CCLについて」ファイルを必ずお読みください。

4 Macintosh HDフォルダの中にある [Library] フォルダをダブルクリックする。



5 [CCL] フォルダ内の [INSMATE FT80bt SYNC] と [INSMATE FT80bt MP] を [Library] フォルダの中にある [Modem Scripts] フォルダへコピーする。



6 アップルメニューの [システム環境設定] を選択する。

7 [ネットワーク] アイコンをクリックする。

ここで [新しいポートが検出されました] という画面が表示されたときは、[OK] をクリックします。



(次ページへ続きます)

必要なソフトウェアをインストールするには (Mac OS X)

(前ページの続きです)

8 [設定] または [表示] の一覧からポートの種類を選択する。

- USBポートをご利用の場合
[USBモデム] または [USBモデムXXX] を選択
- RS-232Cポートをご利用の場合
本商品を接続しているポートに合わせて、[モデムポート] または [プリンタポート] から選択
- 複数のポートをご利用の場合は、[設定] の [詳細] または [表示] の [動作中のネットワークポート] をクリックし、本商品を接続するポートをドラッグしてリスト内の一一番上へ移動し、優先順位を1番に指定します。
また使用しない他のポートについては、リスト内の「入」チェックボックスのチェックを外してください。



9 [モデム] をクリックし、モデムの設定を行う。

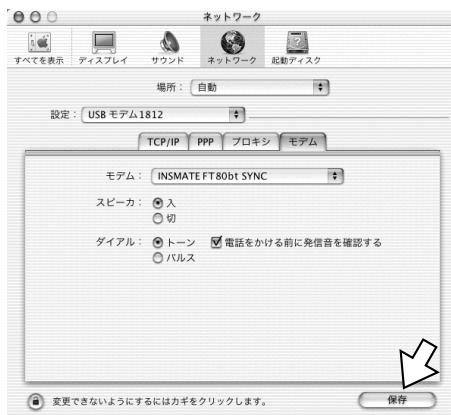
- 以下の内容を参考にして、設定してください。
- [モデム] ... • 同期 64 kbit/s のアクセスポイントへ接続するときは、[INSMATE FT80bt SYNC] を選択
 - MP128 kbit/s のアクセスポイントへ接続するときは、[INSMATE FT80bt MP] を選択
- [ダイアル] ... [トーン] を選択



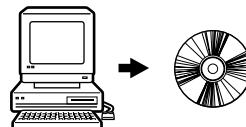
お知らせ

[USBモデムXXX] の "XXX" については、お使いのパソコンにより異なります。
USBモデムが複数表示される場合があります。この場合、有効なモデムをモデム名称で判断することができません。実際に動作するモデムが有効なモデムとなります。

10 [保存] または [今すぐ適用] をクリックする。



11 CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出す。



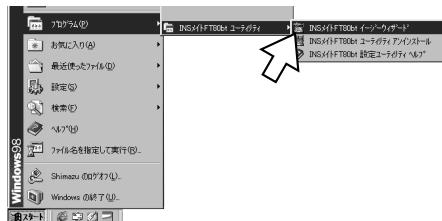
→ 引き続き「接続の設定をする」(←「インターネット接続ガイド」)へ進みます。

設定ユーティリティを起動／終了するには

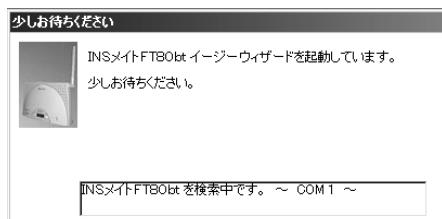
イージーウィザードの画面から、INSメイトFT80btのいろいろな機能を簡単に設定するための設定ユーティリティを起動することができます。設定ユーティリティを起動するときは、INSメイトFT80btがパソコンに接続されていることを確認してください。設定ユーティリティは、他のアプリケーションを終了してから起動してください。

Windows®の場合

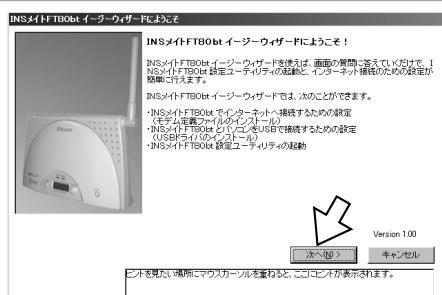
- 1 [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム](Windows® XPでは[すべてのプログラム]) - [INSメイトFT80btユーティリティ] - [INSメイトFT80btイージーウィザード]をクリックする。



イージーウィザードが起動します。(起動するまでに時間がかかることがあります。)
起動中は、右の画面が表示されます。



- 2 右の画面が表示されたら、[次へ>]をクリックする。



ワンポイント

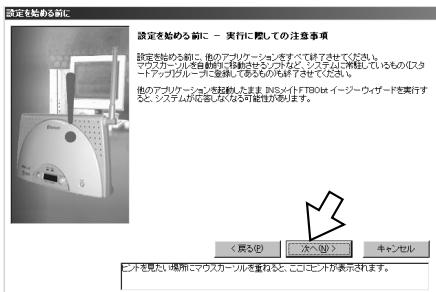
設定ユーティリティ起動中に着信があると

[COMポートxがオープンできません]または「ATコマンドエラー」と表示されるので、[OK]をクリックします。以降は「設定ユーティリティのメニュー画面が表示されない場合」(☞P67)の操作を行ってください。

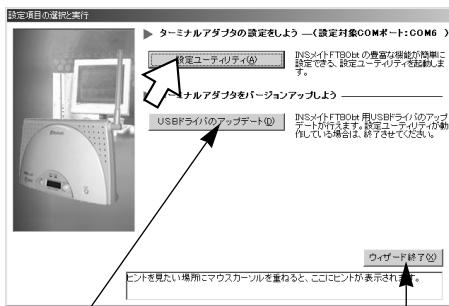
お知らせ

INSメイトFT80btを接続しないでイージーウィザードを起動すると、「INSメイトFT80btの接続方法」画面(☞P48)が表示されます。この場合は、[キャンセル]をクリックしていったん終了し、INSメイトFT80btの接続を確認して、もう一度イージーウィザードを起動してください。

3 [次へ>] をクリックする。



4 [設定ユーティリティ] をクリックする。



USBドライバのアップデートを行います。（☞P222）
RS-232Cポートで接続している場合、またはワイヤレス接続している場合（☞P90、118）はボタンをクリックできません。

イージーウィザードを終了します。
ボタンをクリックすると、終了確認の画面が出来ますので、[終了]をクリックします。

引き続き、設定ユーティリティの基本操作（☞P68）へ進みます。

 ワンポイント

FT80btアダプタを接続したパソコンから設定を行うには
INSメイトFT80btとFT80btアダプタを通信可能な状態にして、FT80btアダプタを接続したパソコンから設定ユーティリティを起動します。（☞P118）

 お願い

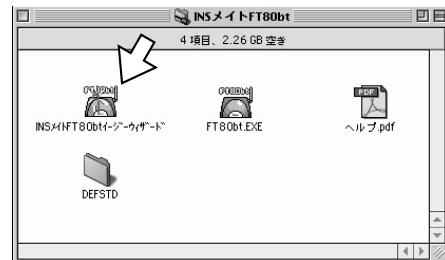
ダイヤルアップ接続を行っているときは、設定ユーティリティを起動しないでください。正常に動作しなくなることがあります。

設定ユーティリティを起動／終了するには

Mac OS (Mac OS Xを除く)の場合

- 1 [INSメイトFT80bt] フォルダの [INSメイトFT80btイージーウィザード] アイコンをダブルクリックする。

イージーウィザードが起動して、イージーウィザードの画面が表示されます。

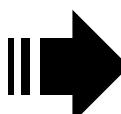
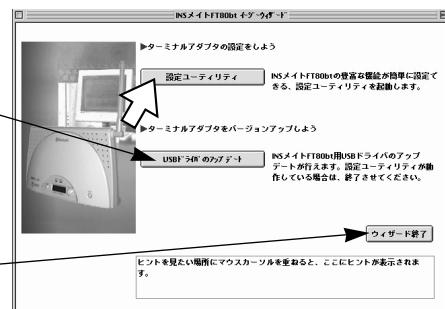


- 2 [設定ユーティリティ] をクリックする。

USBドライバのアップデートを行います。(☞P222)

RS-232Cポートで接続している場合は、ボタンをクリックしないでください。

イージーウィザードを終了します。



引き続き、設定ユーティリティの基本操作 (☞P68) へ進みます。



ワンポイント

イージーウィザードを利用しないで設定ユーティリティを起動するには [INSメイトFT80bt] フォルダの [FT80bt.EXE] をダブルクリックします。

設定ユーティリティ起動中に着信があると

「オープンエラー」または「ATコマンドエラー」と表示されるので、[OK] をクリックします。以降は「設定ユーティリティのメニュー画面が表示されない場合」(☞P67) の操作を行ってください。



お知らせ

Mac OS Xでは、イージーウィザードおよび設定ユーティリティをご利用になれません。設定を行う場合は、別のパソコンから行うか、または電話機による設定 (☞P200) およびターミナルソフトからATコマンド (☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」) によって行ってください。



お願い

ダイヤルアップ接続を行っているときは、設定ユーティリティを起動しないでください。正常に動作しなくなることがあります。

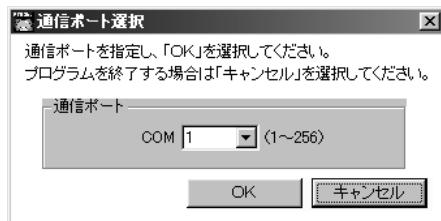
設定ユーティリティのメニュー画面が表示されない場合

次のような場合は、「COMポートの検索に失敗しました。」(Mac OSでは「通信ポートの検索に失敗しました。」) というエラーメッセージが表示されます。



- INSメイトFT80btの電源アダプタ、RS-232Cケーブル、USBケーブルが正しく接続されていない場合
電源アダプタやRS-232Cケーブル、USBケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
接続を確認したうえで、エラーメッセージの画面で「OK」をクリックすると、次の画面が表示されます。INSメイトFT80btが接続されているポートを選択して「OK」をクリックすると、設定ユーティリティのメニュー画面が表示されます。

または、次の画面で「キャンセル」をクリックして再度設定ユーティリティを起動します。



(画面はWindows®の例です)

- USBドライバが正常にインストールされなかった場合
一度USBドライバをアンインストール(☞P223)したあと、再度USBドライバのインストールを行ってください。

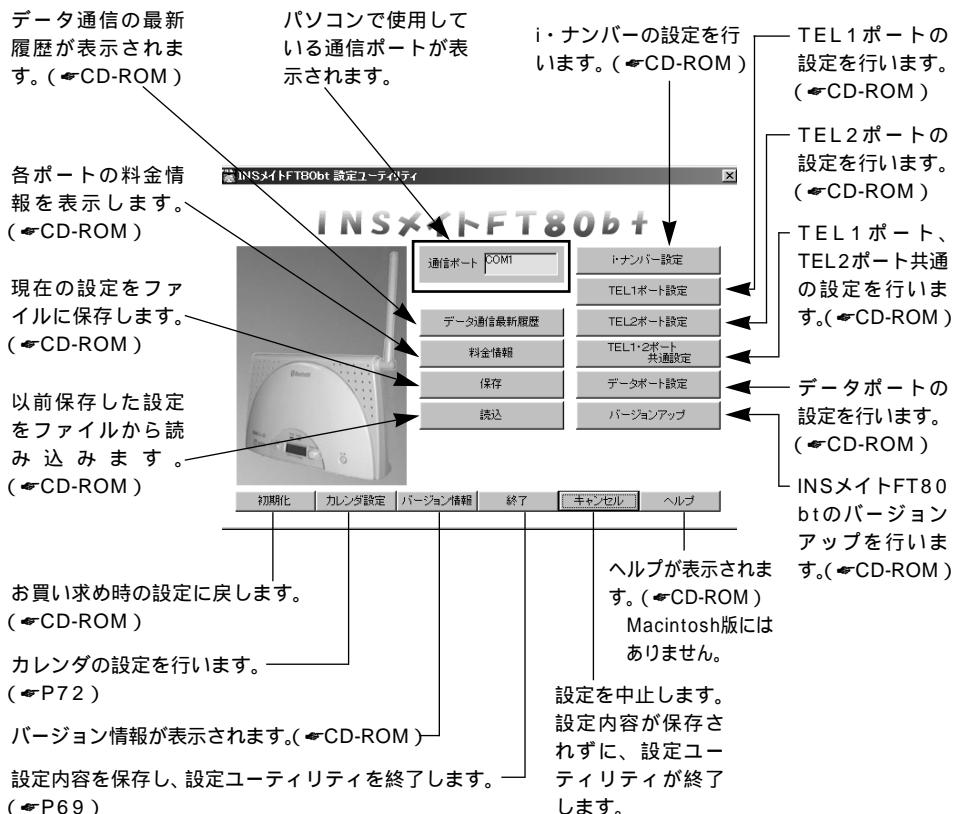
設定ユーティリティの基本操作

設定ユーティリティのメニュー画面、各設定画面では次のように操作します。
手順はWindows®、Mac OSとも共通です。画面はWindows®の例です。

メニュー画面からの操作

1 イージーウィザードを起動し、設定ユーティリティを起動する。(☞P64、66)

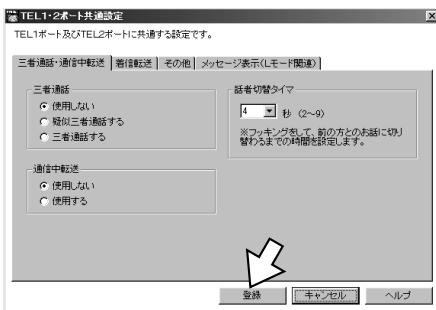
2 設定ユーティリティのメニュー画面で、設定する項目のボタンをクリックする。



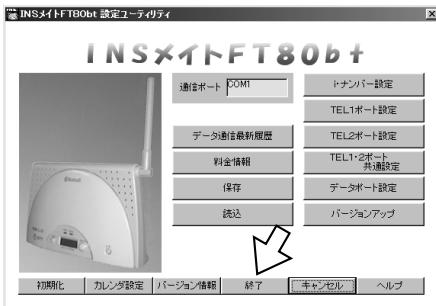
設定ユーティリティのメニュー画面

3 各設定画面で [登録] をクリックする。

右の画面はTEL1・2ポート共通設定画面の場合の一例です。



4 [終了] をクリックする。



5 [OK] をクリックする。

設定内容がINSメイトFT80btに保存され、終了します。



必要に応じて以下のページをご覧ください。

- ・「カレンダを設定するには」(☞P72)
- ・「設定ユーティリティの活用」(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

電話やファクスの機能を設定するときは、「電話 / ファクス編」(☞P119) からご覧ください。



お知らせ

メニュー画面で [キャンセル] をクリックして設定ユーティリティを終了すると、設定内容がINSメイトFT80btに保存されず、データ通信や停電、またはINSメイトFT80btの電源アダプタを抜き差すことなどにより、設定がもとに戻ってしまうことがあります。

設定ユーティリティの基本操作

設定ユーティリティの各設定画面では次のように操作します。

設定画面の基本操作

項目に があるとき

グループ内で1つの項目を選択します。 が現在選択されているものです。変更するときは、をクリックして にします。

発信者番号通知

- 発信者番号通知する
- 発信者番号通知しない
- INSネット64申込内容に従う

項目に があるとき

複数の項目を選択できます。選択するときは、をクリックして にします。

i-ナンバー着信設定

TEL 1	TEL 2	RS-232C	USB	Bluetooth
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>				

入力欄があるとき

入力欄をクリックして、数値や電話番号を入力します。

発信者番号

着信する番号
0
1
2
3
4
5
6
7

※「メッセージあり情報通知」を設定した場合、着信時に通知する番号と着信する番号を同じにしてください。

クリア

項目に があるとき

表示されているものが現在の設定内容です。変更するときは、 をクリックして、一覧から設定するものを選択します。

話者切替タイム

4 秒 (2~9)

2
3
4
5
6
7
8
9

を切り替えて、前の方とのお話しに切り替える時間を設定します。

1 通信をする準備

2 Windows®

3 Mac OS

4 ティ定のユーティリ



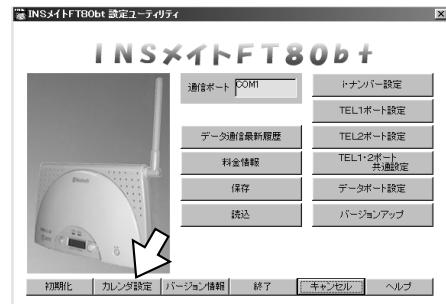
お知らせ

設定項目を囲む四角い枠 [.....] および電話番号などの入力欄のカーソルは、パソコンの [Tab] キーで移動できます。

カレンダを設定するには

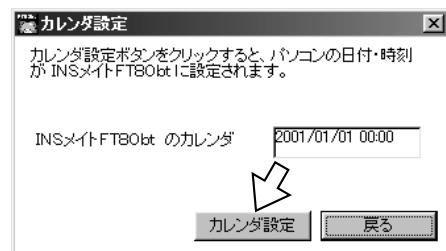
日付・時刻を設定します。

- 1 設定ユーティリティのメニュー画面で[カレンダ設定]をクリックする。



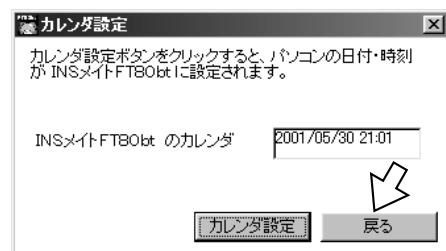
- 2 [カレンダ設定]をクリックする。

パソコンに記憶されている日付・時刻がINSメイトFT80btに設定され、液晶ディスプレイに表示されます。



- 3 [戻る]をクリックする。

メニュー画面に戻ります。



お知らせ

設定時は、パソコンに記憶された日付・時刻が設定されますが、以後はパソコンの時刻とずれる場合があります。

INSメイトFT80btの時刻は目安としてご利用ください。

INSメイトFT80btに電池が入っていない状態で電源アダプタを抜くと、カレンダ設定はクリアされます。

FT80btアダプタ編

1	通信をする準備	74
2	INSメイトFT80btの準備	82
3	Windows® XPの場合の準備	91
4	Windows® 2000の場合 の準備	102
5	FT80btアダプタ接続 ユーティリティの利用	112

パソコンとの接続について

FT80btアダプタとパソコンを接続してBluetooth™プロトコルを用いた無線通信を行うには、次の準備が必要です。

必要なソフトウェアをインストールし、パソコンが再起動するまで、パソコンとFT80btアダプタを接続しないでください。

接続できるパソコン

FT80btアダプタに接続するパソコンは、以下の条件を備えている必要があります。パソコンのOSが対応していない場合は、OSのバージョンアップを行ってください。

- パソコンがUSBポートを備えていること
- 次のいずれかのOSがインストールされていること

Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 2000

設定は以下の流れで行います。

ただし、Windows® MeおよびWindows® 98 Second Editionの場合は、この手順は不要です。

① パソコンに必要なソフトウェアをインストールする。(☞P76)

付属のINSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMからFT80btアダプタ接続ユーティリティをインストールし、パソコンを再起動します。

② FT80btアダプタとパソコンを接続する。(☞P79、80)

パソコンにFT80btアダプタが接続されると、自動的にUSBドライバおよびモデム定義ファイル(Windows® Me、Windows® 98 Second Editionのみ)がインストールされます。

ただし、Windows® XPの場合は、FT80btアダプタを接続したあと、操作が必要です。(☞P80)

③ INSメイトFT80btにパソコンを登録する。(☞P82)

登録は、INSメイトFT80btのアナログポートに接続した電話機から行います。あらかじめ電話機を接続しておいてください。(☞P35)

④ モデム定義ファイルをインストールする。(Windows® XP、Windows® 2000の場合のみ)(☞P91、102)

Windows® XP、Windows® 2000をお使いの場合は、FT80btアダプタがインストールされたCOMポートを確認し、モデム定義ファイルをインストールします。

(Windows® Me、Windows® 98 Second Editionの場合は、この手順は必要ありません。)

ワンポイント

Bluetooth™とは

2.4GHzの周波数帯域を使った無線通信規格です。INSメイトFT80btとFT80btアダプタとの間をBluetooth™プロトコルで無線接続することにより、離れた場所でもデータ通信することができます。

ご使用のOSを確認するには(☞P43)



お知らせ

FT80btアダプタは、USB給電により外部電源への接続の必要はありません。しかし、お使いのパソコンの環境により、給電が不足する場合があります。その場合はパソコンから単独でFT80btアダプタに接続するか、外部電源付きのUSBハブなどを通して接続してください。



お知らせ

FT80btアダプタで無線通信できる範囲（電波の届く範囲）は、INSメイトFT80btから見通し距離で100m内です。ただし、100m以内でも、周囲の環境や壁の構造により通信できない場合があります。

FT80btアダプタでワイヤレス通信を行っているときにアナログポートを使用して通話をすると、雑音が入る場合があります。その場合は、INSメイトFT80btやFT80btアダプタをアナログ通信機器から離してください。

INSメイトFT80btやFT80btアダプタの置き場所がコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置に近すぎるとデータ通信が切れる場合があります。また通話にノイズが入ったり、ファクスのデータが正しく送れない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

FT80btアダプタ利用時に他のUSBデバイスを同時に使用すると、正常に通信できなくなることがあります。その場合は、他のUSBデバイスを取り外してから、FT80btアダプタによる通信を行ってください。



お願い

1つのパソコンでINSメイトFT80btおよびFT80btアダプタの両方を使用する場合、INSメイトFT80btのイージーウィザードおよびUSBドライバなどを先にインストールしてください。（☞P44）

FT80btアダプタをBluetooth™機能内蔵パソコンや他のBluetooth™機器と接続しているパソコンに接続しないでください。パソコンのBluetooth™機能が利用できなくなる場合があります。

INSメイトFT80btおよびFT80btアダプタは、他のBluetooth™機器とは互換性がありませんので、それらと接続してご利用になることはできません。

LAN環境に接続しているパソコンにはFT80btアダプタを接続しないでください。FT80btアダプタやパソコンが正常に動作しない場合があります。

パソコンのスタンバイモード、サスPEND機能が動作したときは、データ通信ができなくなる場合がありますので、パソコンのスタンバイモード、サスPEND機能を使用しないでください。

Windows® 2000およびWindows® XPでFT80btアダプタ接続ユーティリティをインストールする場合は、ユーザーアカウントを「コンピュータの管理者」に設定してください。

Windows® 2000およびWindows® XPで1台のパソコンを複数のユーザーでご利用の場合、ユーザー アカウントを切り替えてワイヤレス通信を行うことはできません。インストールした「コンピュータの管理者」のユーザーアカウントでご利用ください。

Windows® 2000およびWindows® XPをご利用の場合、OSのログオフ機能は使用しないでください。動作ができなくなることがあります。

Windows® Me、およびWindows® 98 Second EditionでFT80btアダプタをご利用の場合、「FT80btアダプタ接続ユーティリティ」をインストールすることによって生成される仮想COMポート（FT80bt Adapter MP, FT80bt Adapter SYNC）に対して、[コントロールパネル] - [モデム]中の[検出結果]タブにある[詳細情報]または[詳細]ボタンをクリックしないでください。FT80btアダプタはWindows® 上で生成される仮想COMポートで動作するため、OSの仕様によりパソコンおよびFT80btアダプタが動作しなくなる場合があります。



必要なソフトウェアをインストール するには

FT80btアダプタの設定を行うために、付属のINSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMからFT80btアダプタ接続ユーティリティおよびUSBドライバをインストールします。インストールを行う前に、起動中のアプリケーションをすべて終了してください。

ここでは、次の作業を行います。

1 INSネット64回線に接続する (☞P33)

FT80btアダプタとパソコンは、FT80btアダプタ接続ユーティリティをインストールし、パソコンを再起動するまで接続しないでください。

2 FT80btアダプタ接続ユーティリティとUSBドライバをインストールする

FT80btアダプタ接続ユーティリティと USBドライバをインストールする

1 FT80btアダプタとパソコンが接続されていないことを確認する。



ワンポイント

自動的に案内ページが表示されない場合は

「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする。

CD-ROMをセットしたドライブの「FT80bt」アイコンをダブルクリックする。

を行っても案内ページが表示されない場合は、「FT80bt.exe」をダブルクリックする。
以降は手順3へ進みます。

FT80btアダプタ接続ユーティリティとUSBドライバをアンインストールするには (☞P244)



お知らせ

ご使用前に必ず案内ページの「本CD-ROMのお取扱い上の注意」を開いてお読みください。

このページの内容は一例を示しています。

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

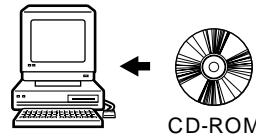


お願い

パソコンにFT80btアダプタを接続する前に、必ずFT80btアダプタ接続ユーティリティをインストールしてください。インストールする前にFT80btアダプタを接続すると動作しなくなることがあります。

2 INSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

自動的に案内ページが表示されます。



案内ページ

3 [FT80btアダプタのインストール] をクリックする。

インストール確認画面が表示されます。



お知らせ

Windows® 98 Second Editionをご利用の場合、FT80btアダプタ接続ユーティリティのインストール時にDCOM98のインストール画面が表示されることがあります。そのときは、画面の指示に従ってインストールしてください。

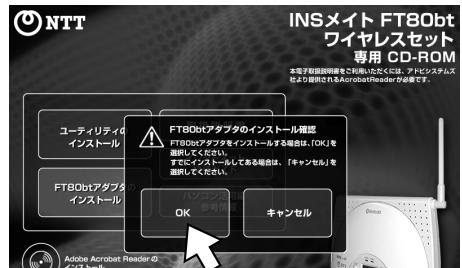
(次ページへ続きます)

必要なソフトウェアをインストール するには

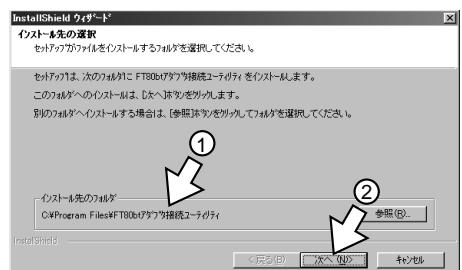
(前ページの続きです)

4 [OK] をクリックする。

セットアッププログラムが起動します。



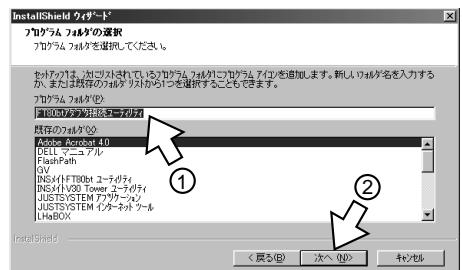
5 インストール先を確認し、[次へ >] をクリックする。



6 プログラムフォルダ名を確認し、 [次へ >] をクリックする。

自動的にFT80btアダプタ接続ユーティリティがインストールされます。

手順7の画面に進むまでに多少時間がかかる場合があります。



Windows® XPの場合、右のような画面が数回表示されます。そのときは [続行] をクリックします。

(OSとの互換性に関する警告が表示されますが、当社にて動作確認済みです。問題ありませんのでそのままインストールを続行してください。)



7 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] がチェックされていることを確認して、[完了] をクリックする。

パソコンが再起動します。

Windows® XPの場合は「Windows® XPの場合のインストール操作」(→P80) へ進みます。

Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 2000の場合は手順8へ進みます。

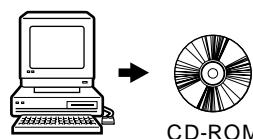
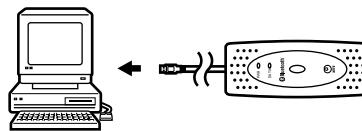
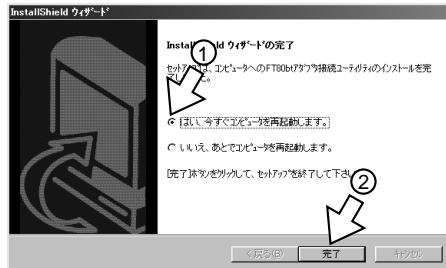
8 パソコンが再起動したら、FT80btアダプタをパソコンのUSBポートに接続する。

Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 2000の場合は自動的にUSBドライバおよびモデム定義ファイルがインストールされます。(Windows® 2000をお使いの場合は、USBドライバのみインストールされます。)

FT80btアダプタを接続してからパソコンが動作するまでに5分ほど時間がかかることがあります。

9 CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出す。

インストールが完了しました。



→ 引き続き「INSメイトFT80btの準備」(→P82) に進みます。

STOP お願い

FT80btアダプタをパソコンに接続してから、ドライバのインストールが完了してパソコンが動作するまでの間はマウスやキーボードにさわらないでください。インストール動作が中断してしまい、FT80btアダプタが動作しなくなることがあります。

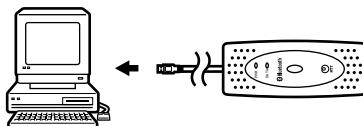
FT80btアダプタをパソコンのUSBポートに接続して登録したあと、接続したUSBポートと別のUSBポートに接続しないでください。インターネット接続などができなくなります。

必要なソフトウェアをインストール するには

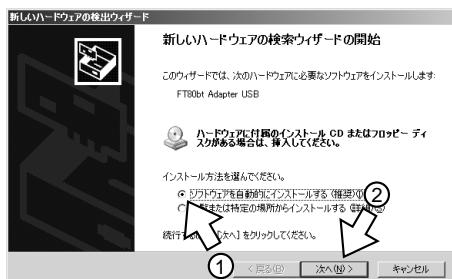
Windows®XPの場合のインス トール操作

Windows®XPでFT80btアダプタをご利用になる場合は、「FT80btアダプタ接続ユーティリティとUSBドライバをインストールする」の手順7(☞P79)のあと、次の操作を行います。

- 1 パソコンが再起動したら、FT80btアダプタをパソコンのUSBポートに接続する。

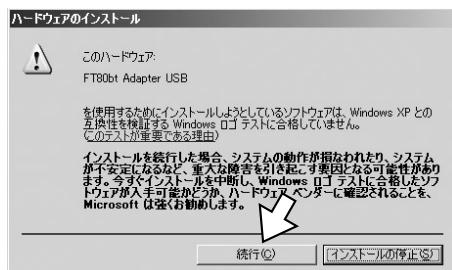


- 2 右の画面が表示されたら、[ソフトウェアを自動的にインストールする]がチェックされていることを確認し、[次へ>]をクリックする。

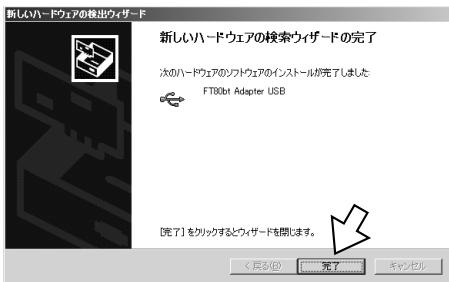


- 3 [続行]をクリックする。

(OSとの互換性に関する警告が表示されますが、当社にて動作確認済みです。問題ありませんのでそのままインストールを続行してください。)

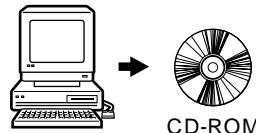


4 [完了] をクリックする。



5 CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出す。

インストールが完了しました。



引き続き「INSメイトFT80btの準備」(☞P82)に進みます。

パソコンを登録するには

INSメイトFT80btのアナログポートに接続した電話機と、FT80btアダプタ接続ユーティリティを使って、Bluetooth™で接続するパソコンを登録します。
ここでは、次の作業を行います。

1 暗証番号を設定する

第三者による登録操作を防ぐため、電話機から登録用の暗証番号を登録します。

2 パスキーを登録する

電話機とパソコンからパスキー（共通の数字）を登録します。

パスキーとは、INSメイトFT80btとBluetooth™で接続するパソコンを識別するための共通の数字です。

3 ワンタッチ接続の設定を行う

INSメイトFT80btとFT80btアダプタをワンタッチで接続するための設定を行います。

暗証番号を設定する

パソコンを登録するには、登録用の暗証番号が必要です。暗証番号は、0～9の4桁の数字を登録します。お買い求め時は暗証番号が「0000」に設定されています。お買い求め時の暗証番号のままでもご利用になれます、第三者による登録操作を防ぐため、暗証番号を設定することをおすすめします。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。



2 ④⑤⑥を押す。

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⑩⑪⑫

アンショウハ ソコ ウ
0LD>

3 現在の暗証番号（①②③④）を押す。

暗証番号は「＊＊＊＊」と表示されます。

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⑩⑪⑫

アンショウハ ソコ ウ
0LD>＊＊＊＊

4 ⑬ボタンを押す。

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⑩⑪⑫

アンショウハ ソコ ウ
NEW>

5 新しい暗証番号(①~⑨の4桁の数字)を押す。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
①

アンショウバ ソコ ウ
NEW>*****

6 #ボタンを押す。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
①

アンショウバ ソコ ウ
カクニン>

7 もう一度、新しい暗証番号(手順5で入力したのと同じ数字)を押す。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
①

アンショウバ ソコ ウ
カクニン>*****

8 #ボタンを押す。

「ブッブッ」という設定完了音が聞こえます。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
①

アンショウバ ソコ ウ
ヘンコウ OK

9 ハンドセットを置く。



ワンポイント

暗証番号の入力を間違えたときは

#ボタンを押すと入力した数字が消去されます。

また、間違った暗証番号を入力して#ボタンを押すと、「ブッブッブッ」という音が聞こえ、入力前の状態に戻ります。

現在の暗証番号を忘れてしまったときは

ATZ98コマンド(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)または電話機からの設定(☞P206)によって、INSメイトFT80btのリセット処理を行ってください。お買い求め時の暗証番号「0000」に戻ります。なお、パスキーを登録してある場合、リセット処理を行うとパスキーは消去されてしまうので、もう一度パスキーの登録を行ってください。(☞P84)



お願い

暗証番号は、第三者に知られないように十分ご注意ください。

(次ページへ続きます)

パソコンを登録するには

(前ページの続きです)

パスキーを登録する

電話機とパソコンを使って、Bluetooth™で接続するパソコンを識別するためのパスキーを登録します。INSメイトFT80btには、最大10件までのパスキーを登録することができます。

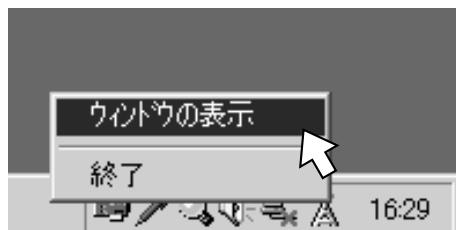
- 1 パソコンを起動し、デスクトップにあ
る [FT80btアダプタ接続ユーティリ
ティ] アイコンをダブルクリックする。
FT80btアダプタ接続ユーティリティが起
動します。



- 2 タスクトレイの [FT80btアダプタ接
続ユーティリティ] アイコンを右クリ
ックする。



- 3 [ウィンドウの表示]をクリックする。
[FT80btアダプタ接続ユーティリティ]画
面が表示されます。
続いて、電話機からの操作を行います。



- 4 ハンドセットを取りあげる。



- 5 ①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⑩⑪⑫



BT トウロク

- 6 暗証番号（「暗証番号を設定する」
の手順5 (☞P83) で入力したの
と同じ数字)を押す。
暗証番号は「****」と表示されます。

BT トウロク

7 ④ボタンを押す。

すでに登録情報があるときは、1件めの情報が表示されます。①を押すと次の情報が、②を押すと前の情報が表示されるので、①または②を押して未登録の登録番号を表示させてください。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
⑩ ⑪ ⑫
⑬ ⑭ ⑮

BT トウロク N01
ミトウロク

8 ⑤ボタンを押す。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
⑩ ⑪ ⑫
⑬ ⑭ ⑮

BT トウロク N01

9 パスキー（最大10桁）を押す。

0~9の任意の数字を入力します。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
⑩ ⑪ ⑫
⑬ ⑭ ⑮

BT トウロク N01
98765

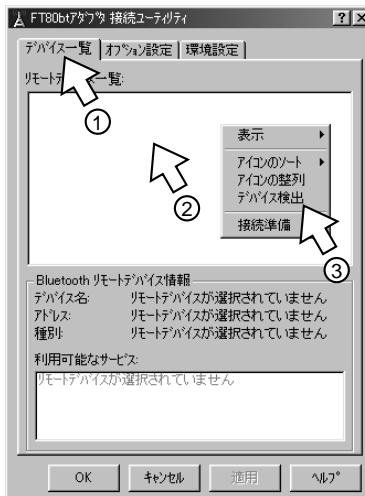
10 ⑥ボタンを押す。

続いて、パソコンからの操作を行います。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
⑩ ⑪ ⑫
⑬ ⑭ ⑮

BT トウロク N01
トウロクチュウ

11 [デバイス一覧]をクリックし、[リモートデバイス一覧]の空白を右クリックし、[デバイス検出]をクリックする。



(次ページへ続きます)

パソコンを登録するには

(前ページの続きです)

12 [NTT FT80bt] アイコンを右クリックし、[ボンディング]をクリックする。

[NTT FT80bt] アイコンが見つからない場合は、INSメイトFT80btやFT80btアダプタの設置環境を確認し、再度手順11から行ってください。

複数の [NTT FT80bt] アイコンが見つかった場合は、INSメイトFT80btのデバイスアドレス (INSメイトFT80btの底面にある品名紙 (☞P28) に記されている12桁の英数字) と、[Bluetoothリモートデバイス情報] に表示されるアドレスが一致する [NTT FT80bt] アイコンを選択してください。



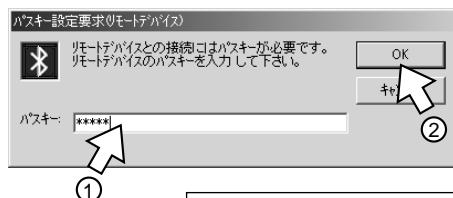
[ボンディング] をクリックすると、液晶ディスプレイに右のように表示されます。

BT トウロク N01
アイテニュウリヨクチュウ

13 手順9で入力したのと同じ数字 (パスキー) を入力し、[OK] をクリックする。

パスキーは半角数字で入力してください。
パスキーの入力は、30秒以内に行ってください。

パスキーは「* * * *」と表示されます。
登録が完了すると、ハンドセットから話中音が聞こえ、液晶ディスプレイに右のように表示されます。



BT トウロク N01
トウロクカソリヨウ

14 ハンドセットを置く。

INSメイトFT80btにFT80btアダプタが登録されました。



引き続き、「ワンタッチ接続の設定を行う」(☞P88) に進みます。



ワンポイント

暗証番号の入力を間違えたときは

手順7で②ボタンを押すと「ブッブッブッブッ」いう音が聞こえるので、正しい暗証番号を入力してください。

暗証番号の入力を3回間違えると話中音が聞こえます。その場合は一度ハンドセットを置いて、手順4からやり直してください。

手順9でバスキーの入力を間違えたときは

手順9で④ボタンを押すと入力した数字が消去されます。正しいバスキーを入力し直してください。

手順13でバスキーの入力を間違えたときは

ハンドセットから話中音が聞こえ、液晶ディスプレイに「トウロク NG」と表示されます。その場合は一度ハンドセットを置いて、手順4からやり直します。

登録情報を削除するには

手順7で②ボタンを押したあと、①または②を押して登録済みの情報を表示させ、④ボタンを押します。続いて、先に表示した登録情報のみを削除するときは④ボタンを、登録情報をすべて削除するときは②ボタンを押します。



お知らせ

パソコンを起動してすぐにFT80btアダプタ接続ユーティリティを起動しようとしても、FT80btアダプタ接続ユーティリティが起動しないことがあります。パソコンが起動してしばらく待ってからFT80btアダプタ接続ユーティリティを起動してください。

FT80btアダプタ接続ユーティリティでは、アプリケーションキー（キーボードの右クリックメニューを表示するキー）での操作はできません。

パソコン側のバスキーは15桁まで入力できますが、INSメイントFT80bt側のバスキーは10桁までしか入力できないので、バスキーは半角数字で10桁以内で設定してください。

INSメイントFT80btにFT80btアダプタを複数登録しても、同時に通信できるのは1台のみです。

FT80btアダプタを複数登録する場合、他のFT80btアダプタと通信中のときは登録操作を行うことはできません。複数登録をする場合は、他のFT80btアダプタの通信を終了したうえで、FT80btアダプタ接続ユーティリティを終了させてから行ってください。

登録情報は最大10件までです。

一度登録したFT80btアダプタを再度登録する場合は、INSメイントFT80btに登録した登録情報を削除してから、再度登録の操作を行ってください。

登録情報を1件削除すると、それ以降に登録された登録情報は1件ずつ繰り上がって表示されます。

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

(次ページへ続きます)

パソコンを登録するには

(前ページの続きです)



お願い

パスキーは、第三者に知られないように十分ご注意ください。

パスキーの登録、およびボンディングを行わないと、ワンタッチ接続（☞下記）は正常に動作しません。手順10の操作後、10分以内に手順11～13の操作を行ってください。10分以内にパソコンにパスキーが登録されないと、INSメイトFT80btにもパスキーが登録されません。

手順5～10までの間は、30秒以内に次の操作を行ってください。

手順12で[ボンディング]をクリックしたあとは、電話機から操作を中止することはできません。

INSメイトFT80btの電源を入れた直後にFT80btアダプタの登録操作を行うと、登録できない場合があります。その場合は、しばらく待ってから再度登録操作を行ってください。

FT80btアダプタの登録およびワンタッチ接続の設定（☞下記）を行ったあとは、むやみに「デバイス検出」や「接続準備」の操作を行わないでください。インターネットに接続できなくなることがあります。

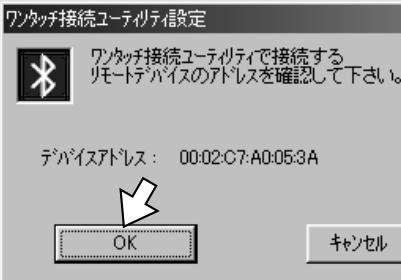
ワンタッチ接続の設定を行う

- 1 [NTT FT80bt] アイコンを右クリックし [ワンタッチ接続設定] をクリックする。



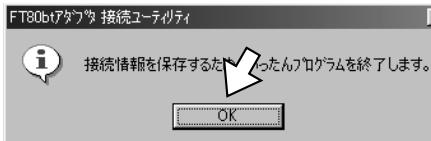
2 INSメイトFT80btのデバイスアドレスを確認し、[OK]をクリックする。

デバイスアドレスは、INSメイトFT80btの底面にある品名紙の右上に示されている12桁の英数字です。（☞P28）



3 右の画面が表示されるので、[OK]をクリックし、FT80btアダプタ接続ユーティリティを終了する。

ワンタッチ接続の設定が行われました。



ワンポイント

[FT80btアダプタ接続ユーティリティ]画面からデバイスアドレスを確認するには

FT80bt接続ユーティリティの画面を表示する。（☞P112）

[FT80btアダプタ接続ユーティリティ]画面で[デバイス一覧]をクリックする。

[リモートデバイス一覧]の[NTT FT80bt]アイコンをクリックして、[Bluetoothリモートデバイス情報]に表示される[アドレス]を確認する。（☞P114）

ワンタッチ接続先アドレスを削除するには

FT80bt接続ユーティリティの画面を表示する。（☞P112）

[FT80btアダプタ接続ユーティリティ]画面で[オプション設定]をクリックする。

[ワンタッチ接続先アドレス削除]をクリックする。（☞P116）

お知らせ

一度パソコンに登録したFT80btアダプタを他のパソコンのUSBポートに接続した場合、ワンタッチ接続は利用できません。その場合は、オプションのFT80btアダプタ（☞P229）を別途お買い求めいただき、増設したい側のパソコンに接続したうえ、増設登録を行ってください。

お願ひ

インターネットを利用するときには、FT80btアダプタを登録（☞P84）したあと、必ずワンタッチ接続の設定を行ってください。この操作を行わないとインターネットに接続できません。

ワイヤレス接続するには

ワイヤレス通信を行うときは、以下の操作を行います。

FT80btアダプタからインターネット接続を行う前には、必ず以下の操作を行ってください。

- 1 パソコンを起動し、デスクトップにある [FT80btアダプタ接続ユーティリティ] アイコンをダブルクリックする。

FT80btアダプタ接続ユーティリティが起動し、ワイヤレス接続の準備が行われます。

ワイヤレス接続の準備ができたときは、アイコンが右のようになります。

ワイヤレス接続の準備状態を解除するには、右の状態から [FT80btアダプタ接続ユーティリティ] アイコンをクリックします。



引き続き以下の手順に進みます。

- Windows® XPの場合
 - Windows® XPの場合の準備 (☞P91)
- Windows® Me / Windows® 98 Second Editionの場合
 - FT80btアダプタ接続ユーティリティの利用 (☞P112)
 - インターネットに接続する (別冊「インターネット接続ガイド」参照)
- Windows® 2000の場合
 - Windows® 2000の場合の準備 (☞P102)



お知らせ

ワンタッチ接続設定 (☞P88) が行われていないときは、FT80bt接続ユーティリティを起動しても、ワイヤレス接続の準備は行われません。

登録情報を消去したときや、ATZ98コマンド (☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)、または電話機からの設定 (☞P206) によってINSメイトFT80btのリセット処理を行った場合は、もう一度パスキーの登録 (☞P84) を行ってください。

ワイヤレス接続の準備ができた状態になっているときは、FT80btアダプタ接続ユーティリティの [ウィンドウの表示] や [終了] の操作 (☞P112、113) は、できません。



お願い

FT80btアダプタ接続ユーティリティ起動中は、絶対にFT80btアダプタのUSBケーブルをパソコンから外さないでください。

Windows® 2000およびWindows® XPをご利用の場合、OSのログオフ機能は使用しないでください。動作ができなくなることがあります。

ワイヤレス接続中にパソコンを再起動しないでください。通信が正常に切断できない場合があります。

ワイヤレス接続中は、むやみに「デバイス検出」や「接続準備」の操作を行わないでください。正常に通信できなくなる場合があります。

インストールされたCOMポートを
確認するには

Windows® XPをお使いの場合は、モデム定義ファイルをインストールするため
に、[Bluetooth COM Port-SERIAL] がインストールされたCOMポート番号
を確認します。

1 あらかじめFT80btアダプタ接続ユーティリティを起動して、ワイヤレス接続
が可能な状態にしておく。(☞P90)

2 [スタート]ボタンをクリックし、
[コントロールパネル]をクリック
する。



3 [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする。

右のように表示されていない場合は、[カテゴリの表示に切り替える] をクリックし、
右のような表示に切り替えます。



STOP お願い

モデム定義ファイルのインストールを行う前に「パソコンを登録するには」(☞P82)の手順に従って
FT80btアダプタの登録を行い、かつワイヤレス接続が可能な状態(☞P90)にしてください。
FT80btアダプタの登録およびワンタッチ接続の準備を行わないと、[Bluetooth COM Port-SERIAL]
が認識されず、モデム定義ファイルのインストールができません。

(次ページへ続きます)

インストールされたCOMポートを
確認するには

(前ページの続きです)

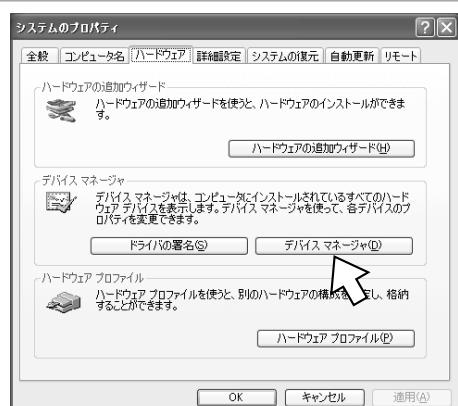
- 4 [コントロールパネルを選んで実行します]の中にある[システム]をクリックする。



- 5 [ハードウェア]をクリックする。

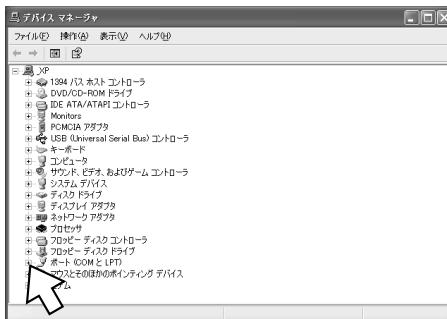


- 6 [デバイスマネージャ]をクリックする。



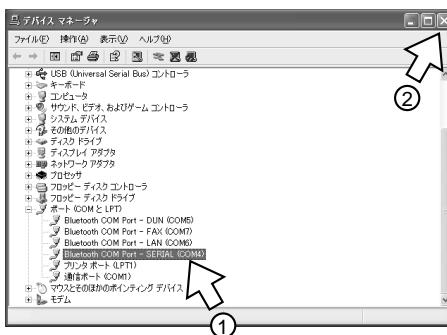
7 [ポート(COMとLPT)]の左側にある+アイコンをクリックする。

手順8のように表示されている場合、この操作は不要です。



8 [Bluetooth COM Port-SERIAL] のCOMポート番号を確認し、[X]をクリックする。

ここで確認したCOMポート番号は、次の「モデム定義ファイルをインストールする」の操作で必要となるので、メモなどに控えておいてください。



引き続き、「モデム定義ファイルをインストールするには」(☞P94)に進みます。

STOP お願い

[デバイスマネージャ]画面の[? その他のデバイス]に[Bluetooth COM Bridge]がインストールされますが、このデバイスを削除しないでください。正常に動作しなくなることがあります。

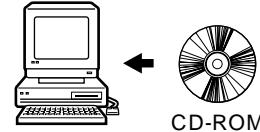
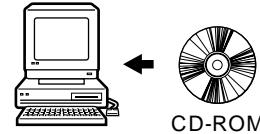
モデム定義ファイルをインストールするには

Windows® XPをお使いの場合は、[Bluetooth COM Port-SERIAL] がインストールされたCOMポートに、モデム定義ファイルをインストールします。

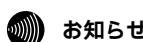
- 1 付属のINSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

手順の途中で、右のような案内ページが起動した場合は、[END] をクリックして案内ページを閉じてください。

すでにINSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMがセットされている場合は、手順2から始めます。



- 2 [スタート] ボタンをクリックして、[コントロールパネル] をクリックする。



画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

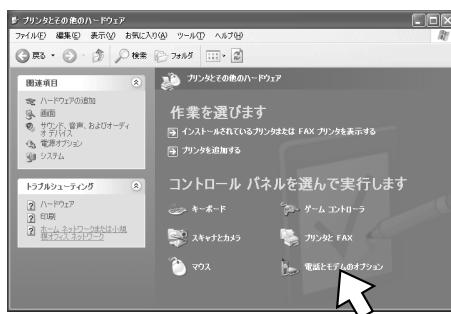
3 [プリンタとその他のハードウェア] をクリックする。

右のように表示されていない場合は、[カテゴリの表示に切り替える] をクリックし、右のような表示に切り替えます。



4 [コントロールパネルを選んで実行します] にある [電話とモデムのオプション] アイコンをクリックする。

[所在地情報] が表示された場合は、[市外局番 / エリアコード] に市外局番を入力し、[OK] をクリックします。



5 [モデム] をクリックする。

これまで、モデムがセットアップされていなかったときなどは、右の画面が表示されずに「新しいモデムのインストール」画面が表示されますので、手順7へ進みます。



(次ページへ続きます)

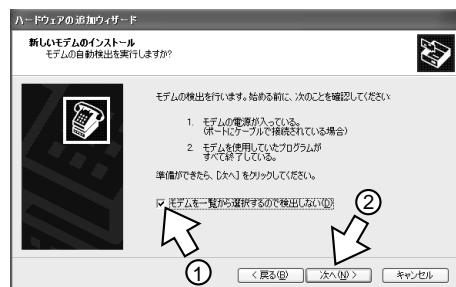
モデム定義ファイルをインストールするには

(前ページの続きです)

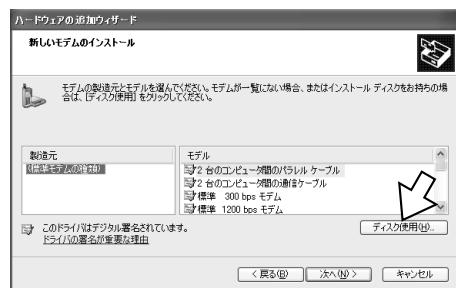
6 [追加] をクリックする。



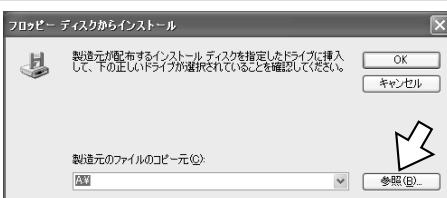
7 [モデムを一覧から選択するので検出しない] をチェックして [次へ] をクリックする。



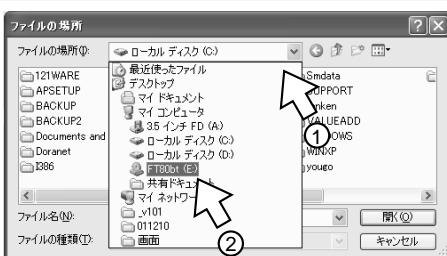
8 [ディスク使用] をクリックする。



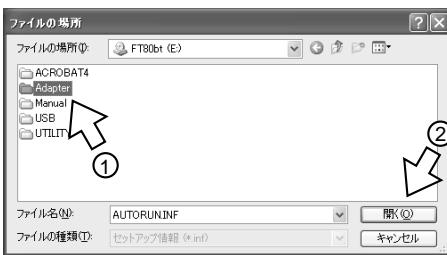
9 [参照] をクリックする。



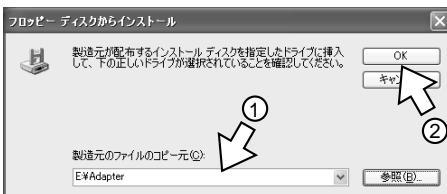
10 [ファイルの場所] の□をクリックし、一覧からCD-ROM ドライブを選択する。



11 [Adapter] フォルダをダブルクリックし、[開く]をクリックする。



12 [製造元のファイルのコピー元] に [Adapter] が表示されていることを確認し、[OK] をクリックする。



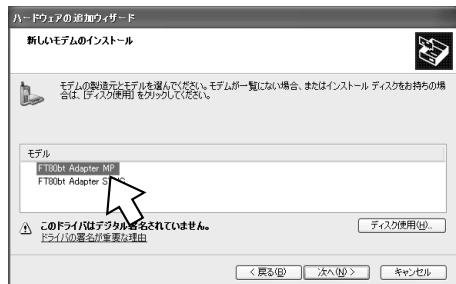
(次ページへ続きます)

モデム定義ファイルをインストールするには

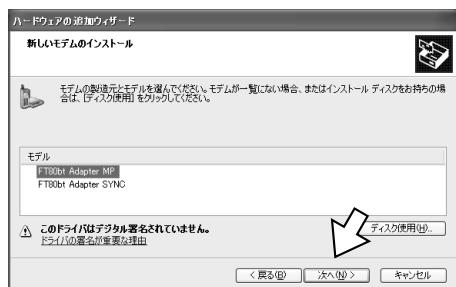
(前ページの続きです)

13 ご利用になる通信モード（➡CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）に合わせて、モデム定義ファイルを選択する。

- 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[FT80bt Adapter SYNC]
- MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[FT80bt Adapter MP]



14 [次へ >] をクリックする。



15 [選択したポート] をチェックし、「インストールされたCOMポートを確認するには」の手順8（➡P93）で確認した [Bluetooth COM Port-SERIAL] のCOMポート番号を選択し、[次へ >] をクリックする。

[Bluetooth COM Port-SERIAL] のCOMポート番号が表示されない場合は、FT80btアダプタ接続ユーティリティが起動していることを確認し、再度やり直してください。

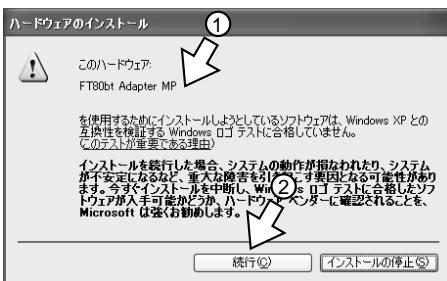


STOP お願い

同一のCOMポートに複数のモデム定義ファイルをインストールすると、正常に通信できなくなることがあります。このような場合は、ご利用になるモデム定義ファイルのみをインストールするようにしてください。

16 [FT80bt Adapter SYNC] または [FT80bt Adapter MP] と表示されていることを確認し、[続行] をクリックする。

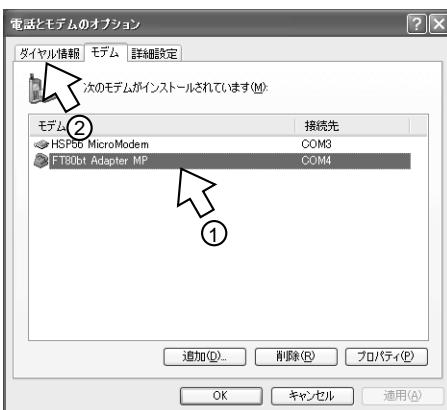
OSとの互換性に関する警告が表示されます
が、当社にて動作確認済みです。問題はあ
りませんので、そのままインストールを続
行してください。



17 [完了] をクリックする。



18 選択したモデム定義ファイルが追加されていることを確認して、[ダイヤル情報] をクリックする。



(次ページへ続きます)

モードム定義ファイルをインストールするには

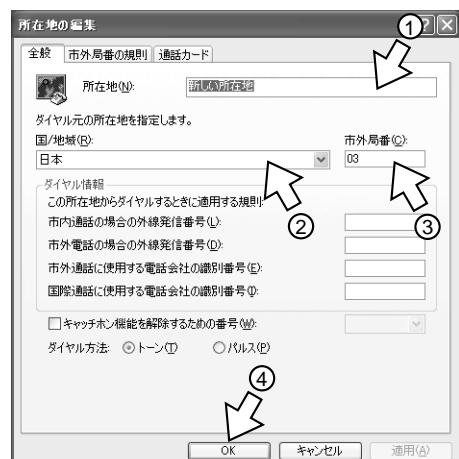
(前ページの続きです)

19 [新しい所在地] をダブルクリックする。

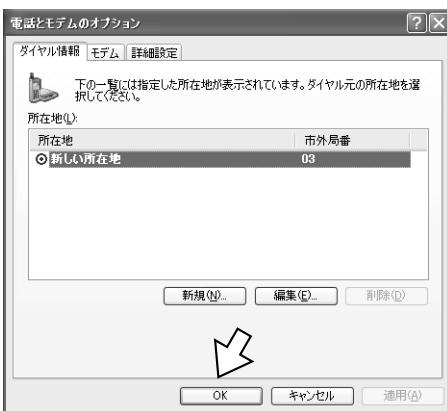
- [新しい所在地] は [所在地情報] と表示されている場合もあります。



20 [新しい所在地] をご使用に合わせて正しく設定し、[OK] をクリックする。

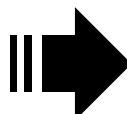
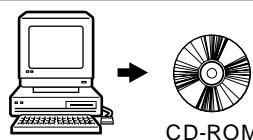


21 [OK] をクリックする。



22 CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出す。

以上でインストールは完了です。



引き続き以下の手順に進みます。

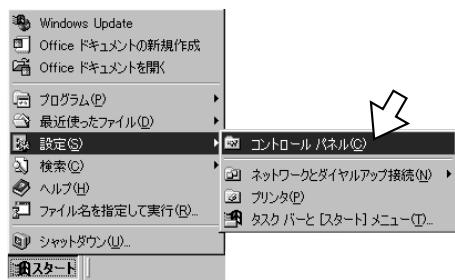
- ・FT80btアダプタ接続ユーティリティの利用 (☞P112)
- ・インターネットに接続する (別冊「インターネット接続ガイド」参照)

インストールされたCOMポートを確認するには

Windows® 2000をお使いの場合は、モデム定義ファイルをインストールするためには、[Bluetooth COM Port-SERIAL] がインストールされたCOMポート番号を確認します。

1 あらかじめFT80btアダプタ接続ユーティリティを起動して、ワイヤレス接続が可能な状態にしておく。(☞P90)

2 [スタート]ボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル]をクリックする。



3 [システム]アイコンをダブルクリックする。



STOP お願い

モデム定義ファイルのインストールを行う前に「パソコンを登録するには」(☞P82)の手順に従ってFT80btアダプタの登録を行い、かつワイヤレス接続が可能な状態(☞P90)にしてください。FT80btアダプタの登録およびワントップ接続の準備を行わないと、[Bluetooth COM Port-SERIAL]が認識されず、モデム定義ファイルのインストールができません。

4 [ハードウェア] をクリックする。



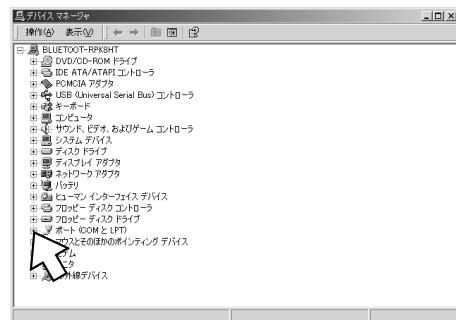
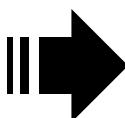
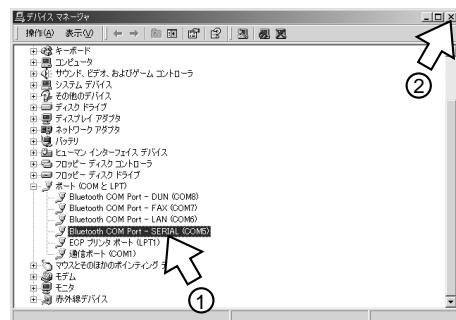
5 [デバイスマネージャ] をクリックする。



(次ページへ続きます)

インストールされたCOMポートを
確認するには

(前ページの続きです)

6 [ポート(COMとLPT)]の左側に
ある+アイコンをクリックする。手順7のように表示されている場合、この操
作は不要です。7 [Bluetooth COM Port-SERIAL]
のCOMポート番号を確認し、
をクリックする。ここで確認したCOMポート番号は、次の「モ
デム定義ファイルをインストールする」の操
作で必要となるので、メモ等に控えておいて
ください。引き続き、「モデム定義ファイルをインストールするには」
(☞P105) に進みます。

お願ひ

[デバイスマネージャ]画面の[? その他のデバイス]に[Bluetooth COM Bridge]がインストール
されますが、このデバイスを削除しないでください。正常に動作しなくなることがあります。

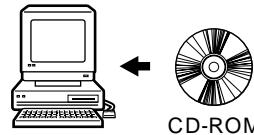
モデム定義ファイルをインストールするには

Windows® 2000をお使いの場合は、[Bluetooth COM Port-SERIAL] がインストールされたCOMポートに、モデム定義ファイルをインストールします。

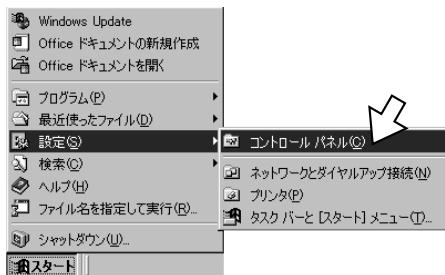
1 付属のINSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

手順の途中で、右のような案内ページが起動した場合は、[END] をクリックして案内ページを閉じてください。

すでにINSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMがセットされている場合は、手順2から始めます。



2 [スタート]ボタンをクリックして、[設定] - [コントロールパネル] をクリックする。



3 [電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリックする。

[所在地情報] が表示された場合は、[市外局番 / エリアコード] に市外局番を入力し、[OK] をクリックします。



(次ページへ続きます)

お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

モデム定義ファイルをインストールするには

(前ページの続きです)

4 [モデム] をクリックする。

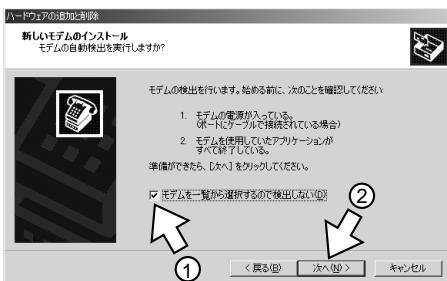
これまで、モデムがセットアップされていなかったときなどは、右の画面が表示されずに「新しいモデムのインストール」画面が表示されますので、手順6へ進みます。



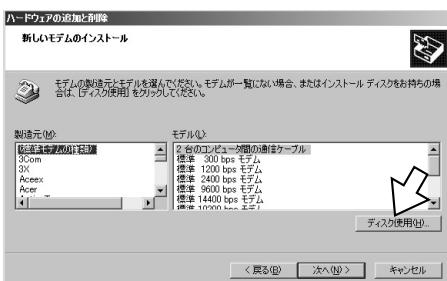
5 [追加] をクリックする。



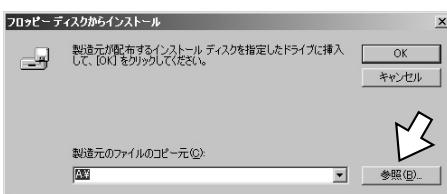
6 [モデムを一覧から選択するので検出しない] をチェックして [次へ >] をクリックする。



7 [ディスク使用] をクリックする。



8 [参照] をクリックする。



(次ページへ続きます)

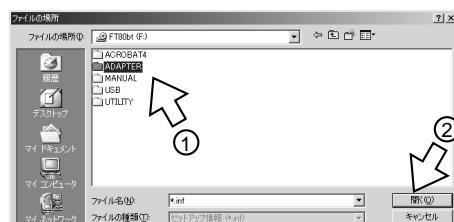
モデム定義ファイルをインストールするには

(前ページの続きです)

- 9 [ファイルの場所] の□をクリックし、一覧からCD-ROMドライブを選択する。



- 10 [ADAPTER] フォルダをダブルクリックし、[開く] をクリックする。

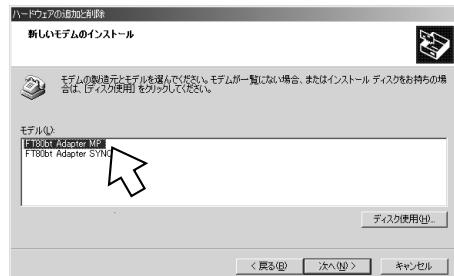


- 11 [製造元のファイルのコピー元] に [ADAPTER] が表示されていることを確認し、[OK] をクリックする。

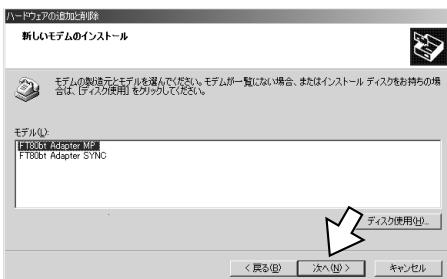


- 12 ご利用になる通信モード (CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」) に合わせて、モデム定義ファイルを選択する。

- 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[FT80bt Adapter SYNC]
- MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
[FT80bt Adapter MP]



13 [次へ >] をクリックする。

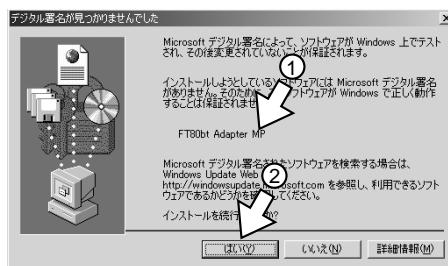


14 [選択したポート] をチェックし、
「インストールされたCOMポート
を確認する」の手順7 (☞P104)
で確認した [Bluetooth COM
Port-SERIAL] のCOMポート番
号を選択し、[次へ >] をクリック
する。

[Bluetooth COM Port-SERIAL] のCOM
ポート番号が表示されない場合は、
FT80btアダプタ接続ユーティリティが起
動していることを確認し、再度やり直して
ください。

15 [FT80bt Adapter SYNC] または [FT80bt Adapter MP] と表示
されていることを確認し、[はい]
をクリックする。

[所在地情報] 画面が表示された場合はご使
用に合わせて正しく設定し、[次へ >] をク
リックしてください。



STOP お願い

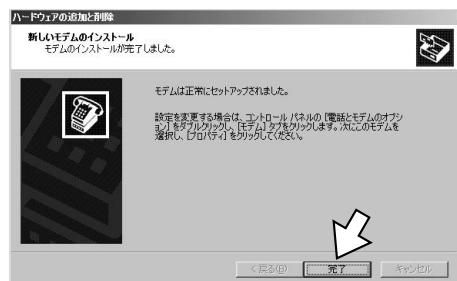
同一のCOMポートに複数のモデム定義ファイルをインストールすると、正常に通信できなくなることがあります。このような場合は、ご利用になるモデム定義ファイルのみをインストールするようにしてください。

(次ページへ続きます)

モデム定義ファイルをインストールするには

(前ページの続きです)

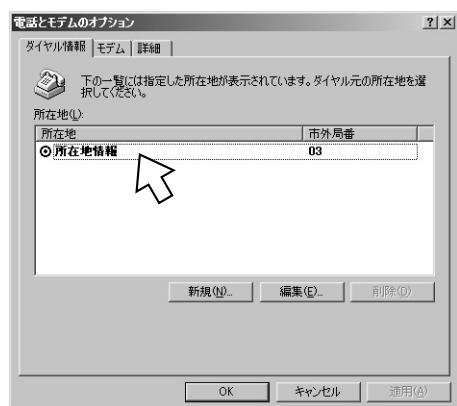
16 [完了] をクリックする。



17 選択したモデム定義ファイルが追加されていることを確認して、[ダイヤル情報] をクリックする。



18 [所在地情報] をダブルクリックする。



19 [所在地情報]をご使用に合わせて正しく設定し、[OK]をクリックする。

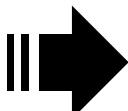
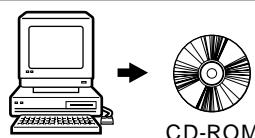


20 [OK]をクリックする。



21 CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出す。

以上でインストールは完了です。



引き続き以下の手順に進みます。

- ・FT80btアダプタ接続ユーティリティの利用 (☞P112)
- ・インターネットに接続する (別冊「インターネット接続ガイド」参照)

ユーティリティを利用するには

FT80btアダプタ接続ユーティリティの画面を表示する

- 1 デスクトップにある [FT80btアダプタ接続ユーティリティ] アイコンをダブルクリックする。

FT80btアダプタ接続ユーティリティがすでに起動している場合は、手順2に進みます。



- 2 タスクトレイの [FT80btアダプタ接続ユーティリティ] アイコンをクリックし、ワイヤレス接続準備状態を解除する。(☞P90)

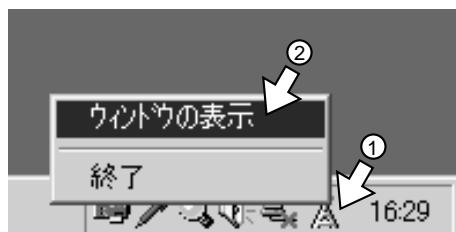


アイコンが右のように変化したことを確認します。



- 3 タスクトレイの [FT80btアダプタ接続ユーティリティ] アイコンを右クリックし、[ウィンドウの表示] をクリックする。

[FT80btアダプタ接続ユーティリティ] 画面が表示されます。(☞P114)



ワンポイント

[FT80btアダプタ接続ユーティリティ] 画面共通の操作

[OK] ボタン...設定を保存し、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン...設定を保存せずに、画面を閉じます。

[適用] ボタン...画面を閉じずに、設定を保存します。

[ヘルプ] ボタン...ヘルプを表示します。



お知らせ

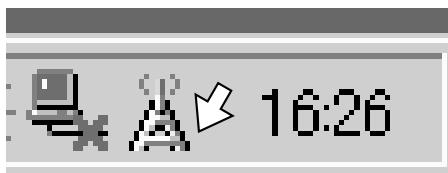
FT80btアダプタ接続ユーティリティでは、アプリケーションキー（キーボードの右クリックメニューを表示するキー）での操作はできません。

FT80btアダプタ接続ユーティリティを終了する

1 インターネットに接続しているときは、回線切断の操作を行う。
(☞別冊「インターネット接続ガイド」)

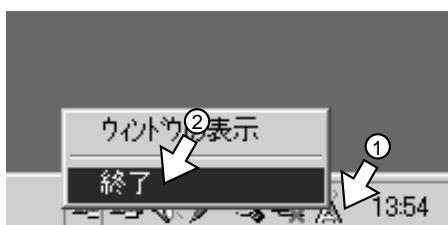
2 タスクトレイの[FT80btアダプタ接続ユーティリティ]をクリックし、ワイヤレス接続準備状態を解除する。(☞P90)

アイコンが右のように変化したことを確認します。



3 タスクトレイの[FT80btアダプタ接続ユーティリティ]アイコンを右クリックし、[終了]をクリックする。

無線リンクが確立していた場合は、通信が切断されます。



お知らせ

ワンタッチ接続先設定(☞P88)が行われていないときは、FT80bt接続ユーティリティを起動しても、ワイヤレス接続の準備は行われません。

お願ひ

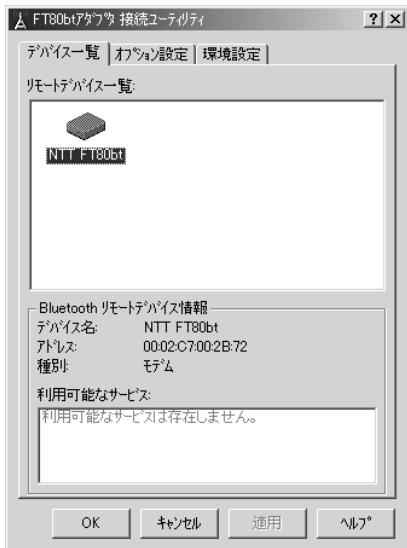
FT80btアダプタ接続ユーティリティの終了操作は、FT80btアダプタでの通信を終了させてから行ってください。

パソコンの終了操作は、必ずFT80btアダプタ接続ユーティリティを終了してから行ってください。FT80btアダプタ接続ユーティリティを起動したままパソコンを終了すると、通信が正常に切断されなかったり、次回以降インターネット接続ができなくなる場合があります。

FT80btアダプタ接続ユーティリティの各画面について説明します。

[デバイス一覧]画面

通信可能範囲内にあるリモートデバイスの一覧とその詳細情報を確認することができます。



• リモートデバイス一覧

通信可能範囲内にあるリモートデバイスがアイコンで表示されます。リモートデバイスの詳細情報を見るためには、詳細情報を見たいデバイスのアイコンをクリックして、画面下に表示されるデバイス情報をご覧ください。

ワンタッチ接続の設定を行う場合は、パスキーの登録 (☞P84) を行ったあと、そのデバイスのアイコンを右クリックして、[ワンタッチ接続の設定] をクリックします。

FT80btアダプタ接続ユーティリティの [デバイス一覧] の表示方法を変更するためには、[リモートデバイス一覧] の空白を右クリックして、メニューから [表示] [アイコンのソート] [アイコンの整列] のいずれかを選択してください。

[リモートデバイス一覧] のリストを更新するためには、[リモートデバイス一覧] の空白を右クリックして、[デバイス検出] を選択してください。

• Bluetoothリモートデバイス情報

選択されたリモートデバイス情報の詳細は以下のとおりです。

デバイス名

設定されているデバイス名を表示します。INSメイトFT80btの場合、[NTT FT80bt] と表示されます。[NTT FT80bt] が表示されるのは、パスキー登録時にデバイス検出を行ったとき (☞P85) およびワンタッチ接続準備中 (☞P90) のみです。

アドレス

デバイスに割り当てられているBluetooth™アドレスを表示します。

種別

デバイスの種類を表示します。INSメイトFT80btの場合、[モデム] と表示されます。

利用可能なサービス

サポートされているサービスを表示します。選択したデバイスのアイコンを右クリックし、[利用可能なサービスの検出] をクリックすると表示されます。

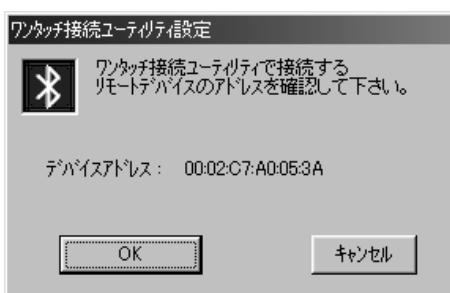
INSメイトFT80btに対して利用可能なサービスの検出を行う場合は、パスキーの登録 (☞P84) が完了してから行ってください。

[ワンタッチ接続ユーティリティ設定]画面

[デバイス一覧]画面で、接続するデバイスのアイコンを右クリックし、[ワンタッチ接続設定]をクリックすると表示されます。

ワンタッチ接続ユーティリティで接続するリモートデバイスのアドレスを確認します。

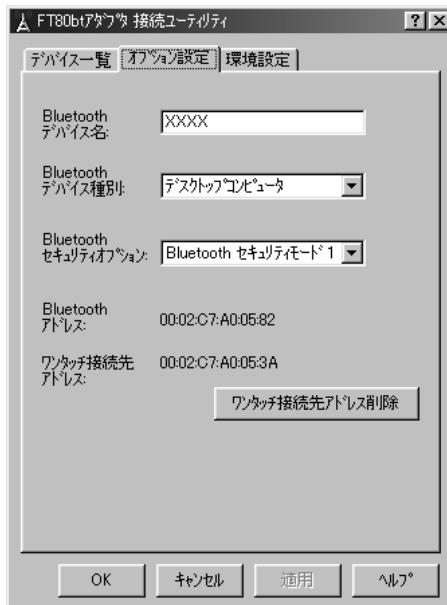
[OK]をクリックすると、いったんプログラムを終了するメッセージが表示されますので、[OK]をクリックしてプログラムを終了します。(☞P89)



設定項目	説明	設定内容
デバイスアドレス	ワンタッチ接続を行うリモートデバイスのアドレスを確認します。(☞P89)	

[オプション設定]画面

BluetoothTMアプリケーションでローカルデバイスを識別するために使われるプロパティを選択、設定することができます。



下線__は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説明	設定内容
Bluetoothデバイス名	FT80btアダプタを接続したコンピュータ名が表示されます。 (標準ではOSに登録したコンピュータ名が表示されます。)	
Bluetoothデバイス種別	接続したコンピュータのタイプを選択します。 通常は初期値のままでお使いください。	デスクトップコンピュータ ラップトップコンピュータ サーバ ハンドヘルドコンピュータ Palm LAN Access
Bluetoothセキュリティオプション	セキュリティモードを選択します。セキュリティモード3のほうが、セキュリティが強化されます。	セキュリティモード1 セキュリティモード3
Bluetoothアドレス	接続したFT80btアダプタのBluetooth TM アドレスが表示されます。	
ワンタッチ接続先アドレス	ワンタッチ接続を設定したデバイスアドレスを確認します。 [ワンタッチ接続先アドレス削除]をクリックすると、ワンタッチ接続を行なうリモートデバイスの情報を削除します。	

[環境設定]画面

FT80btアダプタ接続ユーティリティのためのプロパティを選択して、設定することができます。将来の拡張のために使用します。画面の設定は行わないでください。



下線_は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説明	設定内容
Bluetooth Inbox	転送されたファイルを保存するための場所をフルパスで設定します。	
変更	既存のフォルダから保存場所を選択します。	
Inboxのオープン	ファイルを保存した場所を開きます。	
ファイルを受信したら通知する	リモートデバイスから転送されたファイルの受信通知を設定します。	<p>する：</p> <p>リモートデバイスから転送されたファイルを受信する前に受信通知のプロンプトを表示させる</p> <p>しない：</p> <p>通知なしで自動的にすべてのファイルを受信する</p>

FT80btアダプタから設定ユーティリティを利用するには

FT80btアダプタを接続したパソコンからワイヤレス通信を利用して、INSメイトFT80btの設定を行うことができます。

FT80btアダプタを登録したあと、以下の操作を行います。

1 「ユーティリティをインストールするには」(☞P44) の手順に従って、イージーウィザードと設定ユーティリティをインストールする。

ただし、手順8(☞P46)で[再起動]をクリックする前に、[INSメイトFT80btイージーウィザードを起動する]のチェックを外しておいてください。

すでにインストールされている場合は、手順2から始めます。

2 パソコンが再起動したらFT80btアダプタ接続ユーティリティを起動し、ワイヤレス接続が可能な状態にしておく。(☞P90)

3 「設定ユーティリティを起動／終了するには」(☞P64) の手順に従って、設定ユーティリティを起動する。

4 「設定ユーティリティの基本操作」(☞P68) や「設定ユーティリティの活用」(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)を参照して、必要な設定を行う。



お知らせ

ワイヤレス接続ができない状態でイージーウィザードを起動すると、[INSメイトFT80btの接続方法]画面(☞P48)が表示されます。この場合は、[キャンセル]をクリックしていったん終了し、FT80btアダプタ接続ユーティリティが起動し、ワイヤレス通信が可能になっていることを確認して、もう一度イージーウィザードを起動してください。



お願い

FT80btアダプタからは初期化およびバージョンアップ(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)は、行わないでください。INSメイトFT80btが動作しなくなることがあります。

ダイヤルアップ接続を行っているときは、設定ユーティリティを起動しないでください。正常に動作しなくなることがあります。

電話／ファクス編

1	すぐに使えます	120
2	電話のいろいろな使いかた	132
3	ファクスのいろいろな使いかた	158
4	発信者番号の通知と表示	161
5	電話やファクスの呼び分け	170
6	転送／メッセージ録音	188
7	電話機からの設定	200

電話をかける／ファクスを送るには (発信)

INSメイトFT80btに電話機やファクスを接続するだけで、電話をかけたり、ファクスを送ることができます。電話機などは同時に2台まで使用することができます。ただし、パソコンでBチャネルを1本使用しているときは、電話機は1台しか使用できません。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。

約20秒以内に手順2の操作を行ってください。

約20秒を過ぎると、話中音が聞こえます。



12月31日(水) A1
12:00

TEL1ポートで発信したとき

2 電話番号(最大32桁)を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。(ダイヤル桁間タイマ)

電話番号のあとに#ボタンを押すと、すぐに発信します。(ダイヤル終了識別)



アナログ 1 ハッシュ
0312345678

3 相手の方が出たら、お話しする。

ファクスの場合は、送信操作を行います。



12月31日(水) A1
12:00 B1

4 お話し終わったら、ハンドセットを置く。

通話料金が表示されます。



アナログ 1 セツダン
100円



お知らせ

電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイマで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。

続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを約2秒以上置いてからダイヤルしてください。

パソコンで2本のBチャネルを使用しているときは、リソースBODを設定していないと電話機やファクスは使用できません。(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

1 ワンポイント

発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイマ）
お買い求め時は4秒に設定されています。

TELで設定（機能番号：124）（☞P204）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

④ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）

お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを④ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「# #で識別する」に設定を変更してください。

TELで設定（機能番号：125）（☞P206）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

サブアドレスを指定して電話をかけるには

相手の方の電話番号を押したあとに、（＊）ボタン、サブアドレス（最大19桁）を押します。

例 0312345678 （＊） 12345

電話番号 サブアドレス

受話音量を調節するには

電話機の受話音量を「大」、「中」、「小」に調節できます。お買い求め時は「中」に設定されています。

TELで設定（機能番号：017）（☞P210）

PCで設定（TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面「その他」）（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

発信を規制するには（発信規制）

アナログポートに接続した電話機やファックスから、外へ電話をかけられないようにすることができます。「0発信規制」、「外線発信規制」のどちらかを設定できます。

0発信規制：1桁めに0が付く電話番号をダイヤルしたときは発信できません。

外線発信規制：すべての外線発信ができません。

TELで設定（機能番号：022）（☞P212）

PCで設定（TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面「発信・着信2」）（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

発信規制を設定した場合も、「110」、「118」、「119」へは電話をかけることができます。

アナログポートを使用しない場合は

接続機器設定を「接続しない」に設定します。

TELで設定（機能番号：008）（☞P208）

PCで設定（TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面「発信・着信2」）（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

発信時の電話番号を表示しないようにするには（液晶ディスプレイ表示モード）

液晶ディスプレイに表示される発信時の電話番号を表示しないようにしたり、電話番号を「＊」で表示すること（プライベート表示）もできます。

TELで設定（機能番号：141）（☞P206）

直前にかけた電話の通話料金や累積料金を表示するには

電話を切ったあとで通話料金を表示したり、今までの累積料金を表示することもできます。（☞P126）

電話を受ける／ファクスを受けるには (着信)

アナログポートに接続した電話機で電話を受けたり、ファクスを受信することができます。ほかの1つのポートを使用中でも、着信を受けられます。

2つのアナログポートの両方に電話機やファクスを接続している場合は、両方から着信音が鳴ります。

-
- 1 着信音が鳴る。



アナログ チャクシン
0312345678

- 2 ハンドセットを取りあげて、相手の方
とお話しする。



12月31日(水) A1
12:00 B1

TEL1ポートで応答したとき

- 3 お話し終わったら、ハンドセットを
置く。



アナログ 1 セツタ"ン



ワンポイント

ファクスに転送するには（内線転送）（☞P130）

相手がファクスのときは、ハンドセットを取りあげると「パー・パー」という音が聞こえます。もう一方のアナログポートにファクスを接続している場合は、次の操作でファクスを受信することができます。

フッキングする **※※①**（または②）を押す ハンドセットを置く

着信音で相手を識別するには（INSなりわけサービス／疑似なりわけ）

あらかじめ登録した相手の方からの着信は、通常と異なる着信音を鳴らすことができます。（☞P140）

着信音が鳴る電話機を指定するには（優先着信ポート指定）

着信音を鳴らす電話機のアナログポートを指定することができます。（☞P132）

アナログポートを使用しない場合は

接続機器設定を「接続しない」に設定します。

TELで設定（機能番号：008）（☞P208）

PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」）（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

着信時の電話番号を表示しないようにするには（液晶ディスプレイ表示モード）

液晶ディスプレイに表示される着信時の電話番号を表示しないようにしたり、電話番号を「＊」で表示することもできます。

TELで設定（機能番号：141）（☞P206）

着信を拒否するには

アナログポートに接続した電話機やファクスで、外からのすべての着信を受けられないようにすることができます。また、特定の電話番号からの着信を受け付けないようにすることもできます。（☞P133）



お知らせ

液晶ディスプレイに電話番号が表示されるのは、発信者番号通知機能のあるINSネット64、携帯電話機、PHS対応電話機からの着信です。一般的の電話回線からの電話番号を表示するためには、INSナンバー・ディスプレイを契約する必要があります。

パソコンで2本のBチャネルを使用しているときは、リソースBODを設定していないと電話機やファクスは使用できません。（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

発信履歴 / 着信履歴を表示するには

前にかけた電話番号、かかってきた相手の電話番号をINSメイトFT80btの液晶ディスプレイで確認することができます。発信履歴と着信履歴は、それぞれ15件まで表示できます。

発信履歴を表示する

- 1 ハンドセットを取りあげる。
「ツー」という発信音が聞こえます。



12月31日(水) A1
12:00

- 2 ⑧⑨を押す。
最後に電話をかけた日時、およびアナログポート番号が表示されます。

12月31日 A1
7:05 N01

発信したポート A1...TEL1ポート
A2...TEL2ポート

- 3 ①を押す。
電話をかけた相手の電話番号が表示されます。
電話番号がすべて表示されないときは、①を押して表示を切り替えます。

123456789012
3456789/ > N01

- 4 前の履歴を見るときは①を押す。
①または②を押して他の履歴を見ることがあります。
① : 前の履歴を表示する
② : 後の履歴を表示する
電話番号を表示させるときは、①を押します。

12月31日 A2
6:40 N02

- 5 終了するときは、ハンドセットを置く。



12月31日(水)
12:00

着信履歴を表示する

- 1 ハンドセットを取りあげる。
「ツー」という発信音が聞こえます。



12月31日(水) A1
12:00

2 ④⑤⑥を押す。

最後に電話を受けた日時、およびアナログポート番号が表示されます。

12月31日	A1
11:05	N01

応答したポート A1...TEL1ポート
A2...TEL2ポート
(表示なし)..未応答

3 ①を押す。

電話を受けた相手の電話番号が表示されます。
電話番号がすべて表示されないときは、①を押して表示を切り替えます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1
3	4	5	6	7	8	9	/	>	N	01

4 前の履歴を見るときは①を押す。

①または②を押して他の履歴を見ることがあります。

①: 前の履歴を表示する

②: 後の履歴を表示する

電話番号を表示させるときは、①を押します。

12月31日	
6:40	N02

5 終了するときは、ハンドセットを置く。


 ワンポイント

電話番号が通知されない着信があったときは

相手の方が電話番号を通知しないようにしているときや、公衆電話からかけているとき、番号を通知できない地域などからかけているときは、非通知理由が表示されます。(☞P165)

発信履歴 / 着信履歴を削除するには

発信履歴または着信履歴が表示されているときに、次のいずれかのボタンを押します。

④⑤: すべての履歴を削除する

④①: 表示している履歴を1件削除する

 お知らせ

INSメイトFT80btの電源を切ると、発信履歴 / 着信履歴はすべて消去されます。

着信履歴に電話番号が記憶されるのは、発信者番号通知機能のあるINSネット64、携帯電話機、PHS対応電話機からの着信です。一般的な電話回線からの電話番号を記憶するためには、INSナンバー・ディスプレイを契約する必要があります。

通話 / 通信料金を確認するには

直前に行った通話 / 通信の料金や、累積の通話 / 通信料金をポートごとに確認することができます。

直前の通話料金を表示する

- 1 ハンドセットを取りあげる。
「ツー」という発信音が聞こえます。



12月31日(水) A1
12:00

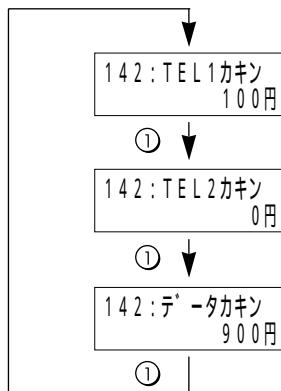
- 2 ④④④を押す。
「ブツ」という設定開始音が聞こえます。

セッティモード
ホートバソコウ?

- 3 ①①④②を押す。
TEL1ポートの直前の料金が表示されます。

142:TEL1カキン
100円

- 4 ①を押して、表示するポートを切り替える。
①を押すごとに、TEL1ポート TEL2ポート
データポート TEL1ポート...の順に表示を切り替えられます。



- 5 終了するときは、ハンドセットを置く。



12月31日(水)
12:00

累積の通話料金を表示する

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。



12月31日(水) A1
12:00

2 ④を押す。

「ブッ」という設定開始音が聞こえます。

セッティモード
ホートバソコウ?

3 ①④を押す。

TEL1ポートの累積料金が表示されます。

143:TEL1ルイセキ
100円

4 ①を押して、表示するポートを切り替える。

①を押すごとに、TEL1ポート TEL2ポート
データポート TEL1ポート...の順に表示を
切り替えられます。



5 終了するときは、ハンドセットを置く。



12月31日(水)
12:00

お知らせ

料金は目安ですので、請求書の額と一致しないことがあります。また1円未満は切り捨てられます。
表示される料金は、最大9999999999円までです。

内線転送しても、最初に発信したアナログポートに料金が加算されます。

INSメイトFT80btに電池が入っていない状態で電源アダプタを抜くと、直前の料金情報と累積料金情報は消去されます。

内線でお話しするには（内線通話）

2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合は、内線でお話しすることができます。INSメイトFT80btをINSネット64回線に接続していないても内線通話は利用できます。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。

INSネット64回線に接続していない場合は、話中音が聞こえます。



12月31日(水) A1
12:00

2 フッキングする。

「ブッブッブッ...」という音が聞こえます。

約20秒以内に手順3の操作を行ってください。

約20秒過ぎると、話中音が聞こえます。

12月31日(水) A1
12:00

3 ④⑤⑥、呼び出す電話機の内線番号（①または②）を押す。

「フルフル、フルフル...」という呼出音が聞こえます。

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⑩⑪⑫

アナログ チャクシン
ナイセン1 2

内線番号

TEL1ポート：①

TEL2ポート：②

TEL1ポートからTEL2ポートを呼び出したとき

4 呼び出された方が出たら、お話しする。



12月31日(水) A12
12:00

5 お話ししが終わったら、ハンドセットを置く。



12月31日(水)
12:00

ワンポイント

フッキングとは

電話機のフックスイッチを押すことです。フックスイッチを押し続けると、電話が切れることができます。コードレスホンや多機能電話機などを使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。



フッキングの長さを設定するには（フッキング検出タイマ）

フッキングの長さを「短い」「普通」「長い」のいずれかに設定することができます。

お買い求め時は「普通」に設定されています。

TELで設定（機能番号：123）（☞P204）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

内線の呼出音を変えるには（内線呼出信号設定）

お買い求め時は「ブルブル、ブルブル…」（呼出信号2）に設定されています。「ブルルル、ブルルル…」（呼出信号1）に変更することができます。

TELで設定（機能番号：015）（☞P210）

PCで設定（TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面「その他」）（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

内線でお話し中に電話がかかってきたときは

INSキャッチホンまたは疑似キャッチホンをご利用になると、かかってきた電話に出ることができます。（☞P135）

内線機能を停止するには

内線機能を「使用しない」に設定すると、内線への発信を停止することができます。

TELで設定（機能番号：114）（☞P204）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

お知らせ

手順3で④⑤⑥（または⑦）以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。

ナンバー・ディスプレイ対応の電話機をお使いの場合は、呼出音が鳴るまでにしばらく時間がかかることがあります。

接続機器設定を「接続しない」に設定したアナログポートでは、内線機能をご利用になれません。

外からの電話を取りつぐには (内線転送)

2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合は、外の方とお話し中に、もう一方の電話機に転送することができます。

1 お話し中に、外の相手の方に待っていただくように伝え、フッキングする。

「ップップッ…」という音が聞こえます。
この段階では外の相手の方には何も聞こえません。
約20秒以内に手順2の操作を行ってください。
約20秒過ぎると、外の相手の方との通話に戻ります。



12月31日(水) A1
12:00 B1

2 (*) (*)、呼び出す電話機の内線番号（①または②）を押す。

「ブルブル、ブルブル…」という呼出音が聞こえます。
外の相手の方には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が聞こえます。

A 3x3 grid of nine circular buttons. The top row contains buttons labeled '1', '2', and '3'. The middle row contains buttons labeled '4', '5', and '6'. The bottom row contains buttons labeled '7', '8', and '9'. Below this grid is a row of three buttons: a star symbol (*) on the left, a zero (0) in the middle, and a hash symbol (#) on the right.

アナログ チャクシン
ナイセン 1 2

TEL1ポートからTEL2ポートを呼び出したとき

3 呼び出された方が応答したら、転送することを伝える。



12月31日(水) A12
12:00 B1

4 ハンドセットを置く。



12月31日(水) A 2
12:00 B1

1 すぐに使えます

2 な電話のいろいろ

3 いろいろなアクスのかいちら

4 発信者番号の表示

5 電話呼び分けアクス

6 転送/メッセージ

7 設定電話機からの

ワンポイント

フッキングとは(☞P129)

内線の呼出音を変えるには(内線呼出信号設定)(☞P129)

内線機能を停止するには

内線機能を「使用しない」に設定すると、内線への転送を停止することができます。

TELで設定 (機能番号:114)(☞P204)

PCで設定 (TEL1・2ポート共通設定画面「その他」)(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

転送を取りやめるには

手順1でフッキングしてからハンドセットを置きます。着信音が鳴ってからハンドセットを取りあげると、保留にしていた方ともう一度お話しできます。

相手が応答しなかったときは

フッキングすると、外の相手の方とのお話しに戻ることができます。

相手が応答する前に転送するには

手順2の呼出中にハンドセットを置くと相手が応答する前に転送することができます。



お知らせ

手順2で①(または②)以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。

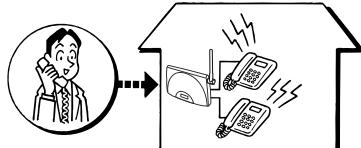
内線でお話ししないでハンドセットを置いた場合は、呼び出された方が応答しないと約30秒後に電話が切れます。

着信音が鳴る電話機を指定するには (優先着信ポート指定)

設定

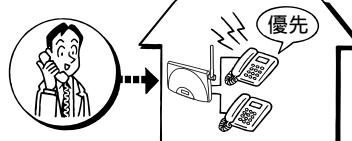
2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合、お買い求め時の設定では電話がかかってくると、両方の電話機を呼び出します。優先着信ポートを指定すると、一方のアナログポートを優先的に呼び出すことができます。

お買い求め時の設定では



両方のアナログポートの電話機を呼び出す

優先着信ポートを指定すると



指定したアナログポートの電話機を呼び出す

必要な設定

優先的に着信させるアナログポートを指定します。

機能	TELで設定 (☞P204)	PCで設定 (☞CD-ROM)	設定内容
優先着信ポート指定	機能番号:112	TEL1・2ポート共通設定画面「その他」	<p>「TEL1ポート」または「TEL2ポート」を選択する 「TEL1ポート」: TEL1ポートを優先的に呼び出す 「TEL2ポート」: TEL2ポートを優先的に呼び出す 「指定しない」: TEL1ポートとTEL2ポートを呼び出す</p>



ワンポイント

INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン(☞P135)を利用しているときは

キャッチホンを設定したアナログポートの電話機でお話し中に電話がかかってくると、キャッチホンでお知らせすると同時に、もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴ります。もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴らないようにするには、キャッチホンを設定しているアナログポートを優先着信ポートに指定します。

電話やファクスを受けないようにするには (着信拒否)

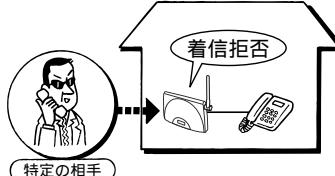
設定

INSメイトFT80btでは、アナログポートごとにすべての着信を拒否して発信専用として利用することができます。また、特定の方からの着信を受けないように設定することもできます。

すべての着信を拒否する



特定の着信のみ拒否する



すべての着信を拒否する

着信拒否を「全て着信拒否する」に設定すると、発信専用でご利用になれます。

必要な設定

アナログポートごとに着信拒否の設定が必要です。

機能	TELで設定 (☞P210)	PCで設定 (☞CD-ROM)	設定内容
着信拒否	機能番号: 016	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「着信拒否」	「全て着信拒否する」を選択する

特定の方からの着信を拒否する

着信拒否電話番号を登録すると、その電話番号からの着信を拒否することができます。

必要な契約

一般的の電話回線からの着信を拒否するには、INSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。

必要な設定

アナログポートごとに、着信拒否の設定、着信を拒否する電話番号の登録が必要です。

アナログポートごとに最大10件の電話番号を登録できます。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
着信拒否	機能番号: 016 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「着信拒否」(☞CD-ROM)	「指定番号のみ拒否する」を選択する
着信拒否電話番号	機能番号: 060 ~ 069 (☞P214)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「着信拒否」(☞CD-ROM)	着信を拒否したい電話番号を入力する

1 すぐに使えます

2 な電話のかいろいろ

3 いろいろな使いかいろ

4 発信者番号の表示

5 電話呼び分け

6 録音送/メッセージ

7 設定電話機からの

(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)



お知らせ

「指定番号のみ拒否する」を選択して電話番号を入力しない場合は、着信を拒否しません。
相手の方が発信者番号を通知しないでかけてきたときは、着信拒否電話番号を設定していても着信を拒否することはできません。

着信拒否を設定していても、「110」、「118」、「119」からの着信は受け付けます。

着信拒否を設定していても、内線からの呼び出しを受けることはできます。また、TEL2ポートの着信拒否を設定していても、FAX自動転送 (☞P158) は着信します。

お話し中にかかってきた電話を受けるには (INSキャッチホン / 疑似キャッチホン)

外の方とお話し中に電話がかかってきたとき、お話し中の方を保留にして、あとからかかってきた電話に出ることができます。

INSキャッチホンと疑似キャッチホンの2つの方法があります。

INSキャッチホン

設定



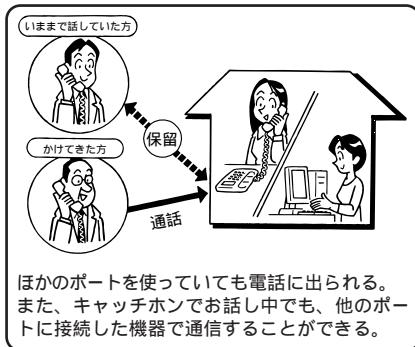
お話し中で、かつほかのポートを使用中でも、かかってきた電話に出ることができます。

必要な契約

INSキャッチホンの契約(有料)が必要です。

必要な設定

INSキャッチホンをご利用になるアナログポートごとにキャッチホンの設定が必要です。



INSキャッチホンを設定する

TELで設定 (☞P208)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる ④④④ 設定するTELポートの番号(①または②) ①①② ④ ② ④ ハンドセットを置く

PCで設定 (☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

1 設定ユーティリティを起動する。(☞P64、66)

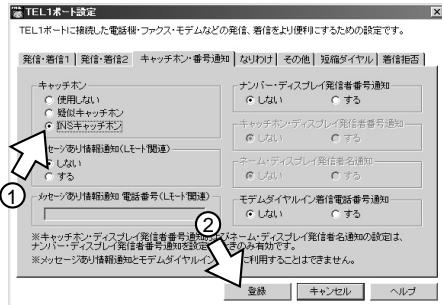
2 [TEL1ポート設定] または [TEL2ポート設定] をクリックする。

3 [キャッチホン・番号通知] をクリックする。

お話し中にかかってきた電話を受けるには (INSキャッチホン / 疑似キャッチホン)

(前ページの続きです)

4 [INSキャッチホン] をクリックし、[登録] をクリックする。



5 [終了] をクリックする。

6 [OK] をクリックする。

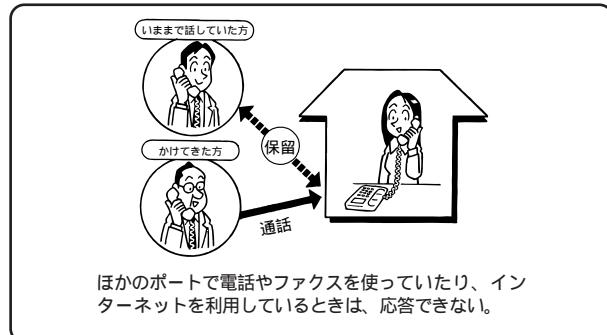
疑似キャッチホン



お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。

必要な設定

疑似キャッチホンをご利用になるアナログポートごとにキャッチホンの設定が必要です。



疑似キャッチホンを設定する

TELで設定 (☞P208)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる    設定するTELポートの番号 (①または②)   ①  ハンドセットを置く

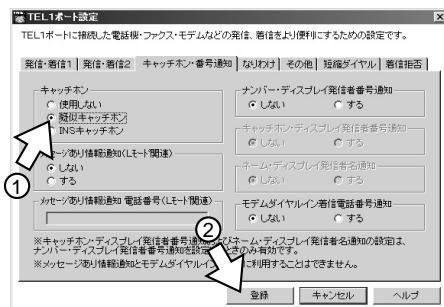
PCで設定 (☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

1 設定ユーティリティを起動する。(☞P64、66)

2 [TEL1ポート設定] または [TEL2ポート設定] をクリックする。

3 [キャッチホン・番号通知] をクリックする。

4 [疑似キャッチホン] をクリックし、[登録] をクリックする。



(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

5 [終了] をクリックする。

6 [OK] をクリックする。

お話し中にかかってきた電話に出る

INSキャッチホン、疑似キャッチホンに共通の操作です。

1 外の相手の方とお話し中に「ブッブツ、
ブッブツ...」という着信音が聞こえる。



2 相手の方に待っていただくように伝え、フッキングする。

あとからかけてきた方に切り替わります。



3 あとからかけてきた方とお話しする。

疑似キャッチホンの場合、最初に話していた方には、「ピーピー、ピーピー...」という保留音が流れます。

INSキャッチホンの場合、最初に話していた方には保留メロディが流れます。



4 最初に話していた方とお話しするには、もう一度フッキングする。

ワンポイント

フッキングとは（☞P129）

両方のアナログポートに電話機を接続しているときは

キャッチホンを設定したアナログポートの電話機でお話し中に電話がかかってくると、キャッチホンでお知らせすると同時に、もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴ります。もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴らないようにするには、キャッチホンを設定しているアナログポートを優先着信ポートに指定します。（☞P132）

INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン中にハンドセットを置くと

着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた方とお話しができます。

特定の相手からの着信のみキャッチホンを可能にするには（通信中着信識別通知）

通信中着信識別通知を利用すると、登録されている相手の方からの着信のみ、通話中に電話がかかってきたことを知らせるようにすることができます。（☞P143）

お知らせ

次の場合は、INSキャッチホン、疑似キャッチホンをご利用になれません。

- 接続機器の設定が「ファクス」になっているとき（☞P187）
- 相手側の接続機器の設定が「ファクス」になっているとき

FAX自動転送を「する」に設定しているときは、TEL2ポートではINSキャッチホン、疑似キャッチホンをご利用になれません。（☞P158）

他のアナログポートでフレックスホン（☞P19）のいずれかを利用しているときは、INSキャッチホンをご利用になれません。

フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。三者通話と通信中転送の設定のいずれかが「使用する」のときは、手順4でフッキングすると「ブッブツ…」という音が聞こえたあと、最初に話していた方とお話しができます。

通信中着信通知サービスをご契約していて、両方のアナログポートにINSキャッチホンを設定している場合、両方のアナログポートに接続した電話機でお話し中に電話がかかってきたときは、TEL1ポートに接続した電話機から「ブッブツ、ブッブツ…」という着信音が聞こえます。

疑似キャッチホンのご利用には、INSネット64の付加サービス契約は必要ありません。

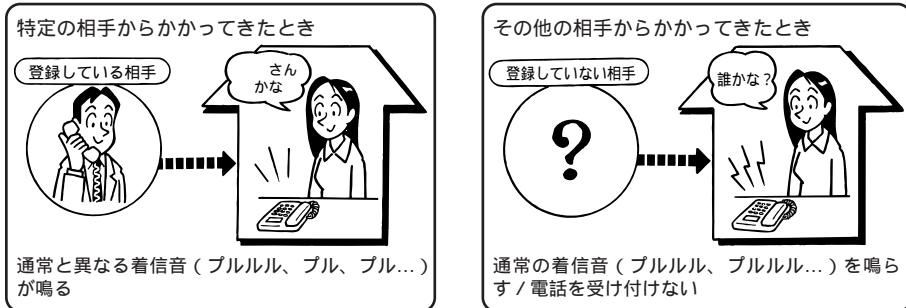
疑似キャッチホンはBチャネル2本を使用するため、以下の制限があります。

- 2つのアナログポートで同時に利用できません。
- Bチャネル2本を同時に使用しているときは利用できません。
- お話し中は、INSメイトFT80btに接続した他の機器では通信できません。
- 新たに着信があった場合、フッキングしても応答できません。

特定の相手からかかってきた電話を識別するには (INSなりわけサービス / 疑似なりわけ)

あらかじめ登録した電話番号からの電話は、電話機の着信音を変えてお知らせします。登録していない電話番号からの電話は、通常の着信音を鳴らすか、受け付けないようにするかを選択できます。

なりわけには、INSなりわけサービスと疑似なりわけの2つの方法があります。



INSなりわけサービス



相手の方が通知してきた発信者番号を、当社の交換機に登録された電話番号リストと照合し、識別対象の電話番号かどうかを判断します。すべての着信が識別されます。

必要な契約

INSなりわけサービスの契約（有料）が必要です。識別する電話番号は、アナログポートに接続した電話機から登録・登録解除ができます。契約者回線番号および追加番号ごとに、最大10件の電話番号を登録できます。

必要な設定

INSなりわけサービスを利用するアナログポートごとに、INSなりわけの設定、なりわけ動作の選択が必要です。

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSなりわけサービスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
INSなりわけ	機能番号:005 (☞P208)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「なりわけ」(☞CD-ROM)	「する」を選択する
なりわけ動作設定	機能番号:007 (☞P208)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「なりわけ」 (☞CD-ROM)	次のどちらかを選択する 「識別リング」 ：登録していない相手からの電話は、通常の着信音で知らせる（お買い求め時の設定） 「セキュリティ（着信拒否）」 ：登録していない相手からの電話は、受け付けない
発信者番号 (i・ナンバー、 ダイヤルイン、 代表取扱サービスを契約 されている場合 のみ)	機能番号:020 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」 (☞CD-ROM)	INSなりわけサービスを契約している電話番号（最大32桁）を入力する

ワンポイント

INSなりわけサービスと疑似なりわけの両方の機能を利用するには

INSなりわけサービスを契約し、INSなりわけと疑似なりわけをどちらも「する」に設定します。INSなりわけサービスは1つの番号（契約者回線番号／追加番号）につき最大10件、疑似なりわけは1つのアナログポートにつき最大10件の番号を登録できるので、両方利用すると、最大20件なりわけられます。

お知らせ

INSなりわけサービスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

アナログ通信機器によっては、電話機の着信音を変えてお知らせすることができない場合があります。

お願い

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSなりわけサービスを契約した電話番号を必ず発信者番号に設定してください。

疑似なりわけ



相手の方が通知してきた発信者番号を疑似なりわけ番号と照合し、識別対象の電話番号かどうかを判断します。

必要な契約

一般的の電話回線からの電話を識別するには、INSナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。

必要な設定

疑似なりわけを利用するアナログポートごとに、疑似なりわけの設定、なりわけ動作の選択、疑似なりわけ番号の登録が必要です。

アナログポートごとに、最大10件の電話番号を登録できます。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
疑似なりわけ	機能番号:006 (☞P208)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」(☞CD-ROM)	「する」を選択する
なりわけ動作設定	機能番号:007 (☞P208)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面 「なりわけ」(☞CD-ROM)	次のどちらかを選択する 「識別リング」 ：登録していない相手からの電話は、通常の着信音で知らせる（お買い求め時の設定） 「セキュリティ（着信拒否）」 ：登録していない相手からの電話は、受け付けない

（次ページへ続きます）

特定の相手からかかってきた電話を識別するには
(INSなりわけサービス / 疑似なりわけ)

(前ページの続きです)

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
疑似なりわけ番号	機能番号: 050 ~ 059 (☞P214)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「なりわけ」(☞CD-ROM)	識別する電話番号(最大32桁)を市外局番から入力する サブアドレス(最大19桁)も登録できる



ワンポイント

相手の方が発信者番号を通知しないでかけてきたときは

疑似なりわけを設定していても、電話番号の識別はできません。なりわけ動作設定によって、次のようにになります。

識別リング	セキュリティ(着信拒否)
通常の着信音が鳴る(ブルルル、ブルルル...)	電話を受け付けない

INSなりわけサービスと疑似なりわけの両方の機能を利用するには

INSなりわけサービスを契約し、INSなりわけと疑似なりわけをどちらも「する」に設定します。INSなりわけサービスは、1つの番号(契約者回線番号/追加番号)につき最大10件、疑似なりわけは、1つのポートにつき最大10件の番号を登録できるので、両方利用すると、最大20件なりわけられます。



お知らせ

「110」、「118」、「119」を疑似なりわけ番号として登録しても、設定は無効になります。着信音を変えたり、着信を拒否することはできません。

アナログ通信機器によっては、電話機の着信音を変えてお知らせすることができない場合があります。

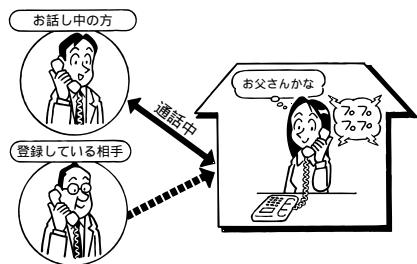
疑似なりわけ番号にサブアドレスを登録したときは、疑似なりわけ番号と、INSネット64から送られてくる発信者番号/サブアドレスが一致すると識別されます。



なりわけ（INSなりわけサービスまたは疑似なりわけ）と、キャッチホン（INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン）の機能を組み合わせて利用することができます。

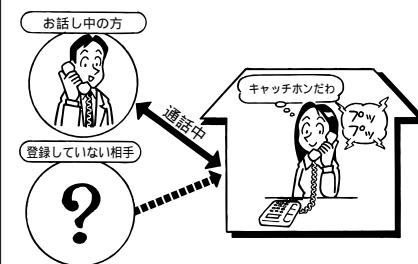
外線または内線でお話し中に、あらかじめ登録した電話番号から電話がかかってきたとき、通常とは異なるキャッチホン着信音（ブブ、ブブ…）でお知らせします。

お話し中に、特定の相手からかかってきたとき



通常と異なるキャッチホン着信音（ブブ、ブブ…）で知らせてくれる

お話し中に、その他の相手からかかってきたとき



通常のキャッチホン着信音（ブップ、ブップ…）で知らせてくれる

必要な契約

INSなりわけサービスとINSキャッチホンを組み合わせる場合は、両方の契約（有料）が必要です。

INSなりわけサービスと疑似キャッチホンを組み合わせる場合は、INSなりわけサービスの契約（有料）が必要です。

疑似なりわけとINSキャッチホンを組み合わせる場合は、INSキャッチホンの契約（有料）が必要です。

必要な設定

「なりわけ」と「キャッチホン」の設定を行います。なりわけ動作の設定は「識別リングング」を選択してください。

INSキャッチホン／疑似キャッチホン（☞P135、136）

INSなりわけサービス／疑似なりわけ（☞P140、141）

TELで設定（☞P208、214）

PCで設定（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

1 すぐに使えます

2 電話のかいいろいいろ

3 いろいろな使いかいたる

4 発信者番号の表示

5 電話やファックスの呼び分け

6 録音/メッセージ

7 設定電話機からの

ワンポイント

お話し中に、登録していない相手から電話がかかってきたときは
なりわけ動作設定によって、次のようになります。

識別リングング	セキュリティ（着信拒否）
通常のキャッチホンでお知らせする（ブップ、ブップ…）	電話を受け付けない

3人でお話しするには
(フレックスホン三者通話 / 疑似三者通話)

外の相手の方とお話し中に、お話しを保留にして、別の相手の方に電話をかけ、3人でお話しすることができます。

フレックスホンの三者通話、疑似三者通話の2つの方法があります。

フレックスホン三者通話（切替モード / ミキシングモード）

設定



お話しを保留にして、別の相手の方に電話をかけ、3人でお話しできます。Bチャネル2本を使用中でも、三者通話ができます。

最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しする「切替モード」、同時に3人でお話しする「ミキシングモード」があります。



必要な契約

フレックスホンの三者通話機能の契約（有料）が必要です。

必要な設定

三者通話の設定が必要です。

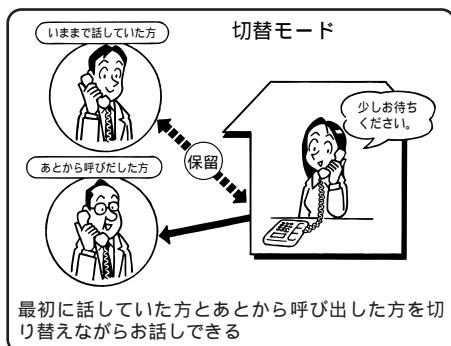
機能	TELで設定 (☞P202)	PCで設定 (☞CD-ROM)	設定内容
三者通話	機能番号: 100	TEL 1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」	「三者通話する」を選択する

疑似三者通話（切替モード / ミキシングモード）

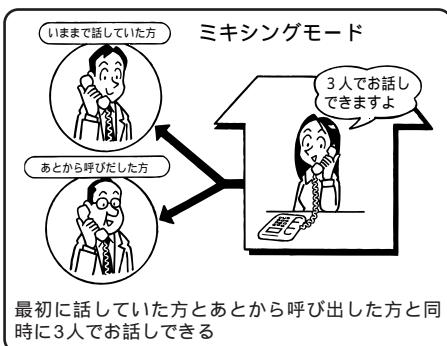


お話しを保留にして、別の相手の方に電話をかけ、3人でお話しできます。Bチャネルが1本空いているときに三者通話ができます。

最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しする「切替モード」、同時に3人でお話しする「ミキシングモード」があります。



最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しできる



最初に話していた方とあとから呼び出した方と一緒に3人でお話しできる

必要な設定

疑似三者通話の設定が必要です。

機能	TELで設定 (☞P202)	PCで設定 (☞CD-ROM)	設定内容
三者通話	機能番号: 100	TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」	「疑似三者通話する」を選択する

3人でお話しするには (フレックスホン三者通話 / 疑似三者通話)

(前ページの続きです)

相手を切り替えてお話しする(切替モード)

フレックスホン三者通話、疑似三者通話に共通の操作です。

1 お話し中に、外の相手の方に待ってい ただくように伝え、フッキングする。

「ブッブッブッ...」という発信音が聞こえます。
約20秒以内に手順2の操作を行ってください。
約20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお
話しに戻ります。



2 別の相手の方の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信しま
す。(ダイヤル桁間タイマ)
電話番号のあとに#ボタンを押すと、すぐに発
信します。(ダイヤル終了識別)

- ① ② ③
- ④ ⑤ ⑥
- ⑦ ⑧ ⑨
- # * ① #

3 相手の方が出たら、お話しする。



4 お話しする相手を切り替えるには、フッキングする。

「ブッブッブッ...」という発信音が聞こえたあと、約4秒後に別の相手の方に切り替わります。(話
者切替タイマ)

5 お話しが終わったら、ハンドセットを 置く。



3人で同時にお話しする(ミキシングモード)

フレックスホン三者通話、疑似三者通話に共通の操作です。

1 お話し中に、外の相手の方に待ってい ただくように伝え、フッキングする。

「ブッブッブッ...」という発信音が聞こえます。
約20秒以内に手順2の操作を行ってください。
約20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお
話しに戻ります。



2 別の相手の方の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信しま
す。(ダイヤル桁間タイマ)
電話番号のあとに④ボタンを押すと、すぐに
発信します。(ダイヤル終了識別)

- ① ② ③
- ④ ⑤ ⑥
- ⑦ ⑧ ⑨
- ＊ ⑩ #

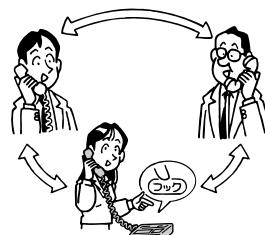
3 相手の方が出たら、三者通話にすることを伝え、フッキングする。

「ブッブッブッ...」という発信音が聞こえます。
約4秒以内に手順4の操作を行ってください。約
4秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話
しに戻ります。(話者切替タイマ)



4 1回フッキングする。

最初に話していた方とつながり、3人でお話し
できます。
お話し中に一方が電話を切っても、もう一方と
の通話は継続できます。



5 お話ししが終わったら、ハンドセットを 置く。



(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)



ワンポイント

発信するまでの時間を変更するには(ダイヤル桁間タイマ)

お買い求め時は4秒に設定されています。

TELで設定 (機能番号: 124) (☞P204)

PCで設定 (TEL1・2ポート共通設定画面「その他」)(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

②ボタンをダイヤルとして使用するには(ダイヤル終了識別)

お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを②ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「# #で識別する」に設定を変更してください。

TELで設定 (機能番号: 125) (☞P206)

PCで設定 (TEL1・2ポート共通設定画面「その他」)(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

フッキングとは(☞P129)

相手の方を切り替えるまでの時間を変更するには(話者切替タイマ)

お買い求め時は4秒に設定されています。

TELで設定 (機能番号: 122) (☞P204)

PCで設定 (TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」)(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

三者通話のモードを変えるには

次の操作でモードを変えることができます。

・切替モードからミキシングモードへ

1対1でお話し中にフッキングして、「ブッブッブッ...」という音が聞こえたら、もう一度フッキングします。

・ミキシングモードから切替モードへ

3人でお話し中にフッキングします。「ブッブッブッ...」という音が聞こえたあと、前の相手の方に切り替わります。

三者通話(切替モード)中にハンドセットを置くと

着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた方とお話しできます。



お知らせ

三者通話の料金は、それぞれの発信を行った方に通話料金がかかります。

他のアナログポートでフレックスホンのいずれかを利用しているときは、フレックスホン(☞P19)の三者通話をご利用になれません。

フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

三者通話(ミキシングモード)中にハンドセットを置くと、両方の相手との電話が切れます。

電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間にダイヤル桁間タイマで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。

ミキシングモードから切替モードにするためにフッキングすると、「ブッブッブッ...」という音が聞こえます。このとき、ハンドセットを置くと着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげるとミキシングモードに戻りますが、フレックスホンの三者通話をご利用の場合に、通信中転送(☞P149)の設定が「使用する」になっているときは、電話が転送されます。

疑似三者通話(ミキシングモード)利用中に相手の方の1人が電話を切ったとき、一瞬話中音が聞こえることがあります。

お話し中の電話を別の電話番号へ転送するには（通信中転送）

設定
設定

外の相手の方からかかってきた電話を保留にして、別の電話番号へ転送することができます。

あとから呼び出した方が応答する前に転送する方法、応答してから転送する方法があります。



1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファクスのいろいろな使いかた

4 発信者番号の表示

5 電話やファクスの呼び分け

6 録音送/メッセージ

7 設定電話機からの

必要な契約

フレックスホンの通信中転送（有料）の契約が必要です。

必要な設定

通信中転送の設定が必要です。

機能	TELで設定 (P202)	PCで設定 (CD-ROM)	設定内容
通信中転送	機能番号: 101	TEL1・2ポート共通設定画面「第三者通話・通信中転送」	「使用する」を選択する

お話し中に転送する

1 お話し中に、外の相手の方に待っていただくように伝え、フッキングする。

「ブッップッ…」という発信音が聞こえます。
約20秒以内に手順2の操作を行ってください。
約20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。



2 別の相手の方の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号のあとに#ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）
呼び出した方とお話ししないで転送する場合は、「ブルルル、ブルルル…」という呼出音が聞こえている間に、ハンドセットを置きます。

- ① ② ③
- ④ ⑤ ⑥
- ⑦ ⑧ ⑨
- ⑩ ⑪ #

(次ページへ続きます)



(前ページの続きです)

3 相手の方が出たら、転送することを伝え、フッキングする。

「ブッブッブッ…」という発信音が聞こえます。
約4秒以内に手順4の操作を行ってください。約4秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。（話者切替タイマ）



4 ハンドセットを置く。

転送が完了しました。



ワンポイント

発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイマ）

お買い求め時は4秒に設定されています。

[TELで設定]（機能番号：124）（☞P204）

[PCで設定]（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

⑩ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）

お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを⑩ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「# #で識別する」に設定を変更してください。

[TELで設定]（機能番号：125）（☞P206）

[PCで設定]（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

フッキングとは（☞P129）

相手の方を切り替えるまでの時間を変更するには（話者切替タイマ）

お買い求め時は4秒に設定されています。

[TELで設定]（機能番号：122）（☞P204）

[PCで設定]（TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」）（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

通信中転送を中止するには

ハンドセットを置きます。着信音が鳴るので、もう一度ハンドセットを取りあげると、最初に話していた方とお話しできます。

お知らせ

他のアナログポートでフレックスホンのいずれかを利用しているときは、フレックスホン（☞P19）の通信中転送をご利用になれません。

フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
こちらからかけた電話を転送することはできません。

電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイマで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。

よくかける電話番号を短縮ダイヤルに登録すると、アナログポートに接続した電話機で簡単に電話をかけることができます。短縮ダイヤルは、アナログポートごとに10件まで登録できます。

必要な設定

アナログポートごとに短縮ダイヤルの登録が必要です。

機能	TELで設定 (P214)	PCで設定 (CD-ROM)	設定内容
短縮ダイヤル	機能番号: 040 ~ 049	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「短縮ダイヤル」	登録する電話番号(最大32桁)を入力する サブアドレス(最大19桁)も登録できる

短縮ダイヤルで電話をかける

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。
約20秒以内に手順2の操作を行ってください。
約20秒を過ぎると、話中音が聞こえます。

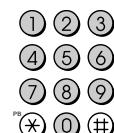


2 ④ボタンを押す。



3 短縮番号(①~⑨)を押す。

登録した電話番号にダイヤルされます。



4 相手の方が出たら、お話しする。

ファクスの場合は、送信操作を行います。



5 お話し終わったら、ハンドセットを置く。



お知らせ

電話番号を登録していない短縮番号や、①~⑨以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。

ハンドセットを取りあげるだけで特定の
相手に電話をかけるには(ホットライン)
設定

アナログポートに接続した電話機のハンドセットを取りあげるだけで、あらかじめ登録した電話番号へ電話をかけることができます。

必要な設定

アナログポートごとにホットラインの設定、ホットライン番号の登録が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
ホットライン	機能番号:027 (☞P212)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信2」 (☞CD-ROM)	「する」を選択する
ホットライン番号	機能番号:028 (☞P214)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信2」 (☞CD-ROM)	登録する電話番号(最大32桁)を入力する サブアドレス(最大19桁)も登録できる

ホットラインで電話をかける

1 ハンドセットを取りあげる。

あらかじめ登録した電話番号に自動的にダイヤルします。



2 相手の方が出たら、お話しする。

ファックスの場合は、送信操作を行います。



3 お話し終わったら、ハンドセットを置く。



1 すぐに使えます

2 な電話のいろいろ

3 ファクスのいろいろ

4 発信者番号の表示

5 電話やファクスの呼び分け

6 転送/メッセージ

7 設定電話機からの



ワンポイント

ホットラインを解除するには

ホットラインを設定していないアナログポートに接続した電話機で解除してください。または、設定ユーティティから解除してください。



お知らせ

Bチャネルを2本とも使用しているときは、ホットラインは使用できません。

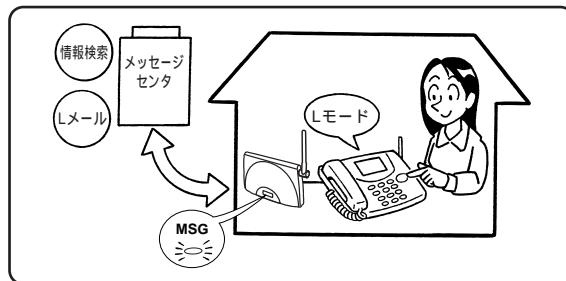
ホットラインを「する」に設定すると、登録した番号以外への外線発信および内線発信はできません。ただし、相手の方が出る前にフッキングを行うと発信音が聞こえ、登録した番号以外での外線発信などが行えるようになります。

128KマルチリンクPPP通信(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)で2本のBチャネルを使用中でも、リソースBOD(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)を設定しているときは、ホットラインで電話をかけることができます。

Lモードを利用するには



INSメイトFT80btは、Lモードに対応した電話機を接続してご利用になれます。Lメールがメッセージセンタに届いたときに、Lモード対応アナログ通信機器のディスプレイに表示させたり、INSメイトFT80btのMSGランプを点灯させたりすることができます。



必要な契約

Lモードの契約（有料）が必要です。

必要な設定

MSGランプ設定（Lモード関連）またはメッセージあり情報通知（Lモード関連）の設定が必要です。

また、Lモードをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

Lモードをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

Lモードに対応したアナログ通信機器が必要です。

・INSメイトFT80btのMSGランプを点灯させる場合

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
MSGランプ設定（Lモード関連）	機能番号:126 (☞P206)	TEL1・2ポート共通設定画面「メッセージ表示（Lモード関連）」 (☞CD-ROM)	「メッセージあり状態表示をする」を選択する
発信者番号	機能番号:020 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」 (☞CD-ROM)	Lモードを契約した電話番号を入力する

- ・アナログポートに接続した電話機等に通知させる場合
通知させるアナログポートごとに、メッセージあり情報通知の設定、接続機器の設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
メッセージあり情報通知 (Lモード関連)	機能番号:009 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☞CD-ROM)	「する」を選択する
発信者番号	機能番号:020 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」(☞CD-ROM)	Lモードを契約した電話番号を入力する
接続機器設定 (☞P187)	機能番号:001 (☞P208)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信2」(☞CD-ROM)	「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」を選択する



お知らせ

メッセージあり情報通知を設定したアナログポートの発信者番号と着信する番号は、同じに設定してください。

S/T端子に他のINSネット64用通信機器が接続されている場合には、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。

Lモードを利用できる電話番号は、各アナログポートに1つのみです。

MSGランプ設定と、メッセージあり情報通知の両方を「する」に設定した場合、INSメイトFT80btのランプ表示とアナログ通信機器の表示が一致しない場合があります。

Lモードで使用するメッセージあり情報通知とモデムダイヤルイン(☞P182)を同時に利用することはできません。

MSGランプは、すべてのメッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。

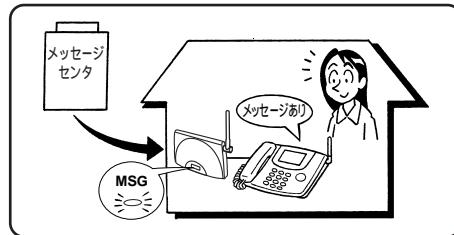
乾電池を抜いた状態でINSメイトFT80btの電源アダプタを抜き差しすると、メッセージセンタにメッセージがあっても、MSGランプは消灯します。

INSメイトFT80btのランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの情報は、一致しない場合があります。

Lモード対応アナログ通信機器の設定、およびメッセージの表示例については、アナログ通信機器の取扱説明書をご覧ください。

Lモードについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

INSメイトFT80btでは、INSネット64のINSメッセージ到着お知らせサービスをご利用になれます。メッセージがメッセージセンタに届いたときに、INSメイトFT80btのMSGランプを点灯させたり、INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器に表示させることができます。



必要な契約

INSメッセージ到着お知らせサービスの契約（有料）が必要です。

必要な設定

MSGランプ設定（Lモード関連）またはメッセージあり情報通知（Lモード関連）の設定が必要です。また、INSメッセージ到着お知らせサービスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

INSメッセージ到着お知らせサービスをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器が必要です。

・INSメイトFT80btのMSGランプを点灯させる場合

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
MSGランプ設定 (Lモード関連)	機能番号:126 (☞P206)	TEL1・2ポート共通設定画面「メッセージ表示（Lモード関連）」 (☞CD-ROM)	「メッセージあり状態表示をする」を選択する
発信者番号	機能番号:020 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」(☞CD-ROM)	INSメッセージ到着お知らせサービスを契約した電話番号を入力する

・アナログポートに接続した電話機等に通知させる場合

通知させるアナログポートごとに、メッセージあり情報通知の設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
メッセージあり情報通知 (Lモード関連)	機能番号:009 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「キヤッヂホン・番号通知」(☞CD-ROM)	「する」を選択する
発信者番号	機能番号:020 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」(☞CD-ROM)	INSメッセージ到着お知らせサービスを契約した電話番号を入力する

1 すぐに使えます

2 な電話のいろいろ使いかた

3 ファクスのいろいろ使いかた

4 発信者番号の表示と通知

5 電話やファクスの呼び分け

6 転送/メッセージ

7 設定電話機からの



お知らせ

メッセージあり情報通知を設定したアナログポートの発信者番号と着信する番号は、同じに設定してください。

S/T端子に他のINSネット64用通信機器が接続されている場合には、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。

INSメッセージ到着お知らせサービスを利用できる電話番号は、各アナログポートに1つのみです。

MSGランプ設定と、メッセージあり情報通知の両方を「する」に設定した場合、INSメイトFT80btのランプ表示とアナログ通信機器の表示が一致しない場合があります。

メッセージあり情報通知とモデムダイヤルイン(☞P182)を同時に利用することはできません。

MSGランプは、すべてのメッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。

乾電池を抜いた状態でINSメイトFT80btの電源アダプタを抜き差しすると、メッセージセンタにメッセージがあつても、MSGランプは消灯します。

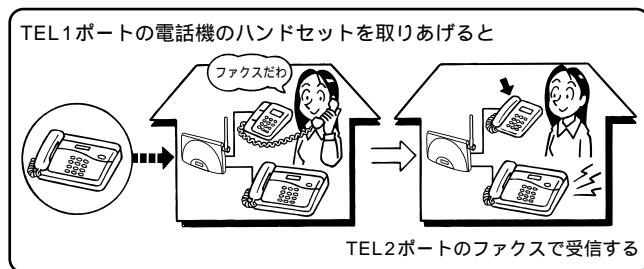
INSメイトFT80btのランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの情報は、一致しない場合があります。

INSメッセージ到着お知らせサービスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

ファクスを自動転送するには (FAX自動転送)

設定

TEL1ポートに電話機、TEL2ポートにファクスを接続している場合は、相手がファクスのとき、電話機のハンドセットを取りあげると、自動的にファクスに転送することができます。



必要な設定

電話機をTEL1ポート、ファクスをTEL2ポートに接続します。
FAX自動転送の設定が必要です。

機能	TELで設定 (☞P204)	PCで設定 (☞CD-ROM)	設定内容
FAX自動転送	機能番号: 115	TEL1・2ポート共通設定 画面「その他」	「する」を選択する

電話機からファクスへ自動転送する

1 電話機の着信音が鳴る。



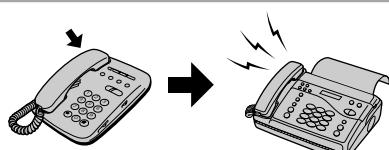
2 ハンドセットを取りあげる。

相手がファクスのときは、「ポーポー...」という音が聞こえ、TEL2ポートのファクスへ自動転送されます。



3 「ブーブー...」という話中音が聞こえたら、ハンドセットを置く。

ファクスの着信音が鳴ったあと、ファクスを受信します。



1 すぐに使えます

2 な電話のいろいろ使いかた

3 いファクスのいろいろ使いかた

4 発信者番号と表示の通知

5 電話呼び分けやファクス

6 転送/メッセージ

7 設定電話機からの

❶ ワンポイント

ファクスの着信音を鳴らさずに受信するには
TEL2ポートのFAX無鳴動着信を「する」に設定すると、着信音を鳴らさずにファクスを受信することができます。(☞P160)

❷ お知らせ

TEL1ポートにファクス、TEL2ポートに電話機を接続した場合、ファクスの自動転送はできません。
TEL2ポートが使用中の場合、またはTEL1ポートでお話し中にキヤッチホンで応答した場合は、自動転送されません。

「ブーブー...」という話中音が聞こえる前にハンドセットを置くと、自動転送されないことがあります。
TEL2ポートに接続したファクスが約30秒間応答しないと、自動転送を中止して、通信を切断します。
このとき、相手の方には通話料金がかかります。

TEL2ポートのファクスに自動転送した場合は、転送先のファクスにはナンバー・ディスプレイの発信者番号およびモデムダイヤルインの着信番号は通知されません。

FAX自動転送を「する」に設定すると、TEL2ポートでは通信中着信通知は行われません。

相手がファクス以外でも、相手先の音声の状態により、まれに自動転送されることがあります。

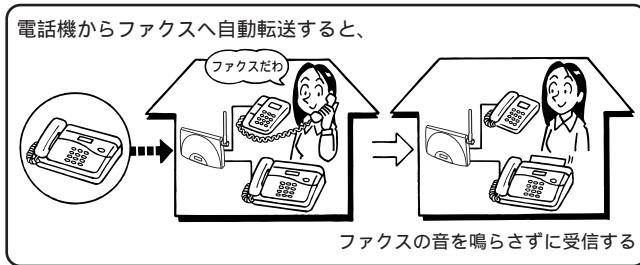
相手からファクス信号が送られていても、まれに自動転送されないことがあります。この場合は、内線転送による手動転送を行ってください。(☞P130)

着信音を鳴らさずにファクスを受信するには (FAX無鳴動着信)

設定

無鳴動信号1300 Hz対応のファクスをお使いの場合は、ファクスの着信音を鳴らさずに自動受信することができます。

この機能をご利用になるには、FAX自動転送または接続機器の設定が必要です。



必要な設定

アナログポートごとにFAX無鳴動着信の設定が必要です。

無鳴動信号1300 Hzを受信できるファクスが必要です。詳しくはファクスの取扱説明書でご確認ください。

FAX無鳴動着信は、次の場合にご利用になります。

- FAX自動転送 (☞P158) を設定し、TEL2ポートのファクスに自動転送したとき
FAX無鳴動着信、FAX自動転送の設定が必要です。
- 接続機器の設定を「ファクス」、「電話機1」または「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」に設定し、接続機器の設定を「ファクス」に設定した通信機器から着信したとき (☞P187)
FAX無鳴動着信、接続機器の設定が必要です。

設定例

TEL1ポートに電話機、TEL2ポートに無鳴動信号1300 Hz対応のファクスを接続し、ファクスの着信音を鳴らさずに自動転送する場合

FAX自動転送の設定を行います。(☞P158)

TEL2ポートにFAX無鳴動着信の設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
FAX無鳴動着信	機能番号：029 (☞P214)	TEL2ポート設定画面 「その他」(☞CD-ROM)	「する」を選択する
FAX自動転送	機能番号：115 (☞P204)	TEL1・2ポート共通設定画面 「その他」(☞CD-ROM)	「する」を選択する



お知らせ

次のような場合は、接続機器の設定によってFAX無鳴動着信を利用することはできません。FAX自動転送によってご利用になることはできます。

- 相手の方が一般的な電話回線からファクスを送信したとき
- 相手の接続機器の設定が「電話機1」、「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」、「電話機2」のとき
- INSメイトFT80btの接続機器の設定が「電話機2」のとき

発信者番号の通知について



発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号（契約者回線番号、追加番号）を通知する機能です。INSネット64のご契約者間、一般的な電話回線のナンバー・ディスプレイご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機との通信でご利用になれます。

通知される電話番号

通常は、契約者回線番号が通知されます。

サブアドレスを設定している場合は、サブアドレスも通知されます。（[P186](#)）

i・ナンバーやダイヤルインをご利用の場合など、発信者番号を設定しているときはその番号が通知されます。（[P210](#)、CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

電話番号の通知のされかた

発信者番号を通知するかどうかは、INSネット64ご契約時の内容、INSメイトFT80btの発信者番号通知の設定、発信時のダイヤル操作の組み合わせで決まります。

INSネット64ご契約時の内容

INSネット64のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

発信者番号通知の設定

ポートごとに「通知する」、「通知しない」、「INSネット64申込内容に従う」を設定することができます。お買い求め時は、各ポートとも「INSネット64申込内容に従う」に設定されています。

発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

契約	INSメイトFT80btの設定	ダイヤル操作		
		相手番号 (通常の操作)	184+相手番号	186+相手番号
通常通知 (通話ごと非通知)	通知する		×	
	通知しない	×	×	
	INSネット64申込内容に従う		×	
通常非通知 (回線ごと非通知)	通知する		×	
	通知しない	×	×	
	INSネット64申込内容に従う	×	×	

：通知する

×：通知しない

1 すぐに使えます

2 な電話のかいだいいろ

3 いふるなク使いのかいだい

4 通発信者番号の

5 の電話呼び分け

6 転音送/メッセージ

7 設定電話機からの

（次ページへ続きます）

発信者番号の通知について

(前ページの続きです)

設定の変更

ポートごとに、発信者番号通知の設定を変更することができます。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
発信者番号通知 (☞P212)	機能番号: 021 (☞P212)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」(☞CD-ROM) データポート設定画面 「発信・着信」(☞CD-ROM)	次のいずれかを選択する 「発信者番号通知する」: 発信者番号を通知する 「発信者番号通知しない」: 発信者番号を通知しない 「INSネット申込内容に従う」: INSネット64の契約時の内容（「通常通知」または「通常非通知」）に従って通知する



お知らせ

発信者番号通知を「発信者番号通知する」または「発信者番号通知しない」に設定し、i・ナンバー(☞P172)を「使用する」に設定した場合は、必ず発信者番号を正しく設定してください。

TELで設定 (機能番号: 020)(☞P210)

PCで設定 (i・ナンバー設定画面、データポート設定画面「発信・着信」)(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

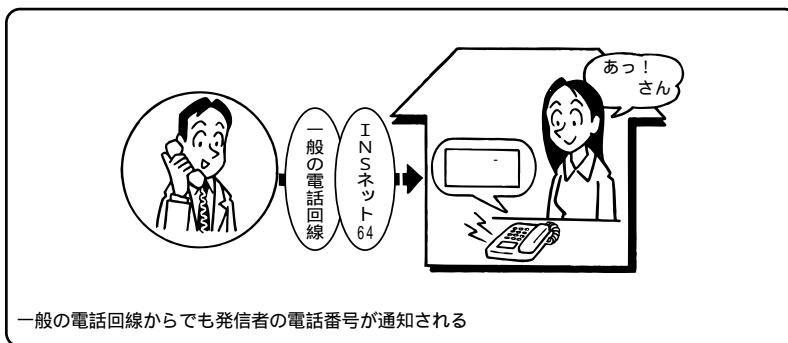
発信者番号の設定をしなかったり、間違えて設定した場合は、契約者回線番号が通知されます。ただし、i・ナンバー(☞P172)を「使用する」に設定した場合は、発信者番号の設定をしないと、発信ポート番号指定で選択したi・ナンバー情報に対応する電話番号が通知されます。

一般回線からの電話番号も表示する
には(INSナンバー・ディスプレイ)

設定



一般的な電話回線から着信があった場合でも、発信者の電話番号をINSメイトFT80btの液晶ディスプレイまたはナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファックスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。



1 すぐに使えます

2 な使いのいろいろ

3 いふるなクス使いのかいだろ

4 通発信者番号の

5 電話呼び分け

6 録音送/メッセージ

7 設定電話機からの

必要な契約

INSナンバー・ディスプレイの契約(有料)が必要です。相手の方の電話番号が表示されない場合の非通知理由を表示するには、非通知理由の契約を「有」にする必要があります。

相手がINSネット64ご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機であれば、このサービスを契約していくなくても、発信者番号通知サービスによって発信者番号が通知されます。

必要な設定

アナログポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機、ファックスを接続します。
アナログポートごとに、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定が必要です。

INSナンバー・ディスプレイを設定する

TELで設定 (☞P210)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる ④④④ 設定するTELポートの番号(①または②) ①①① ④ ① ④ ハンドセットを置く

PCで設定 (☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

1 設定ユーティリティを起動する。(☞P64、66)

2 [TEL1ポート設定]または[TEL2ポート設定]をクリックする。

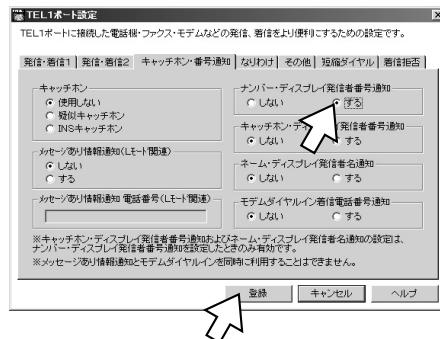
3 [キャッチホン・番号通知]をクリックする。

(次ページへ続きます)



(前ページの続きです)

4 [ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知] の [する] をクリックし、[登録] をクリックする。



5 [終了] をクリックする。

6 [OK] をクリックする。

ワンポイント

サブアドレスも表示させるには

サブアドレス受信機能のあるアナログ通信機器をお使いの場合はナンバー・ディスプレイ発サブアドレス附加設定を「する」に設定すると、相手の方からサブアドレスが通知されたとき、サブアドレスを表示させることができます。

TELで設定 (機能番号: 011) (☞P210)

着信転送の転送元の電話番号を表示するには(転送元電話番号表示)

INSボイスワープ／ボイスワープセレクトのサービスによって、外から電話が転送されてきたときに、転送元の電話番号と転送理由をアナログポートに接続した電話機の液晶ディスプレイに表示することができます。

TELで設定 (機能番号: 014) (☞P210)

お知らせ

INSナンバー・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。

アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

アナログ通信機器にサブアドレス受信機能、または転送元電話番号表示機能がない場合は、ナンバー・ディスプレイ発サブアドレス附加設定、または転送元電話番号表示設定を「しない」に設定してください。

通話中に着信があり、通話を終了したあとにその着信を受けた場合は、アナログポートに接続したアナログ通信機器に発信者番号は通知されません。

相手の方の電話番号が通知されない理由（非通知理由）

電話番号が通知されないときの液晶ディスプレイ表示と非通知理由は次の通りです。

液晶ディスプレイ表示	非通知理由
ヒツウチ	相手の方が電話番号を通知しない操作をしたとき 相手の方が番号を表示しない契約になっているとき
コウシュウ	公衆電話からかかってきたとき
ヒヨウジ ケンガ イ	INSナンバー・ディスプレイを提供していない地域 からかかってきたとき サービスが競合しているために電話番号を通知できないとき

電話番号が通知されないときにメッセージで応答する (INSナンバー・リクエスト)



電話番号を通知しないでかけてきた相手の方に、「こちらは　　です。おそれいりますが、電話番号の前に186を付けてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直しください。」と音声で伝えることができます。この場合、電話機の着信音は鳴りません。

必要な契約

INSナンバー・リクエストの契約（有料）が必要です。ただし、INSナンバー・ディスプレイを契約の方のみお申し込みいただけます。

必要な設定

INSナンバー・リクエストをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

（次ページへ続きます）

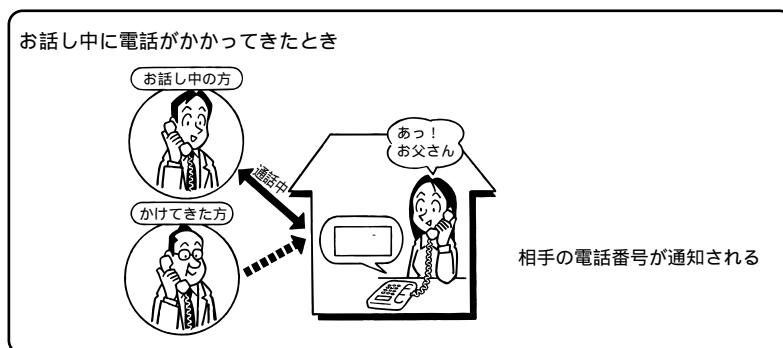


(前ページの続きです)

キャッチホンと組み合わせて利用する
(キャッチホン・ディスプレイ)

INSナンバー・ディスプレイと、キャッチホン(INSキャッチホンまたは疑似キャッチホン)の機能を組み合わせて利用することができます。

外の相手の方とお話し中に、別の方から電話がかかってきたとき、あとからかけてきた方の電話番号または非通知理由を表示させることができます。



必要な契約

INSナンバー・ディスプレイとINSキャッチホンを組み合わせる場合は、両方の契約(有料)が必要です。INSナンバー・ディスプレイと疑似キャッチホンを組み合わせる場合は、INSナンバー・ディスプレイの契約(有料)が必要です。

相手がINSネット64ご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機であれば、INSナンバー・ディスプレイを契約していくなくても、キャッチホン・ディスプレイをご利用になれます。

必要な設定

キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機、ファクスが必要です。

ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定、キャッチホンの設定、キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号:010 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☞CD-ROM)	「する」を選択する
キャッチホン	機能番号:002 (☞P208)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☞CD-ROM)	「INSキャッチホン」または「疑似キャッチホン」を選択する
キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号:025 (☞P212)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☞CD-ROM)	「する」を選択する



ワンポイント

サブアドレスも表示させるには

サブアドレス受信機能のあるアナログ通信機器をお使いの場合は、キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、相手の方からサブアドレスが通知されたとき、サブアドレスを表示させることができます。

TELで設定 (機能番号: 026) (☞P212)



お知らせ

INSナンバー・リクエストについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。

INSナンバー・リクエストは、電話番号が通知されなかつた場合には機能しません。

キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定は、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を設定したときのみ有効です。

アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

アナログ通信機器にサブアドレス受信機能がない場合は、キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「しない」に設定してください。

キャッチホン・ディスプレイによる着信時には、「ブッブ、ブッブ…」という音に加えて、「ピッ」という割込音が聞こえます。この割込音とお話し中の音が重なると、電話番号などの表示ができないことがあります。また、1秒程度、通話が途切れます。

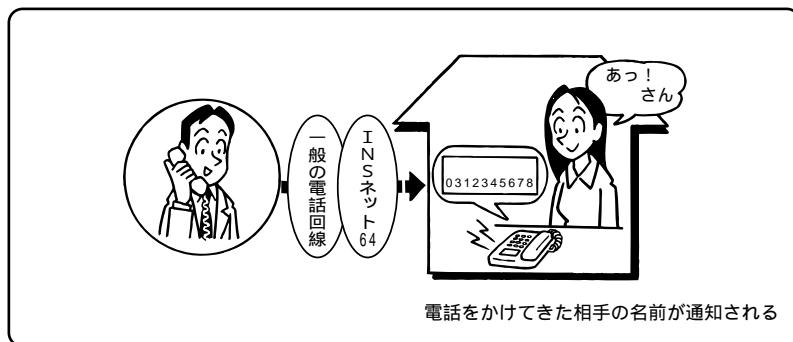


(前ページの続きです)

相手の方の名前を表示する (ネーム・ディスプレイ)



本商品は、電話がかかってきたときに、相手の方の名前をネーム・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。かけてきた方の名前を確認してから、電話に出ることができます。表示される発信者名は、かけてきた相手がNTT東日本またはNTT西日本に申し込みをした名前になります。



必要な契約

ネーム・ディスプレイの契約(有料)が必要です。ただし、INSナンバー・ディスプレイをご契約の方のみお申し込みいただけます。

必要な設定

ネーム・ディスプレイ対応の電話機、ファックスが必要です。

ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定、ネーム・ディスプレイ発信者名通知の設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号:010 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☞CD-ROM)	「する」を選択する
ネーム・ディスプレイ発信者名通知	機能番号:088 (☞P214)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☞CD-ROM)	「する」を選択する

ワンポイント

キャッチホンと組み合わせて利用するには

キャッチホンおよびキャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定(☞P167)を組み合わせて行うと、外の相手の方とお話し中に別の方から電話がかかってきたとき、あとからかけてきた方の名前を表示させることができます。

お知らせ

ネーム・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

アナログ通信機器によっては、発信者名などが正しく表示されないことがあります。

アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

ネーム・ディスプレイ発信者番号通知の設定は、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を設定したときのみ有効です。

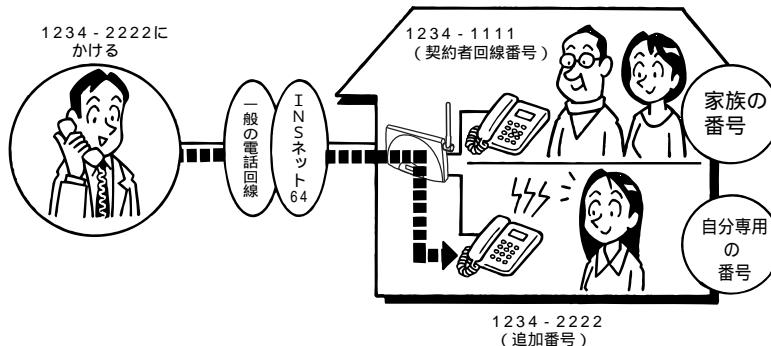
通信中に着信があり、通話を終了したあとにその着信を受けた場合は、アナログポートに接続したアナログ通信機器に発信者名は通知されません。

呼び分けのいろいろな方法

アナログポートに複数の機器を接続しているときは、いろいろな方法で呼び分けることができます。

i・ナンバーで複数の電話番号を使い分ける (☞P172)

1回線で2つまたは3つの電話番号を持つことができます。電話番号ごとにポートを呼び分けることができます。

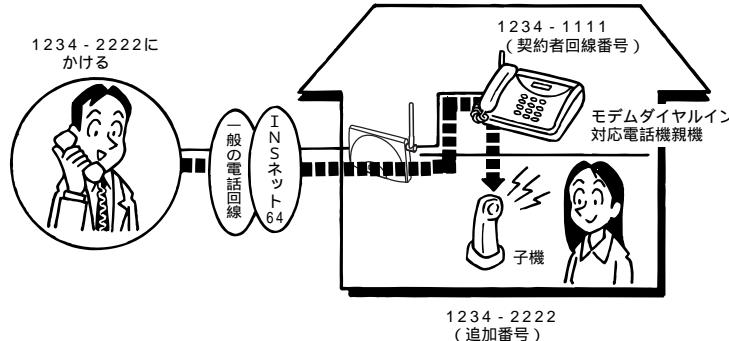


ダイヤルインで複数の電話番号を使い分ける (☞P180)

i・ナンバーと同様に、契約者回線番号のほかに追加番号を持つことができます。3つより多くの電話番号を使い分けたいとき、通信機器ごとに電話番号を使い分けたいときなどは、ダイヤルインを契約します。

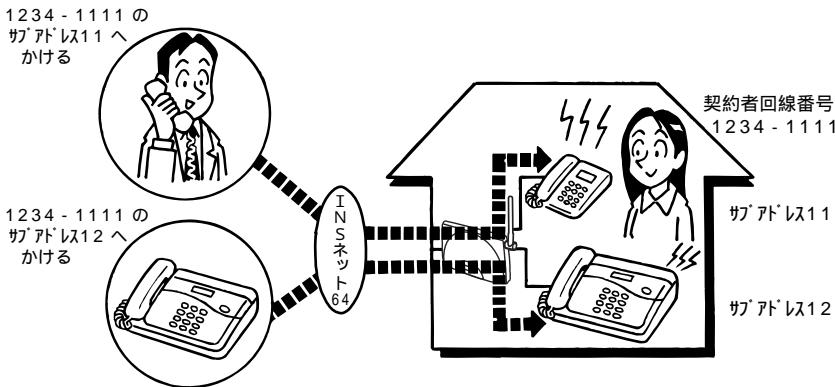
1台のアナログ通信機器で電話番号を使い分ける (☞P182)

i・ナンバーまたはダイヤルインをご利用の場合、アナログポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1台の機器で複数の電話番号を使い分ることができます。



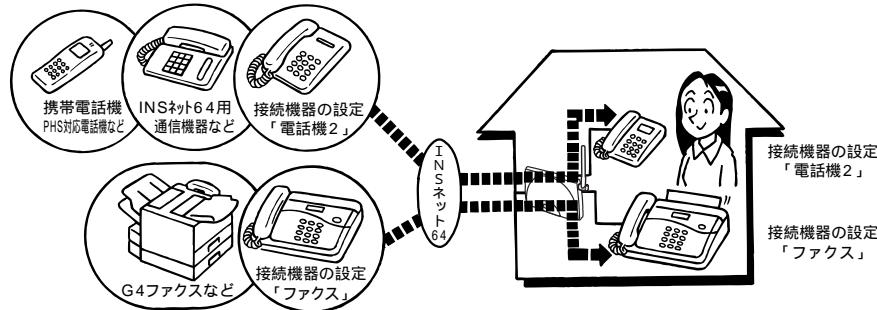
サブアドレスを指定して呼び分ける (☞P186)

電話をかけるときにサブアドレスを続けてダイヤルすることによって、そのアナログポートを呼び出すことができます。一般的な電話回線からの着信では、この機能を利用した呼び分けはできません。



接続機器の設定で呼び分ける (☞P187)

INSネット64からの着信は、相手の接続機器の設定と一致したアナログポートだけに着信するので、1つの電話番号で呼び分けることができます。一般的な電話回線からの着信では、この機能を利用した呼び分けはできません。



i・ナンバーをご契約になると、2つまたは3つの電話番号を持つことができます。電話機やファクスを別々の番号で受けたいときなどは、電話番号ごとに呼び分けることができます。

必要な契約

i・ナンバーの契約（有料）が必要です。

必要な設定

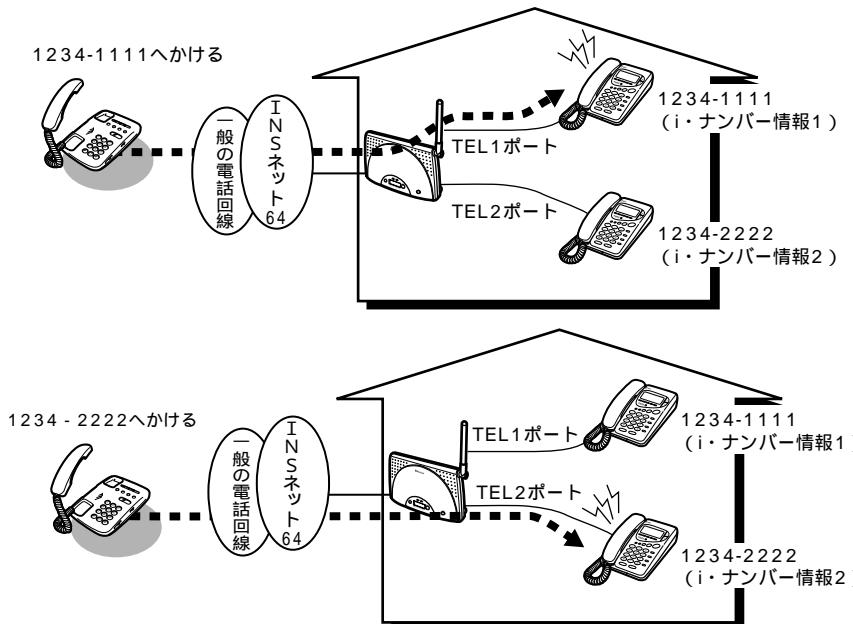
i・ナンバーを「使用する」に設定して、i・ナンバー電話番号を登録します。1つめの電話番号（契約者回線番号）が i・ナンバー情報1、2つめの電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報2、3つめの電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報3となります。

お買い求め時は、1つめの電話番号はTEL1ポート、2つめの追加番号はTEL2ポートに着信するよう設定されています（3つめの追加番号に電話がかかってきた場合には着信しません）。着信するポートを変更するには、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定の変更が必要です。

i・ナンバーを設定する

設定例1

契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポート、追加番号（1234-2222）はTEL2ポートに着信させる場合



TELで設定

(設定例1)(☞P206、210)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

i・ナンバーを「使用する」に設定する

ハンドセットを取りあげる **※※※** ① ①③③ **※** ① **②** ハンドセットを置く

i・ナンバー情報1の電話番号を設定する

ハンドセットを取りあげる **※※※** ① ①③④ **※** 契約者回線番号(例:12341111)
② ハンドセットを置く

i・ナンバー情報2の電話番号を設定する

ハンドセットを取りあげる **※※※** ① ①③⑤ **※** 追加番号(例:12342222)
② ハンドセットを置く

TEL1ポートの発信者番号を設定する

ハンドセットを取りあげる **※※※** ① ①②① **※** 契約者回線番号(例:12341111)
② ハンドセットを置く

TEL2ポートの発信者番号を設定する

ハンドセットを取りあげる **※※※** ② ①②① **※** 追加番号(例:12342222)
③ ハンドセットを置く

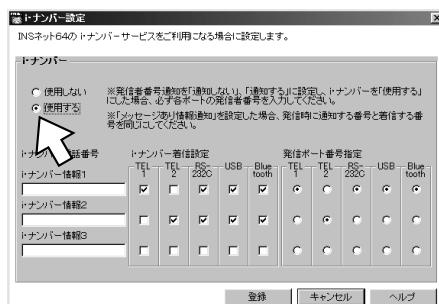
PCで設定

(設定例1)(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

1 設定ユーティリティを起動する。(☞P64、66)

2 [i・ナンバー設定]をクリックする。

3 [使用する]をクリックする。

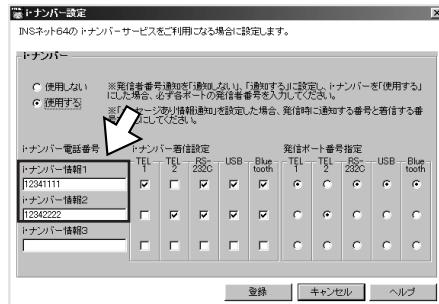


(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

4 i・ナンバー電話番号を入力する。

[i・ナンバー情報1] の [i・ナンバー電話番号] に契約者回線番号 (例: 12341111) を入力し、[i・ナンバー情報2] の [i・ナンバー電話番号] に追加番号 (例: 12342222) を入力します。



5 [登録] をクリックする。

6 [TEL1ポート設定] をクリックする。

7 [発信・着信1] をクリックする。

8 [発信者番号] に電話番号を入力し、[登録] をクリックする。

[発信者番号] に契約者回線番号 (例: 12341111) を入力します。

9 [TEL2ポート設定] をクリックする。

10 [発信・着信1] をクリックする。

11 [発信者番号] に電話番号を入力し、[登録] をクリックする。

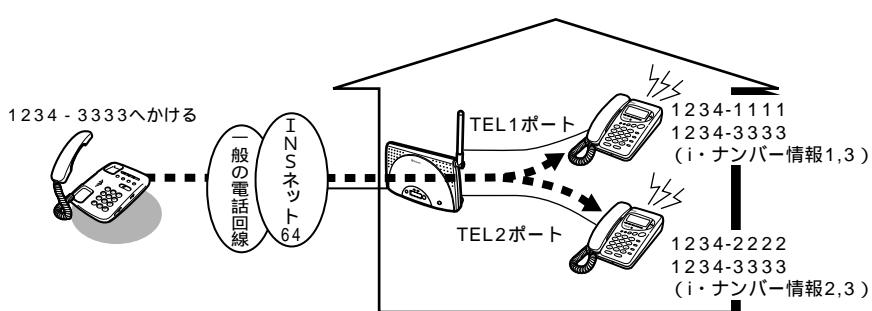
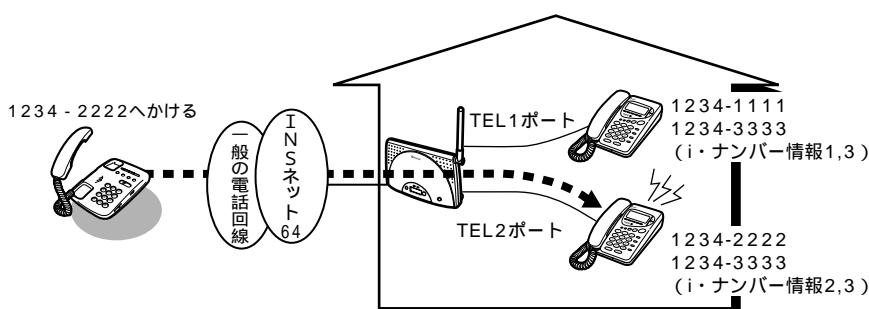
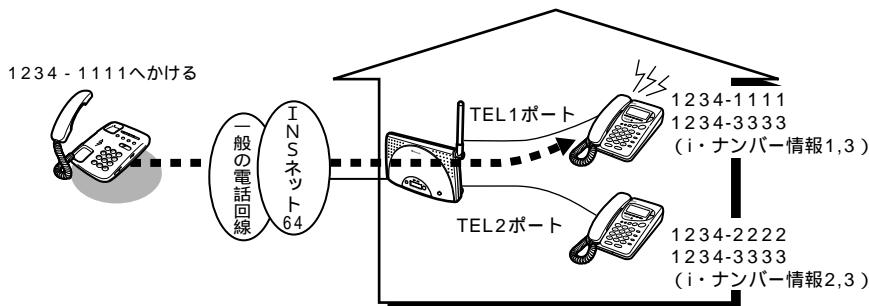
[発信者番号] に追加番号 (例: 12342222) を入力します。

12 [終了] をクリックする。

13 [OK] をクリックする。

設定例2

契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポート、追加番号（1234-2222）はTEL2ポートへ、追加番号（1234-3333）はTEL1ポートとTEL2ポートに着信させる場合



（次ページへ続きます）



(前ページの続きです)

TELで設定

(設定例2)(⇨ P206、210、212)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

i・ナンバーを「使用する」に設定する

ハンドセットを取りあげる ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ハンドセットを置く

i・ナンバー情報1の電話番号を設定する

ハンドセットを取りあげる ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ 契約者回線番号(例:12341111)

⑫ ハンドセットを置く

i・ナンバー情報2の電話番号を設定する

ハンドセットを取りあげる ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ 追加番号(例:12342222)

⑬ ハンドセットを置く

i・ナンバー情報3の電話番号を設定する

ハンドセットを取りあげる ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ 追加番号(例:12343333)

⑭ ハンドセットを置く

TEL1ポートの発信設定を行う

ハンドセットを取りあげる ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ または⑬ ⑭ ハンドセットを置く

TEL2ポートの発信設定を行う

ハンドセットを取りあげる ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ または⑬ ⑭ ハンドセットを置く

TEL1ポートの着信設定を行う

ハンドセットを取りあげる ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ハンドセットを置く

TEL2ポートの着信設定を行う

ハンドセットを取りあげる ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ハンドセットを置く

TEL1ポートの発信者番号を設定する

ハンドセットを取りあげる ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ 契約者回線番号(例:12341111)または追加番号(例:12343333) ⑭ ハンドセットを置く

TEL2ポートの発信者番号を設定する

ハンドセットを取りあげる ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ 追加番号(例:12342222または12343333) ⑬ ハンドセットを置く

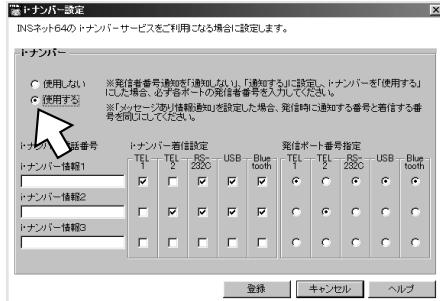
PCで設定

(設定例2)(⇨ CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

1 設定ユーティリティを起動する。(⇨ P64、66)

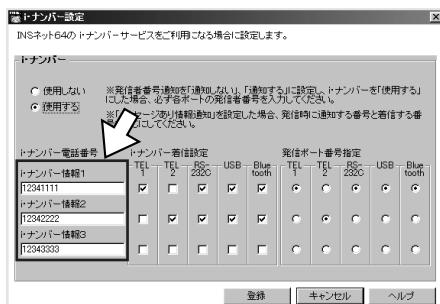
2 [i・ナンバー設定] をクリックする。

3 [使用する] をクリックする。



4 i・ナンバー電話番号を入力する。

[i・ナンバー情報1] の [i・ナンバー電話番号] に契約者回線番号（例：12341111）[i・ナンバー情報2] の [i・ナンバー電話番号] に追加番号（例：12342222）[i・ナンバー情報3] の [i・ナンバー電話番号] に追加番号（例：12343333）を入力します。



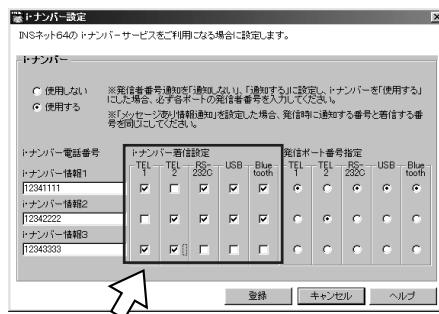
(次ページへ続きます)



(前ページの続きです)

5 i・ナンバー着信設定をする。

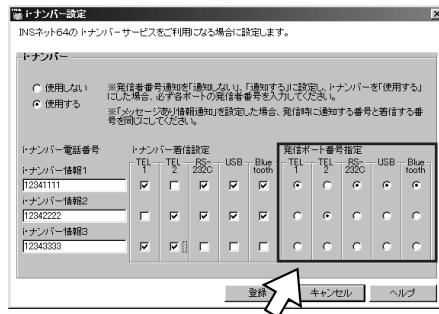
- [i・ナンバー情報1] の [i・ナンバー着信設定] は [TEL1] のみをチェックします。
- [i・ナンバー情報2] の [i・ナンバー着信設定] は [TEL2] のみをチェックします。
- [i・ナンバー情報3] の [i・ナンバー着信設定] は [TEL1] と [TEL2] をチェックします。



6 発信ポート番号指定を確認する。

- [発信ポート番号指定] の [TEL1] で [i・ナンバー情報1] または [i・ナンバー情報3] を選択します。

- [発信ポート番号指定] の [TEL2] で [i・ナンバー情報2] または [i・ナンバー情報3] を選択します。



7 [登録] をクリックする。

8 [TEL1ポート設定] をクリックする。

9 [発信・着信1]をクリックする。

10 [発信者番号]に電話番号を入力し、[登録]をクリックする。

[発信者番号]に契約者回線番号(例:12341111)または追加番号(例:12343333)を入力します。

11 [TEL2ポート設定]をクリックする。

12 [発信・着信1]をクリックする。

13 [発信者番号]に電話番号を入力し、[登録]をクリックする。

[発信者番号]に追加番号(例:12342222または12343333)を入力します。

14 [終了]をクリックする。

15 [OK]をクリックする。

① ワンポイント

親機と子機で番号を使い分けるには

モデムダイヤルイン対応のアナログ通信機器をお使いになると、i・ナンバーを利用して、親機と子機で番号を使い分けたり、電話の着信とファクスの着信を呼び分けたりすることができます。(☞P182)

お知らせ

i・ナンバーについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

お願い

発信者番号は正しく設定してください。i・ナンバー使用時に相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知(☞P161)で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INSネット64サービスが利用できない場合があります。

TELで設定 (機能番号:020)(☞P210)

PCで設定 (i・ナンバー設定画面、データポート設定画面「発信・着信」)(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

ダイヤルインをご契約になると、アナログポートに接続した電話機やファクスで複数の電話番号を使い分けることができます。TEL1ポート、TEL2ポートそれぞれに、最大8個の電話番号を設定することができます。

必要な契約

ダイヤルインの契約（有料）が必要です。

INSネット64の「グローバル着信」を「利用する」でご契約になると、INSメイトFT80btのグローバル着信選択機能により、追加番号の契約数より1つ多い電話番号（追加番号が1つであれば2つの電話番号）を利用できます。グローバル着信は、ダイヤルインのご契約時に無料で契約できます。

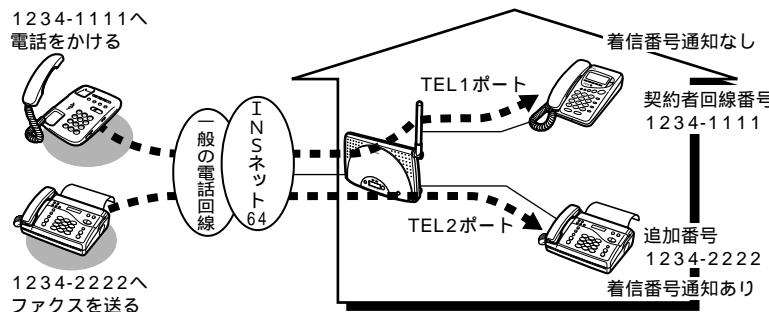
「グローバル着信」を「利用しない」でご契約になり、ダイヤルインを契約することもできます。ただし、グローバル着信を利用しない契約の場合は、契約者回線番号を含めて番号ごとにダイヤルイン番号として契約する必要があります。したがって、グローバル着信を利用する契約の場合より、ダイヤルイン番号の契約が1つ多く必要となります。

必要な設定

発信者番号の設定、着信する番号の設定が必要です。グローバル着信を利用する場合は、グローバル着信選択の設定が必要です。

設定例

グローバル着信の利用を契約し、契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポート、追加番号（1234-2222）はTEL2ポートに着信させる場合



機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
グローバル着信選択	機能番号:003 (☞P208)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信1 (☞CD-ROM)	TEL1ポートは「着信する」を選択する TEL2ポートは「着信しない」を選択する
発信者番号	機能番号:020 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信1 (☞CD-ROM)	TEL1ポートは契約者回線番号（1234-1111）を入力する TEL2ポートは追加番号（1234-2222）を入力する
着信する番号	機能番号:030～037 (☞P214)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信1 (☞CD-ROM)	TEL1ポートの着信する番号0に契約者回線番号（1234-1111）を入力する TEL2ポートの着信する番号0に追加番号（1234-2222）を入力する



ワンポイント

グローバル着信とは

契約者回線番号への着信時に、契約者回線番号を通知しない機能です。グローバル着信を契約すると、通常は契約者回線番号に電話がかかってきたとき、すべてのアナログ通信機器の着信音が鳴りますが、INSメイトFT80btは、グローバル着信選択の設定により、着信するかどうかを選択できます。このため、追加番号を1つ契約するだけで2台のアナログ通信機器を呼び分けることができます。

グローバル着信を利用しないときは

グローバル着信選択の設定は必要ありません。その他の設定は、グローバル着信を利用するときと同じです。

1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには

モデムダイヤルイン対応のアナログ通信機器をお使いになると、ダイヤルインを利用して、親機と子機で番号を使い分けたり、電話の着信とファクスの着信を呼び分けたりすることができます。(☞P182)



お知らせ

ダイヤルイン、グローバル着信について、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、ダイヤルイン、グローバル着信はご利用になれません。



お願い

発信者番号は正しく設定してください。相手の方に正しい電話番号が伝わらなかつたり、発信者番号通知(☞P161)で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INSネット64サービスが利用できない場合があります。

TELで設定 (機能番号: 020)(☞P210)

PCで設定 (i・ナンバー設定画面、データポート設定画面「発信・着信」)(☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、電話番号を使い分けることができます。コードレス電話機の親機と子機で番号を使い分けたり、ファクス付き電話機で電話とファクスの番号を使い分けたりすることができます。

この機能をご利用になるには、i・ナンバーまたはダイヤルインの契約が必要です。

i・ナンバーを利用する場合

必要な契約

i・ナンバーの契約(有料)が必要です。

必要な設定

i・ナンバーの設定、i・ナンバー電話番号の設定、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定、モデムダイヤルイン着信電話番号通知の設定が必要です。

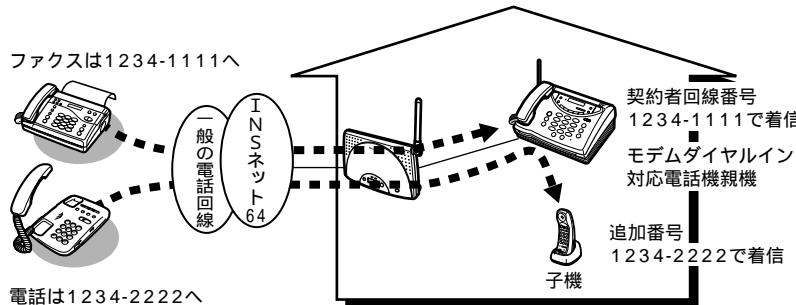
モデムダイヤルイン対応電話機の親機および子機から、同じ発信者番号が通知されるように、発信者番号の設定も必要です。

また、モデムダイヤルイン対応の電話機、ファクスで契約者回線番号、追加番号の登録が必要です。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、i・ナンバー電話番号(☞P172)に設定した電話番号を登録してください。

設定例

契約者回線番号(1234-1111)はTEL1ポートに接続した電話機の親機、追加番号(1234-2222)は子機に着信させる場合

あらかじめTEL1ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、親機に契約者回線番号(1234-1111)、子機に追加番号(1234-2222)を設定します。



機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
i・ナンバー	機能番号:133 (☞P206)	i・ナンバー設定画面 (☞CD-ROM)	「使用する」を選択する
i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報1	機能番号:134 (☞P206)	i・ナンバー設定画面 (☞CD-ROM)	契約者回線番号(1234-1111)を入力する
i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報2	機能番号:135 (☞P206)	i・ナンバー設定画面 (☞CD-ROM)	追加番号(1234-2222)を入力する
i・ナンバー着信設定	機能番号:024 (☞P212)	i・ナンバー設定画面 (☞CD-ROM)	TEL1ポートのみ i・ナンバー情報1、i・ナンバー情報2を着信可に設定する
発信ポート番号指定	機能番号:023 (☞P212)	i・ナンバー設定画面 (☞CD-ROM)	TEL1ポートに i・ナンバー情報1を設定する
発信者番号	機能番号:020 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 「発信・着信1」 (☞CD-ROM)	TEL1ポートの発信者番号として、契約者回線番号(1234-1111)または追加番号(1234-2222)を入力する
モデムダイヤルイン着信電話番号通知	機能番号:012 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☞CD-ROM)	TEL1ポートは「する」を選択する

(前ページの続きです)

ダイヤルインを利用する場合

必要な契約

ダイヤルインの契約（有料）が必要です。

INSネット64の「グローバル着信」を「利用する」でご契約になると、INSメイトFT80btのグローバル着信選択機能により、追加番号の契約数より1つ多い電話番号（追加番号が1つであれば2つの電話番号）を利用できます。グローバル着信は、ダイヤルインのご契約時に無料で契約できます。

「グローバル着信」を「利用しない」でご契約になり、ダイヤルインを契約することもできます。ただし、グローバル着信を利用しない契約の場合は、契約者回線番号を含めて番号ごとにダイヤルイン番号として契約する必要があります。したがって、グローバル着信を利用する契約の場合より、ダイヤルイン番号の契約が1つ多く必要となります。

必要な設定

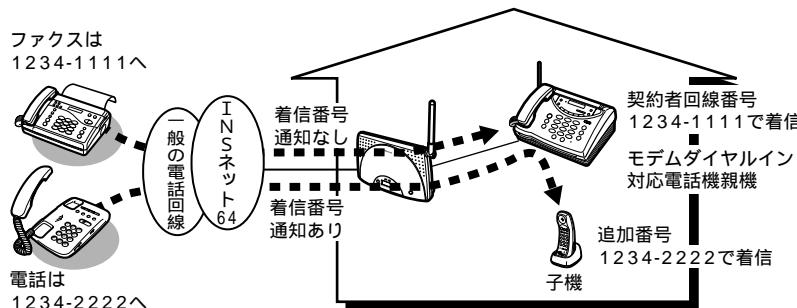
モデムダイヤルイン用契約者回線番号の設定、着信する番号の設定、モデムダイヤルイン着信電話番号通知の設定が必要です。グローバル着信を利用する場合はグローバル着信選択の設定が必要です。

また、モデムダイヤルイン対応電話機で契約者回線番号、追加番号の登録が必要です。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、必ず市内局番から登録してください。

設定例

グローバル着信の利用を契約し、契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポートに接続した電話機の親機、追加番号（1234-2222）は子機に着信させる場合

あらかじめTEL1ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、親機に契約者回線番号（1234-1111）、子機に追加番号（1234-2222）を設定します。



機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
モデムダイヤルイン用契約者回線番号	機能番号:111 (☞P204)	TEL1・2ポート共通設定画面「その他」 (☞CD-ROM)	契約者回線番号 (1234-1111)を入力する
グローバル着信選択	機能番号:003 (☞P208)	TEL1ポート設定画面「発信・着信1」(☞CD-ROM)	TEL1ポートは「着信する」を選択する
着信する番号	機能番号:030 ~037 (☞P214)	TEL1ポート設定画面「発信・着信1」(☞CD-ROM)	TEL1ポートの着信する番号0に追加番号 (1234-2222)を入力する
モデムダイヤルイン着信電話番号通知	機能番号:012 (☞P210)	TEL1ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」(☞CD-ROM)	TEL1ポートは「する」を選択する

4 ワンポイント

モデムダイヤルインとは

受信した追加番号をモデム信号に変換して、電話機などに送る機能です。モデムダイヤルイン対応の電話機に登録されている追加番号に応じて、該当する機器（親機または子機）で着信します。

モデムダイヤルイン対応電話機にサブアドレスを通知するには

モデムダイヤルイン対応電話機にサブアドレス受信機能がある場合は、モデムダイヤルイン着サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、サブアドレスを通知することができます。

TELで設定 (機能番号:013)(☞P210)

グローバル着信を利用しないときは

グローバル着信選択の設定は必要ありません。その他の設定は、グローバル着信を利用するときと同じです。

5 お知らせ

通話中に着信があり、通話を終了したあとにその着信を受けた場合は、追加番号またはi・ナンバー電話番号は、アナログポートに接続したアナログ通信機器に通知されません。

モデムダイヤルインとメッセージあり情報通知(☞P154、156)を同時に利用することはできません。

6 お願い

i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、必ずi・ナンバー電話番号も設定してください。i・ナンバー電話番号を設定しないと、モデムダイヤルイン対応電話機が正常に動作しない場合があります。ダイヤルイン、グローバル着信をご利用の場合は、必ずモデムダイヤルイン用契約者回線番号を設定してください。設定しないと、モデムダイヤルイン対応電話機が正常に動作しない場合があります。

サブアドレスを設定すると、相手の方が電話をかけるとき、電話番号に続けてサブアドレスをダイヤルすることにより、特定の電話機やファクスを直接呼び出すことができます。

サブアドレスは、相手の方がINSネット64に加入している場合のみ利用できます。通知されたサブアドレスと、INSメイトFT80btのサブアドレスが完全に一致しないと、着信は受け付けられません。

必要な設定

お買い求め時は、各ポートのサブアドレスは設定されていません。サブアドレスを利用するには、各ポートにサブアドレスを設定する必要があります。

お買い求め時は、相手の方がサブアドレスを付けなくても着信するように設定されています。サブアドレスなしの着信を受けないようにするには、サブアドレスなし着信選択の設定を「着信しない」にします。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
サブアドレス	機能番号:038 (☞P214)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信1(☞CD-ROM) データポート設定画面 「発信・着信(☞CD-ROM)	ポートごとに任意の番号(最大19桁)を 入力する
サブアドレス なし着信選択 (サブアドレス なしの着信を 受け付けない 場合)	機能番号:004 (☞P208)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信1(☞CD-ROM) データポート設定画面 「発信・着信(☞CD-ROM)	サブアドレスなしの着信を受け付けない場 合は、「着信しない」を選択する



ワンポイント

相手の方が一般的な電話回線からかけてきたときは

サブアドレスを指定できない一般的な電話回線からの着信は、サブアドレスを設定していても受けることができます。サブアドレスによる呼び分けはできません。



お知らせ

サブアドレスなし着信選択を「着信しない」に設定すると、一般的な電話回線からの着信やサブアドレスのない着信は受けられません。

アナログポートに接続したアナログ通信機器を「電話機1」、「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」、「電話機2」、「ファクス」の4種類のいずれかに設定します。

相手の接続機器の設定と一致したアナログポートに着信するので、同じ電話番号で呼び分けることができます。この機能は、相手の方がINSネット64から発信した場合、携帯電話機やPHS対応電話機から発信した場合にご利用になれます。

必要な設定

アナログポートごとに接続機器の設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
接続機器設定	機能番号: 001 (☞P208)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信2」 (☞CD-ROM)	TEL1ポート、TEL2ポートそれぞれに接続している機器に合わせて、次のいずれかを選択する 「電話機1」: 電話機を接続する場合 「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」: G3ファクス、ファクス付き電話機、モデム、Lモード対応電話機を接続する場合 「電話機2」: 電話専用として使う場合 「ファクス」: ファクス専用として使う場合



ワンポイント

相手の方が一般的な電話回線からかけてきたときは

一般的な電話回線からの着信は、すべて「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」と認識します。接続機器の設定による呼び分けはできません。

接続機器の設定の違いにより着信できないときは

次の場合は着信できません。接続機器の設定を「電話機1」または「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」に変更してください。

- 接続機器を「ファクス」に設定しているとき

相手の接続機器の設定が「電話機2」の場合、または相手が携帯電話機、PHS対応電話機の場合

- 接続機器を「電話機2」に設定しているとき

相手の接続機器の設定が「ファクス」の場合、または相手がG4ファクスの場合

アナログ通信機器を1台のみ接続する場合は

TEL1ポートに機器を接続し、TEL2ポートは接続機器の設定を「接続しない」に設定します。

TELで設定 (機能番号: 008) (☞P208)

PCで設定 (TEL1ポート設定画面「発信・着信2」) (☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)



お知らせ

相手の方がINSネット64から「電話機1」または「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」の設定で発信した場合、接続機器の設定による呼び分けはできません。

1 すぐに使えます

2 な電話のかいりたい

3 いファクスのかいり

4 発信者番号の

5 電話呼び分け

6 転送/メッセージ

7 設定電話機からの

電話に出られないときのいろいろな方法

かかってきた電話に出られないときは、ほかの電話に転送したり、相手の方にメッセージを録音していただいたりすることができます。

着信転送で指定した番号へ転送する (☞P190)

フレックスホンの着信転送を利用して、外の相手の方からかかってきた電話を、あらかじめ登録している電話番号へ転送します。電話をかけてきた方と、転送先の方に、転送していることを知らせるアナウンスを流すことができます。



疑似着信転送で指定した番号へ転送する (☞P190)

疑似着信転送を利用して、外の相手の方からかかってきた電話を、あらかじめ登録している電話番号へ転送します。すべてのポートが空いているときだけ利用できます。

INSボイスワープ / INSボイスワープセレクトで条件を指定して転送する (☞P195)

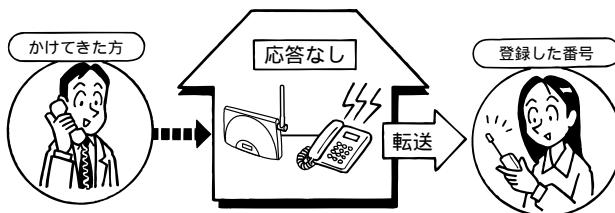
かかってきた電話を無条件で転送する、設定した時間内に応答できなければ転送する、2つのポートを使用中に転送するの3つの中から、条件を選択して転送します。転送先は5か所まで登録できます。

無条件転送

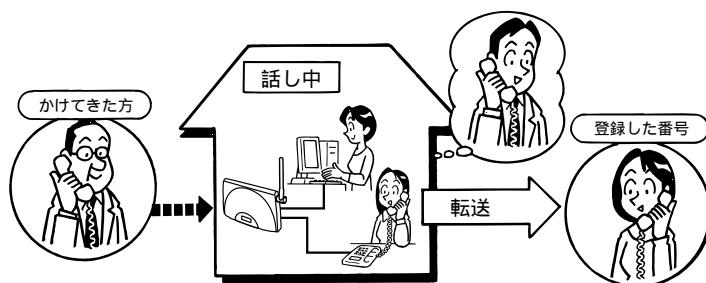
INSメイトFT80btのお出かけ設定ボタンを押して、INSボイスワープ / INSボイスワープセレクトの無条件転送を開始 / 停止することができます。(☞P198)



無応答時転送



話中時転送

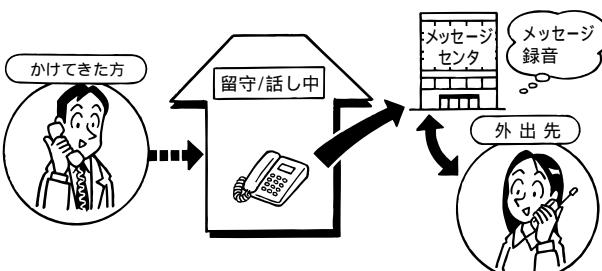


INSマジックボックスですべての電話をキャッチする



(☞P199)

お話し中や不在時など、電話に出られないときは、相手の方に当社のメッセージセンタにメッセージを録音してもらって、あとで聞くことができます。また、あらかじめ登録しておいた電話番号へ転送することもできます。キャッチホンもご利用になれます。



外からの電話を別の相手に転送するには (着信転送 / 疑似着信転送)

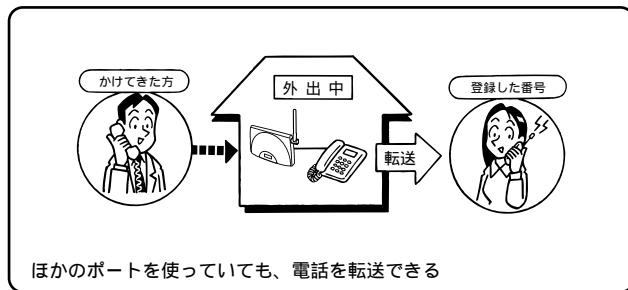
外からの電話を、あらかじめ登録しておいた別の相手に転送することができます。
フレックスホンの着信転送、疑似着信転送の2つの方法があります。

着信転送 (フレックスホン)



かかってきた電話を転送することができます。

電話をかけてきた相手の方、転送先の方に転送することを音声で知らせることができます。(転送トーキ、転送元トーキ)



転送中の音声アナウンス(転送トーキ、転送元トーキ)

転送中は、次のような音声アナウンスを流すことができます。音声の内容は、地域によって若干異なる場合があります。

- 電話をかけてきた方へのアナウンス(転送トーキ)
「ただいま電話を転送しますので、そのままお待ちください。」
- 転送先へのアナウンス(転送元トーキ)
「電話が転送されてまいりますので、そのままお待ちください。」

必要な契約

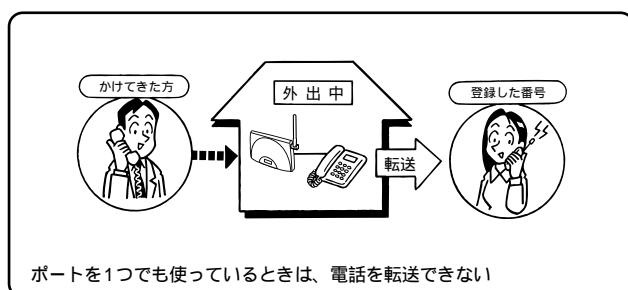
フレックスホンの着信転送機能の契約(有料)が必要です。

フレックスホンの他の機能(INSキャッチホン、通信中転送、三者通話)もあわせてご利用になれます。

疑似着信転送



すべてのポートが空いている時に、かかってきた電話を転送することができます。



着信転送または疑似着信転送を設定する

着信転送の設定、着信転送先電話番号、着信転送元電話番号の登録が必要です。電話番号は、契約者回線番号、i・ナンバーまたはダイヤルインの追加番号ごとに設定します。

着信転送（フレックスホン）の場合、転送中に、電話をかけてきた方や、転送先へアナウンスを流す場合は、着信転送トーキの設定が必要です。ユーザ情報（転送する方へ通知する情報）はご利用になられませんので、「ユーザ情報なし」を選択してください。

設定例

契約者回線番号（03-1234-1111）にかかる電話を03-XXXX-5555へ転送する場合

TELで設定

（P202、204）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

着信転送または疑似着信転送を設定する

ハンドセットを取りあげる * * * ① ① ① ② * ① または ②（疑似着信転送：①、着信転送：②） # ハンドセットを置く

着信転送先電話番号（契約者回線番号用）を設定する

ハンドセットを取りあげる * * * ① ① ① ④ * 転送先の電話番号（03-XXXX-5555） # ハンドセットを置く

着信転送元電話番号（契約者回線番号用）を設定する

ハンドセットを取りあげる * * * ① ① ① ⑦ * 転送元の電話番号（03-1234-1111） # ハンドセットを置く

着信転送（フレックスホン）の場合は着信転送トーキを設定する

ハンドセットを取りあげる * * * ① ① ① ③ * ① ~ ④のいずれか # ハンドセットを置く

①：転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ情報なし

②：転送トーキあり、転送元トーキなし、ユーザ情報なし

③：転送トーキなし、転送元トーキあり、ユーザ情報あり

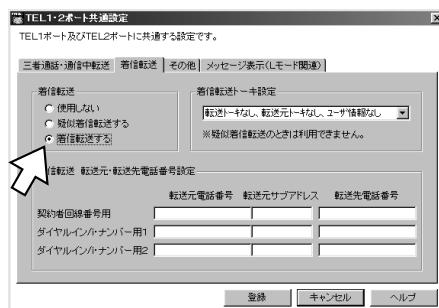
④：転送トーキあり、転送元トーキあり、ユーザ情報あり

外からの電話を別の相手に転送するには (着信転送 / 疑似着信転送)

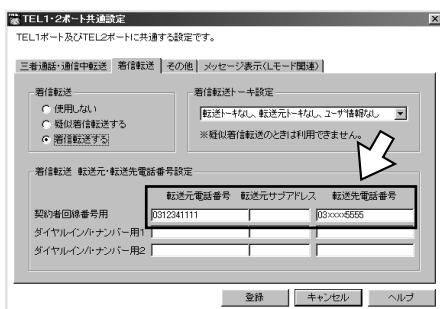
(前ページの続きです)

PCで設定 (☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

- 1 設定ユーティリティを起動する。(☞P64、66)
- 2 [TEL1・2ポート共通設定] をクリックする。
- 3 [着信転送] をクリックする。
- 4 [着信転送する] または [疑似着信転送する] をクリックする。



5 契約者回線番号用の転送元電話番号（例：03-1234-1111） 転送先電話番号（例：03-XXXX-5555）を入力する。



6 着信転送（フレックスホン）の場合は、着信転送トーキを次のいずれかから設定する。

- 転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ情報なし
- 転送トーキあり、転送元トーキなし、ユーザ情報なし
- 転送トーキなし、転送元トーキあり、ユーザ情報あり
- 転送トーキあり、転送元トーキあり、ユーザ情報あり
- 転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ情報あり

7 [登録] をクリックする。

8 [終了] をクリックする。

9 [OK] をクリックする。

(次ページへ続きます)

外からの電話を別の相手に転送するには (着信転送 / 疑似着信転送)

(前ページの続きです)



ワンポイント

着信転送、疑似着信転送を停止 / 再開するには

電話機からの操作で、着信転送または疑似着信転送を一時的に停止したり、再開したりすることができます。

- 着信転送または疑似着信転送を停止する
ハンドセットを取りあげる **＊＊＊ ①①①②＊①#** を押す
- 着信転送を再開する
ハンドセットを取りあげる **＊＊＊ ①①①②＊②#** を押す
- 疑似着信転送を再開する
ハンドセットを取りあげる **＊＊＊ ①①①②＊①#** を押す

着信転送、疑似着信転送が行われているときは

INSメイトFT80btの液晶ディスプレイに「チャクシン テンソウ」と表示されます。



お知らせ

フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

転送元および転送先の電話番号を登録しないと、転送の設定は無効になります。

転送先としてディスプレイポケットベルの電話番号を登録することはできません。

転送元としてサブアドレスのみを登録することはできません。

転送元に着信があった場合、アナログポートに接続した通信機器の着信音は鳴りません。

疑似着信転送では、転送先への通話料金はTEL1ポートに加算されます。

グローバル着信があった場合は、契約者回線番号用の転送元電話番号の設定内容に関係なく、転送先電話番号に転送されます。

ダイヤルインでグローバル着信を利用しない契約をしている場合、契約者回線番号で着信転送するには、ダイヤルイン用1またはダイヤルイン用2の着信転送元電話番号に契約者回線番号を設定してください。

i・ナンバー(☞P172)をご利用の場合、転送元電話番号、転送元サブアドレス、転送先電話番号は、i・ナンバー用1またはi・ナンバー用2の欄に設定してください。

i・ナンバー(☞P172)をご利用のときに、3つめの電話番号(追加番号)で着信転送を行う場合は、i・ナンバー用1またはi・ナンバー用2の欄に設定してください。

i・ナンバー(☞P172)を「使用する」に設定した場合は、転送元の電話番号を必ずi・ナンバー電話番号に設定してください。設定しておかないと、転送の設定は無効になります。

条件を指定して転送するには(INSボイスワープ/INSボイスワープセレクト)

INSボイスワープおよびINSボイスワープセレクトは、高機能な着信転送サービスです。INSボイスワープをご利用になると、転送する条件を選択することができます。転送先は5か所まで登録できます。

INSボイスワープセレクトをご利用になると、INSボイスワープの機能に加えて、転送する方法を選択することができます。

INSメイトFT80btのお出かけ設定ボタンを押すと、転送を開始 / 停止することができます。

INSボイスワープ



転送条件を次の中から選択することができます。

- かかってきた電話を無条件で転送する(無条件転送)
- あらかじめ設定した秒数だけ着信を通知し、応答がなければ転送する(無応答時転送)
- 2つのポートを使用中のとき、または、着信拒否、i・ナンバー、ダイヤルインなどの設定により、1つのポートが空いていても着信できないときに転送する(話中時転送)

INSボイスワープセレクト



INSボイスワープの機能に加えて、転送方法を次の中から選択することができます。

- 登録した電話番号からの着信を転送する(登録番号転送モード)
- 登録した電話番号以外からの着信を転送し、登録した電話番号からの着信は転送しない(登録番号着信モード)
- すべての着信を転送する(全番号転送モード)

必要な契約

INSボイスワープ / ボイスワープセレクトの契約(有料)が必要です。転送先の電話番号は、アナログポートに接続した電話機から登録・登録解除ができます。

必要な設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSボイスワープ / INSボイスワープセレクトをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

INSボイスワープ / ボイスワープセレクトをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

1 すぐに使えます

2 な使いのかいいろいろ

3 いフアクス使いのかいちら

4 発信者番号の表示

5 電話呼び分けアクリス

6 録音転送 / メッセージ

7 設定電話機からの

お知らせ

INSボイスワープ、INSボイスワープセレクトについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

(次ページへ続きます)

条件を指定して転送するには(INSボイスワープ / INSボイスワープセレクト)

(前ページの続きです)

INSボイスワープ / INSボイスワープセレクトをご利用になる場合の設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSボイスワープ / INSボイスワープセレクトをご利用になる電話番号を発信者番号に登録してください。

TELで設定 (☞P210)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

発信者番号を登録する

ハンドセットを取りあげる    設定するTELポートの番号(①または②) ① ② ①
 電話番号  ハンドセットを置く

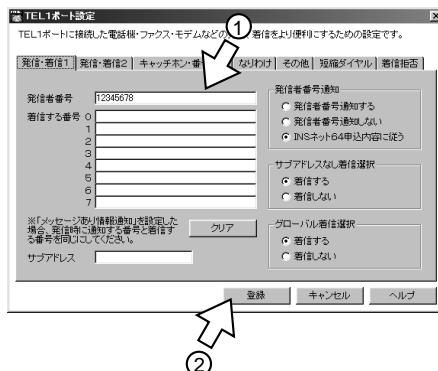
PCで設定 (☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」)

1 設定ユーティリティを起動する。(☞P64、66)

2 [TEL1ポート設定] または [TEL2ポート設定] をクリックする。

3 [発信・着信1] をクリックする。

4 [発信者番号] に電話番号を入力し、[登録] をクリックする。



1 すぐに使えます

2 な電話のいろいろ使いかた

3 ファクスのいろいろ使いかた

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファクスの呼び分け

6 録音/転送メッセージ

7 電話機からの設定

5 [終了] をクリックする。

6 [OK] をクリックする。

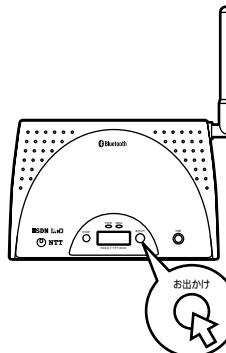
条件を指定して転送するには（INSボイスワープ / INSボイスワープセレクト）

転送を開始 / 停止する

お出かけ設定ボタンを押すと、自動的に転送を開始 / 停止することができます。

お出かけ設定ボタンを押して転送を開始した場合、転送条件は、「かかってきた電話を無条件で転送する（無条件転送）」になります。

- 1 転送を開始するときは、お出かけ設定ボタンを押す。



テンソウ セッティチュウ

- 2 転送を停止するときは、もう一度お出かけ設定ボタンを押す。

テンソウ テイシ

 お知らせ

INSボイスワープ、INSボイスワープセレクトの契約、転送先の電話番号の登録をしていないと、お出かけ設定ボタンを押しても液晶ディスプレイに「テンソウ セッティNG」と表示され、電話を転送することはできません。

すべての電話をキャッチするには (INSマジックボックス)

設定



INSマジックボックスは、メッセージ録音、着信転送、INSキャッチホンの機能を1つにまとめたサービスです。不在時には、相手の方にメッセージを録音していただいたり、登録した電話番号へ転送することができます。お話し中にかかってきた電話にも出ることができます。

メッセージ録音について

録音されたメッセージは、当社のメッセージセンタに保存されます。外出先からメッセージを聞くこともできます。

メッセージは1件3分まで、最大20件まで録音できます。メッセージの保存期間は7日間です。

必要な契約

INSマジックボックスの契約（有料）が必要です。ご契約時に転送先の電話番号を登録してください。

必要な設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSマジックボックスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録してください。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
発信者番号	機能番号：020 (☞P210)	TEL1ポート設定画面 / TEL2ポート設定画面 「発信・着信1」(☞CD-ROM)	電話番号（最大32桁）を入力する

INSマジックボックスのINSキャッチホンをご利用になる場合は、INSキャッチホンの設定を行ってください。
(☞P135)

INSマジックボックスの着信転送をご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

1 すぐに使えます

2 な使いの
かい
た
い
ろ3 いフ
るな
ク使
いの
か
た
ろ4 通発
知と
表示の
番号の5 電話
の呼び
分け
ア
クス6 録音
転送 / メッセージ7 設定
電話機からの

お知らせ

INSマジックボックスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

電話機から機能を設定するには

INSメイトFT80btのさまざまな機能をご利用になるには、設定が必要です。アナログポート（TEL1ポートまたはTEL2ポート）に接続した電話機を使って、アナログポートのいろいろな機能を設定することができます。

INSメイトFT80btをINSネット64回線に接続していなくても、設定は行えます。以下の手順をご確認のうえ、設定一覧（☞P202）の表をご覧ください。

設定手順

例 TEL1ポートに疑似キャッチホンを設定する

共通の開始操作です。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。INSネット64回線に接続していないときは話中音が聞こえます。



2 ④④④を押す。

「ブツ」という設定開始音が聞こえます。



セッティモード
ホートバソコウ?

3 ポート番号を押す。

- ① : TEL1、TEL2ポート共通設定
- ① : TEL1ポート設定
- ② : TEL2ポート設定

例 TEL1ポート設定



セッティモード
キノウバソコウ?

4 機能番号を押す。

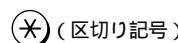
現在の設定内容が表示されます。

例 キャッチホン



002:キャッチホン
0:シナイ 0-2

5 ④ボタンを押す。



6 設定値をダイヤルボタンで押す。

例 疑似キャッチホン

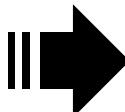


002:キャッチホン
1:キジ 0-2

共通の終了操作です。

- 7  ポタンを押す。
「ブッブッ」という確認音が聞こえます。

- 8 ハンドセットを置く。
設定内容が保存されます。



その他の設定は、設定一覧 (☞P202) の表をご覧ください。

ワンポイント

続けて設定するには

手順7の操作のあと、手順3に戻ります。すべての設定が終わったら、ハンドセットを置きます。

操作を間違えたときは

「ブッブッブッ」という音が聞こえます。音が鳴り終わったら手順3からやり直してください。

電話番号やサブアドレスの入力を間違えたときは

※ボタンを2回押すと、直前に入力した数値を消去することができます。

設定を中止するには

ハンドセットを置きます。また、何も操作しないまま約60秒過ぎると、設定が中止されます。中止したときは、「ブッブッ」という確認音が聞こえたところまでの設定が保存されます。

リセット処理（お買い求め時の設定に戻す）を行ったときは

手順7で「ブッブッ」という確認音は聞こえず、INSメイトFT80btが再起動します。



お知らせ

2台の電話機から同時に設定操作をすることはできません。

手順7でボタンを押したあと、ハンドセットを置く前にINSメイトFT80btの電源アダプタを抜き差しするなどにより、電源が切断された状態になった場合は、設定内容は保存されません。

電話機から機能を設定するには

設定一覧

アナログポート共通の機能

TEL1ポート、TEL2ポート共通の機能です。ポート番号は①を押します。設定手順(☞P200)を参考に、左から順に操作します。

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
100	三者通話 (☞P144、145)		②	①②③
101	通信中転送 (☞P149)		②	①②①
102	着信転送 (☞P191)		②	①②②
103	着信転送トーキ設定 (☞P191)		②	①②③
104	着信転送先電話番号 (契約者回線番号用) (☞P191)		②	①②④
105	着信転送先電話番号 (ダイヤルイン/i・ナンバー用1)(☞P191)		②	①②⑤
106	着信転送先電話番号 (ダイヤルイン/i・ナンバー用2)(☞P191)		②	①②⑥

下線____は、お買い求め時の設定です。

区切り記号	設定値・設定内容			終了操作
＊	① : <u>使用しない</u> ① : 疑似三者通話 ② : 三者通話	②	②	②
＊	① : <u>使用しない</u> ① : 使用する	①	①	①
＊	① : <u>使用しない</u> ① : 疑似着信転送 ② : 着信転送	②	②	②
＊	転送トーキ ① なし ① あり ② なし ③ あり ④ なし	転送元トーキ なし なし あり あり なし	ユーザ情報 なし なし あり あり あり	②
＊	転送先の電話番号 (最大32桁)			②
＊	転送先の電話番号 (最大32桁)			②
＊	転送先の電話番号 (最大32桁)			②

(次ページへ続きます)

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
107	着信転送元電話番号 (契約者回線番号用) (☞P191)		* * *	① ① ⑦
108	着信転送元電話番号 (ダイヤルイン/i・ナンバー用1)(☞P191)		* * *	① ① ⑧
109	着信転送元電話番号 (ダイヤルイン/i・ナンバー用2)(☞P191)		* * *	① ① ⑨
111	モデムダイヤルイン用 契約者回線番号 (☞P185)		* * *	① ① ①
112	優先着信ポート指定 (☞P132)		* * *	① ① ②
114	内線機能(☞P129)		* * *	① ① ④
115	FAX自動転送 (☞P158)		* * *	① ① ⑤
122	話者切替タイマ (☞P148)		* * *	① ② ②
123	フッキング検出タイマ (☞P129)		* * *	① ② ③
124	ダイヤル桁間タイマ (☞P121)		* * *	① ② ④

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⑥	転送元の電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⑥、サブアドレス（最大19桁）	⑦ 
⑥	転送元の電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⑥、サブアドレス（最大19桁）	⑦ 
⑥	転送元の電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに⑥、サブアドレス（最大19桁）	⑦ 
⑥	電話番号（最大20桁）	⑦ 
⑥	<u>①</u> : 指定しない <u>①</u> : TEL1ポート <u>②</u> : TEL2ポート	⑦ 
⑥	<u>①</u> : 使用しない <u>①</u> : 使用する	⑦ 
⑥	<u>①</u> : しない <u>①</u> : する	⑦ 
⑥	<u>②</u> ~ <u>⑨</u> : 話者切替までの時間（2 ~ 9秒） (お買い求め時: 4秒)	⑦ 
⑥	<u>①</u> : 短い (100 ~ 500 ms) <u>①</u> : 普通 (300 ~ 1000 ms) <u>②</u> : 長い (500 ~ 1500 ms)	⑦ 
⑥	<u>①</u> <u>②</u> ~ <u>①</u> <u>⑤</u> : ダイヤル桁間の空き時間 (2 ~ 15秒) (お買い求め時: 4秒)	⑦ 

(次ページへ続きます)

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
125	ダイヤル終了識別 (☞P121)		* * *	① ② ⑤
126	MSGランプ設定 (Lモード関連) (☞P154、156)		* * *	① ② ⑥
133	i・ナンバー (☞P172)		* * *	① ③ ③
134	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報1 (☞P172)		* * *	① ③ ④
135	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報2 (☞P172)		* * *	① ③ ⑤
136	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報3 (☞P172)		* * *	① ③ ⑥
141	液晶ディスプレイ表示 モード (☞P27、121、123)		* * *	① ④ ①
999	リセット処理 (お買い求め時の設定 に戻す)		* * *	⑨ ⑨ ⑨

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
※	<p>① : 識別しない</p> <p><u>① : #で識別する</u></p> <p>② : # #で識別する</p>	
※	<p>① : メッセージあり状態表示をしない</p> <p><u>① : メッセージあり状態表示をする</u></p>	
※	<p>① : 使用しない</p> <p><u>① : 使用する</u></p>	
※	i・ナンバー情報1に対応した電話番号（最大20桁）	
※	i・ナンバー情報2に対応した電話番号（最大20桁）	
※	i・ナンバー情報3に対応した電話番号（最大20桁）	
※	<p>① : 表示する</p> <p><u>① : プライベート表示</u></p> <p>② : 表示しない</p>	
※	⑨ ⑨ : すべての設定値をお買い求め時に戻す	

電話機から機能を設定するには

アナログポート個別の機能

TEL1ポート、TEL2ポートごとに設定が必要です。

TEL1ポートの設定 ポート番号 ①を押す

TEL2ポートの設定 ポート番号 ②を押す

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
001	接続機器設定 (☞P187)		※※※	①または② ①①①
002	キャッチホン (☞P135、137)		※※※	①または② ①①②
003	グローバル着信選択 (☞P180)		※※※	①または② ①①③
004	サブアドレスなし着信選択 (☞P186)		※※※	①または② ①①④
005	INSなりわけ (☞P140)		※※※	①または② ①①⑤
006	疑似なりわけ (☞P141)		※※※	①または② ①①⑥
007	なりわけ動作設定 (☞P140、141)		※※※	①または② ①①⑦
008	アナログポート接続設定 (☞P35、187)		※※※	①または② ①①⑧

下線____は、お買い求め時の設定です。

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
＊	① : 電話機1 <u>① : ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機</u> ② : 電話機2 ③ : ファクス	②
＊	<u>① : 使用しない</u> ① : 疑似キヤッヂホン ② : INSキヤッヂホン	②
＊	<u>① : 着信する</u> ① : 着信しない	②
＊	<u>① : 着信する</u> ① : 着信しない	②
＊	<u>① : 使用しない</u> ① : 使用する	②
＊	<u>① : 使用しない</u> ① : 使用する	②
＊	<u>① : 識別リンク</u> ① : セキュリティ(着信拒否)	②
＊	<u>① : アナログ通信機器を接続しない</u> ① : アナログ通信機器を接続する	②

(次ページへ続きます)

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
009	メッセージあり情報通知(Lモード関連)(☞P155、156)		* * *	①または② ① ① ⑨
010	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知(☞P163)		* * *	①または② ① ① ①
011	ナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定(☞P164)		* * *	①または② ① ① ①
012	モデムダイヤルイン着信電話番号通知(☞P183、185)		* * *	①または② ① ① ②
013	モデムダイヤルイン着サブアドレス付加設定(☞P185)		* * *	①または② ① ① ③
014	転送元電話番号表示(☞P164)		* * *	①または② ① ① ④
015	内線呼出信号設定(☞P129)		* * *	①または② ① ① ⑤
016	着信拒否(☞P133)		* * *	①または② ① ① ⑥
017	受話音量調整(☞P121)		* * *	①または② ① ① ⑦
020	発信者番号(☞P161)		* * *	①または② ① ② ①

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
＊	<u>①</u> : しない ① : する	②
＊	<u>①</u> : しない ① : する	②
＊	<u>①</u> : しない ① : する	②
＊	<u>①</u> : しない ① : する	②
＊	<u>①</u> : しない ① : する	②
＊	<u>①</u> : 呼出信号1「ブルルル、ブルルル...」 ① : 呼出信号2「ブルブル、ブルブル...」	②
＊	<u>①</u> : 全て着信拒否する ① : 指定番号のみ拒否する	②
＊	<u>①</u> : 小 ① : 中 ② : 大	②
＊	電話番号 (最大32桁)	②

(次ページへ続きます)

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
021	発信者番号通知 (☞P162)		* * *	①または② ① ② ①
022	発信規制 (☞P121)		* * *	①または② ① ② ②
023	発信ポート番号指定 (☞P172)		* * *	①または② ① ② ③
024	i・ナンバー着信設定 (☞P172)		* * *	①または② ① ② ④
025	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知 (☞P167)		* * *	①または② ① ② ⑤
026	キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定 (☞P167)		* * *	①または② ① ② ⑥
027	ホットライン (☞P152)		* * *	①または② ① ② ⑦

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作																																
※	<p>① : 通知しない ② : 通知する ③ : INSネット64申し込み内容に従う</p>																																	
※	<p>① : 規制しない ② : 0発信規制 ③ : 外線発信規制</p>																																	
※	<p>① : i・ナンバー情報1 (TEL1ポートのお買い求め時の設定) ② : i・ナンバー情報2 (TEL2ポートのお買い求め時の設定) ③ : i・ナンバー情報3</p>																																	
※	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>i・ナンバー情報1</th> <th>i・ナンバー情報2</th> <th>i・ナンバー情報3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>×</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		i・ナンバー情報1	i・ナンバー情報2	i・ナンバー情報3	①	×	×	×	②		×	×	③	×		×	④	×	×		⑤		×		⑥	×			⑦				<p>= 着信可 × = 着信不可</p> 
	i・ナンバー情報1	i・ナンバー情報2	i・ナンバー情報3																															
①	×	×	×																															
②		×	×																															
③	×		×																															
④	×	×																																
⑤		×																																
⑥	×																																	
⑦																																		
	<p>お買い求め時の設定 TEL1ポート : ① TEL2ポート : ②</p>																																	
※	<p>① : しない ② : する</p>																																	
※	<p>① : しない ② : する</p>																																	
※	<p>① : しない ② : する</p>																																	

(次ページへ続きます)

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
028	ホットライン番号 (☞P152)	 * * *	①または②	① ② ⑧
029	FAX無鳴動着信 (☞P160)	 * * *	①または②	① ② ⑨
030～037	着信する番号(0～7) (☞P180)	 * * *	①または②	① ③ ⑦ ① ③ ⑧
038	サブアドレス (☞P186)	 * * *	①または②	① ③ ⑧
040～049	短縮ダイヤル(0～9) (☞P151)	 * * *	①または②	① ④ ⑨ ① ④ ⑨
050～059	疑似なりわけ番号(0～9) (☞P142)	 * * *	①または②	① ⑤ ⑨ ① ⑤ ⑨
060～069	着信拒否電話番号(0～9) (☞P133)	 * * *	①または②	① ⑥ ⑨ ① ⑥ ⑨
088	ネーム・ディスプレイ 発信者名通知(☞P168)	 * * *	①または②	① ⑧ ⑧

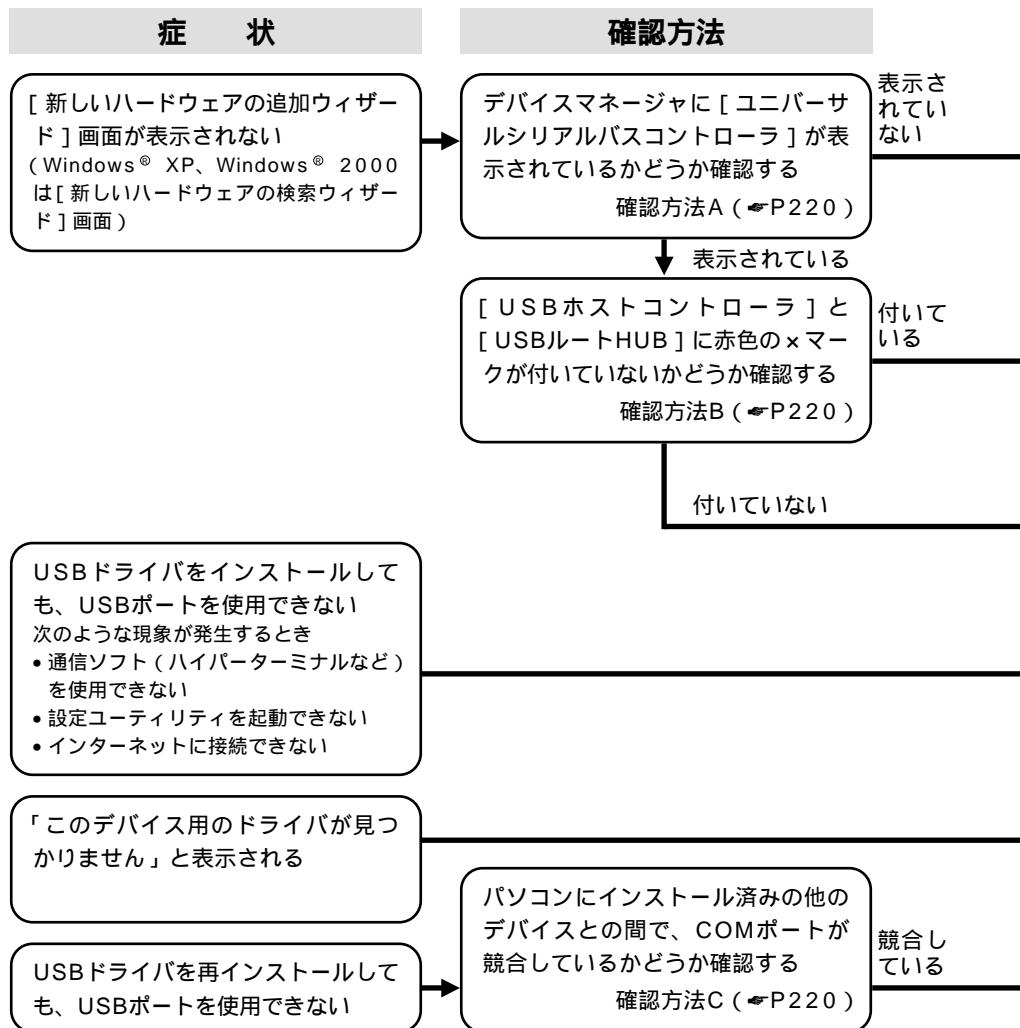
区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
④	電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあと に④、サブアドレス（最大19桁）	⑤
④	①：しない ②：する	⑤
④	電話番号（最大32桁）	⑤
④	サブアドレス（最大19桁）	⑤
④	電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあと に④、サブアドレス（最大19桁）	⑤
④	電話番号（最大32桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあと に④、サブアドレス（最大19桁）	⑤
④	電話番号（最大32桁）	⑤
④	①：しない ②：する	⑤

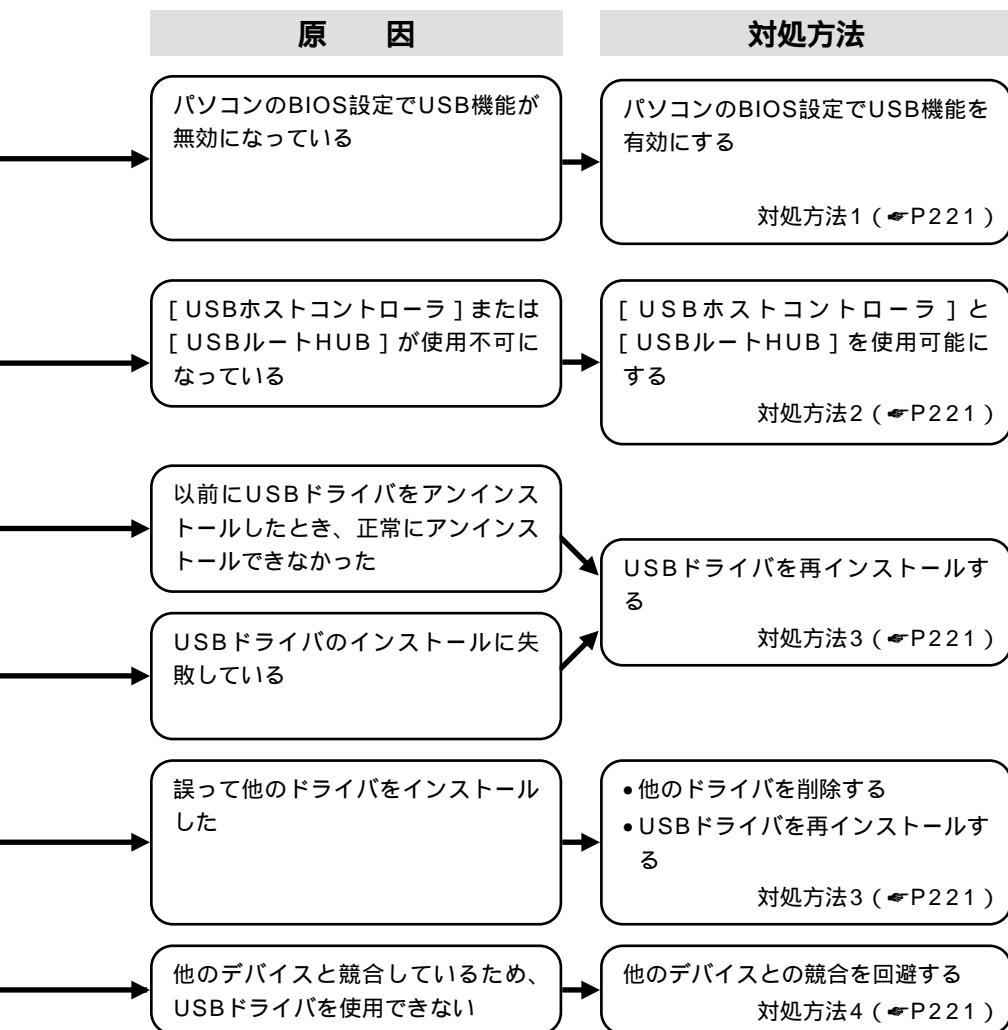
参考

1	USB ドライバについて	218
2	ご参考に	228

Windows®でUSBドライバを使用できないときは

Windows®でUSBドライバをインストールできないとき、USBドライバをインストールしても使用できないときは、次の図に従って原因を突き止め、対処してください。





確認方法

確認方法A

[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]を確認する

- Windows® XPの場合
 - [スタート]ボタンをクリックして[コントロールパネル]をクリックする。
 - [パフォーマンスとメンテナンス]をクリックする。
 - [システム]をクリックして[ハードウェア]をクリックする。
 - [デバイスマネージャ]をクリックする。
 - 一覧に[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]が表示されているか確認する。
- Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98の場合
 - [スタート]ボタンをクリックして[設定]をポイントし、[コントロールパネル]をクリックする。
 - [システム]アイコンをダブルクリックして、[デバイスマネージャ]をクリックする。
 - [デバイスマネージャ]の画面で[種類別表示]または[種類別に表示]をクリックする。
 - 一覧に[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]が表示されているかどうかを確認する。
- Windows® 2000の場合
 - [スタート]ボタンをクリックして[設定]をポイントし、[コントロールパネル]をクリックする。
 - [システム]アイコンをダブルクリックして、[ハードウェア]をクリックする。
 - [デバイスマネージャ]をクリックする。
 - 一覧に[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]が表示されているかどうかを確認する。

確認方法B

[USBホストコントローラ]と[USBルートHUB]を確認する

- [デバイスマネージャ]の画面で、[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックする。
- [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]内の[USBホストコントローラ]と[USBルートHUB]に赤色の×マークが付いているかどうかを確認する。

確認方法C

COMポートが競合しているかどうかを確認する

- INSメイトFT80btのUSBドライバ
 - Windows® XPの場合
 - [コントロールパネル]の「プリントとその他のハードウェア」「電話とモデムのオプション」「モデム」内のINSメイトFT80bt USBの接続先で確認する。
 - Windows® Me、Windows® 98 Second Editionの場合
 - [コントロールパネル]の「モデム」「全般」「プロパティ」で確認する。
 - Windows® 98の場合
 - [コントロールパネル]の「システム」「デバイスマネージャ」の「ポート(COM/LPT)」内の[INSメイトFT80bt COM (COMx)]のCOMxで確認する。
 - Windows® 2000の場合
 - [コントロールパネル]の「電話とモデムのオプション」「モデム」内のINSメイトFT80bt USBの接続先で確認する。
- 拡張RS-232Cポート
 - [デバイスマネージャ]画面の「ポート(COM/LPT)」で確認する。
- 赤外線デバイス
 - [コントロールパネル]の「赤外線モニタ」「オプション」で確認する。

[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]は、[USB (Universal Serial Bus Controller)]と表示される場合もあります。[USBホストコントローラ]の名称は、パソコンの種類により異なります。名称の最後が[Host Controller]または[ホストコントローラ]となっているのが一般的です。[USBルートHUB]は、[USBルートハブ]と表示される場合もあります。ここに記載しているものは、あくまで確認方法の例ですので、装置またはパソコンの種類によっては、手順が異なる場合があります。

対処方法

対処方法1

BIOS設定でUSB機能を有効にする

BIOSの設定方法は、パソコンの種類によって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。

対処方法3

USBドライバを再インストールする

「不要になったUSBドライバを削除するには」(☞P223)の手順に従って、インストールしたUSBドライバを削除する。
USBドライバをインストールする。

対処方法2

[USBホストコントローラ]と[USBルートHUB]を使用可能にする

<例> [USBルートHUB]に赤色の×マークが付いている場合

[USBルートHUB]をダブルクリックして、プロパティ画面を開く。

[デバイスの使用]の [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] のチェックを外し、[OK] をクリックする。

* Windows® XP、Windows® 2000の場合は、[デバイスの使用状況] で [このデバイスを使う (有効)] を選択する。赤色の×マークが消えていることを確認する。

パソコンを再起動する。

* [USBホストコントローラ]に赤色の×マークが付いている場合も同様の手順を行ってください。

対処方法4

他のデバイスとの競合を回避する

COMポートの競合を回避する手順としては、以下の2つがあります。

1. 競合している他のデバイス(拡張RS-232Cボードや赤外線デバイス)を使用不可にする

「デバイスマネージャ」画面の [ポート (COM/LPT)] で、競合しているポートのデバイスをダブルクリックする。

[デバイスの使用] の [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする。

* Windows® XP、Windows® 2000の場合は、[デバイスの使用状況] で [このデバイスを使わない (無効)] を選択する。

競合しているポートのデバイスに赤色の×マークが付く。

パソコンを再起動する。

2. 他デバイスの使用COMポート番号の設定を、本商品のUSBドライバと競合しない番号に変更する

他デバイスのCOMポートの設定方法については、製品により異なるため、その製品の取扱説明書をご覧になるか、その製品のメーカーまたはパソコンメーカーにお問い合わせください。

USBドライバをアップデートするには

INSメイトFT80btでは、イージーウィザードを利用してUSBドライバを最新のものにアップデートすることができます。バージョンアップソフトウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは以下のホームページを参照してください。

当社のホームページ <http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

Windows®をご利用の場合

- 1 イージーウィザードを起動する。
(☞P64)
- 2 [設定項目の選択と実行] 画面で
[USBドライバのアップデート]
をクリックする。
- 3 [ドライバの指定] をクリックする。
- 4 ダウンロードしたドライバを保存し
てあるフォルダを指定し、[コピー]
をクリックして、[OK] をクリッ
クする。
- 5 [次へ] をクリックする。
- 6 「ドライバをアンインストールする」
をチェックし、[次へ] をクリック
する。
- 7 以降は画面の指示に従い、[実行]
または [再起動] をクリックしま
す。

パソコンが再起動したあとは、P47からの
手順に従ってインストール操作を行います。

Mac OS 8.6、9、9.1または 9.2をご利用の場合

- 1 イージーウィザードを起動する。
(☞P66)
- 2 [USBドライバのアップデート]
をクリックする。
- 3 [ドライバの指定] をクリックする。
- 4 ダウンロードしたファイルを保存
してあるフォルダを指定し、[選択]
をクリックする。
- 5 画面の指示に従い、[アップデート]
をクリックする。
- 6 [OK] をクリックする。

お知らせ

Mac OS Xでは、Mac OS Xの標準USBドラ
イバを使用するため、USBドライバのアップ
デートはできません。

不要になったUSBドライバを削除するには

USBポートを使用しなくなった場合は、インストールしたUSBドライバを削除することができます。

USBドライバを削除する前の準備

- 1 パソコンの再起動に備えて、あらかじめすべてのアプリケーションを終了しておく。
- 2 INSメイトFT80btとパソコンをUSBケーブルで接続しておく。
- 3 Windows®をご利用の場合は、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする。
CD-ROMをセットした際に、案内ページが起動した場合は、[END]をクリックして案内ページを閉じてください。

Windows®をご利用の場合

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
- 2 CD-ROMの中の[USB]フォルダにある[UNINST]フォルダの[UNINST.EXE]を実行する。

下の画面が表示されます。



- 3 画面の説明に従って、[OK]をクリックする。
- 4 INSメイトFT80btとパソコンのUSBケーブルの接続を外し、パソコンを再起動する。

Mac OS 8.6、9、9.1または9.2をご利用の場合

- 1 [Macintosh HD]アイコンをダブルクリックする。
- 2 [システムフォルダ]内にある[機能拡張]フォルダを開き、[USB INSMATE FT80bt]を[ごみ箱]にドラッグする。
- 3 INSメイトFT80btとパソコンのUSBケーブルの接続を外し、パソコンを再起動する。

お知らせ

Windows®をご利用の場合にUSBドライバの削除を行った場合、RS-232Cポート用のモデム定義ファイルも削除されます。

Mac OS Xをご利用の場合、USBドライバはMac OS Xの標準USBドライバを使用しますので、削除しないでください。

インストールについて

Q. USBポートを使用できるパソコンのOSは何ですか。

A. Windows®では、Windows® XP、Windows® 98、Windows® 98 Second Edition、Windows® Me、Windows® 2000です。
Macintoshでは、Mac OS 8.6、9、9.1、9.2およびMac OS Xです。

[Windows®]

Q. USBドライバのインストール時にパソコンがフリーズしてしまったのですが。

A. 以下の手順で、もう一度インストールをしてください。

INSメイトFT80btの電源アダプタおよび乾電池を抜きます。

パソコンを再起動します。

パソコンが起動したら、INSメイトFT80btの電源アダプタを差し込み、乾電池を入れます。

P209の手順に従い、一度USBドライバをアンインストールします。

取扱説明書に記載の手順でUSBドライバをインストールします。

Q. イージーウィザードを用いてのUSBドライバのインストールに失敗したのですが。

A. イージーウィザードを用いてのUSBドライバのインストール、またはUSBドライバのアップデートに失敗した場合は、パソコンを再起動してやり直してください。

それでも失敗する場合は、手動でUSBドライバのインストールを行ってください。（☞CD-ROM「パソコン活用編・参考情報」）

[Macintosh]

Q. USBドライバが正常にインストールできたかどうかの確認方法を教えてください。

A. 以下の手順で確認できます。

パソコンとINSメイトFT80btの電源が入っていることを確認します。

パソコンとINSメイトFT80btがUSBケーブルで接続されていることを確認します。

システムプロフィール画面の「デバイスとボリューム」のUSBの欄（USB0/USB1など）に「通信」と表示されていることを確認します。

「通信」をクリックします。

ドライバ名に「USB INSMATE FT80bt」が表示されていることを確認します。

データ通信利用時や、設定ユーティリティ利用時

Q.通信ソフトウェアやFT80bt設定ユーティリティ動作中にUSBケーブルの抜き差しやINSメイ
トFT80btの電源のOFF ONを行ったら、パソコンがフリーズしたのですが。

A.お使いのパソコンによっては、通信ソフトウェアの動作中や、設定ユーティリティの動作中に以
下のようなことをするとパソコンがフリーズしたり、例外エラー等が発生することがあります。
そのような場合にはパソコンを再起動してください。

- USBケーブルの抜き差し（パソコンのUSBポート、INSメイトFT80btのUSBポートどちら
でも）
- INSメイトFT80btの電源をOFF ONしたとき
- 通信ソフトウェア上で、INSメイトFT80btのリセット処理（ATZ98）を行ったとき
- 電話機からの設定で、リセット処理を行ったとき

Q.パソコンのスタンバイ、サスペンド機能が動作したあと、データ通信（インターネット接続）
や設定ユーティリティの起動ができなくなるのですが。

A.パソコンのスタンバイモード、サスペンド機能を使用しないでください。

また、パソコンの省電力機能によりUSBの使用が制限されることがありますので、コントロー
ルパネルの〔パワーマネジメント〕または〔電源の管理〕などで、パソコンの省電力機能を停
止させてください。

さらに、パソコンによっては起動時のBIOS設定にて省電力の設定を行うものもあります。ご使
用になっているパソコンの取扱説明書を参照して、省電力機能を停止させてください。

Q.インターネット接続を切断したとき、パソコンがフリーズしたのですが。

A.お使いのパソコンによっては、データの送受信中に切断すると、まれにパソコンがフリーズし
たり、例外エラー等が発生することがあります。
そのような場合には、パソコンを再起動してください。

その他

Q.パソコン動作中にUSBケーブルを抜き差しするとパソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生する。

A.お使いになっているパソコンの環境によっては、パソコン動作中にUSBケーブルの抜き差しや、INSメイトFT80btの電源OFF ONを行うと、パソコンがフリーズしたり、例外エラーが発生することがありますのでご注意ください。

その場合はパソコンを再起動してください。

Q.他のUSBデバイスと同時に使用できますか。

A.1台のパソコンにINSメイトFT80btと他のUSBデバイスを同時に接続した場合、両デバイスが1つのUSBバスを共用することになります。個々のデバイスの特性、制御方法の違いにより、お互いが影響しあい、INSメイトFT80btの通信速度が遅くなったり使用できなくなる場合があります。

このような場合には、他のUSBデバイスと同時に接続しないようにしてください。

Q.Windows® XP、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000のパソコンで、USBポートが使用できないのですが。

A.パソコンによってはUSBポートがご利用になれない場合があります。詳しくは、パソコンメーカーにお問い合わせください。

Q.パソコンのOSをアップグレードしたらINSメイトFT80btのUSBポートが利用できなくなったり。

A.Windows® をアップグレードした場合は、「不要になったUSBドライバを削除するには」(☞P223)の手順に従って、以前のバージョン用のUSBドライバを削除してから、新しいバージョン用のUSBドライバのインストールを行ってください。

Q.USBポートを使用する場合のCOMポートはどこですか。

A.一般的にはCOMポート3以降です。

COMポートはパソコンのOSが自動的に決定します。パソコンに接続する周辺機器によっては使用するCOMポートが重複し、USBポートが使用できない場合があります。

このような場合には周辺機器の接続を外し、周辺機器用に使用するドライバ類を削除してください。

Q.INSメイトFT80btの液晶ディスプレイにER信号表示(「E」)が表示されたままになってしまったのですが。

A.回線を切断するのに失敗するなどして、INSメイトFT80btの液晶ディスプレイにER信号表示(「E」)が表示されたままになっている場合は、パソコンを再起動してください。

Q. Windows®でUSBドライバをインストールしても、USBポートが使用できない場合は？

A.以下の理由が考えられます。

USBドライバが正しくインストールされていなかった。

P223の手順に従って、USBドライバを削除し、INSメイトFT80btの電源アダプタおよび乾電池を抜き、電源アダプタを差し込み、乾電池を入れ、P47からの手順に従って、再度USBドライバをインストールしてください。

他のデバイスとCOMポートの競合が起きている。

USBドライバを正しくインストールしたあとでも、USBポートが使用できない場合は、インストールしたUSBドライバとすでにパソコンにインストール済みの他のデバイスとで、競合（COMポートの競合）が起きている可能性があります。

COMポートの競合を回避する手順としては、以下の2つがあります。

1. 競合している他デバイス（拡張RS-232Cボードや赤外線デバイス）を使用不可にします。

「コントロールパネル」の「システム」「デバイスマネージャ」の「ポート（COM/LPT）」で、競合しているポートのデバイスをダブルクリックします。

プロパティ画面が表示されたら、「デバイスの使用」枠内の“このハードウェアプロファイルで使用不可にする”のチェックボックスをクリックしたあと、[OK]をクリックします。

競合しているポートのデバイスに赤色の×マークが付きます。

パソコンを再起動してください。

2. 他デバイスの使用COMポート番号の設定を、本商品のUSBドライバと競合しない番号に変更します。

他デバイスのCOMポートの設定方法については、製品により異なるため、その製品の取扱説明書をご覧になるかその製品のメーカーまたはパソコンメーカーにお問い合わせください。

Q. Windows® XPまたはWindows® 2000で、USBケーブルを別のUSBポートにつなぎ替えると、設定ユーティリティが起動できなくなったり、インターネットに接続できなくなったりする。

A. Windows® XPやWindows® 2000では、接続しているUSBポートを変更した場合、そのUSBポートに対するドライバファイルのコピーが作成されます。このとき、COMポートの番号が変わるので、設定ユーティリティを起動する際には、COMポートを変更してください。
(☞P67)

また、インターネット接続するには、接続先の設定を再度行ってください。

(☞別冊「インターネット接続ガイド」)

CD-ROMの「パソコン活用編・参考情報」について

以下の項目については、付属のINSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMの「パソコン活用編・参考情報」(PDFファイル)をご覧ください。

設定ユーティリティの活用

INSメイトFT80btの設定ユーティリティを使って通信料金、通信履歴などの情報を確認する方法や、INSメイトFT80btをお買い求め時の設定に戻す方法、バージョンアップを行う方法について説明しています。

パソコンでの設定画面

INSメイトFT80btの設定ユーティリティの画面と設定内容について説明しています。

いろいろな通信機能

INSメイトFT80bt、FT80btアダプタを使った通信のいろいろな機能を紹介しています。

イージーウィザードが利用できないときは

イージーウィザードが利用できない場合に、必要なソフトウェアをインストールする方法について説明しています。

ATコマンド

ATコマンドは、米国Hayes社が開発したモ뎀を制御するコマンドで、多くのモ뎀で採用されています。INSメイトFT80btは、ATコマンドに準拠しており、さらに拡張コマンドを採用しています。ATコマンドで行う設定の主な項目は、設定ユーティリティをご利用になると簡単に設定することができます。(☞P68)



ワンポイント

フリーウェアを使用するときのダイヤルアップ初期化コマンド

- 同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するときは、半角文字で、ATQOV1 \$ N9 = 10 \$ N11 = O&DO。
- MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するときは、半角文字で、ATQOV1 \$ N9 = 10 \$ N11 = 1&DO。0は数字です。

設定記入シート

INSメイトFT80btワイヤレスセット専用CD-ROMの「パソコン活用編・参考情報」に、設定記入シート(PDFファイル)を収録しています。PDFファイルをプリントアウトして設定内容を記入し、保守のための資料としてご利用ください。



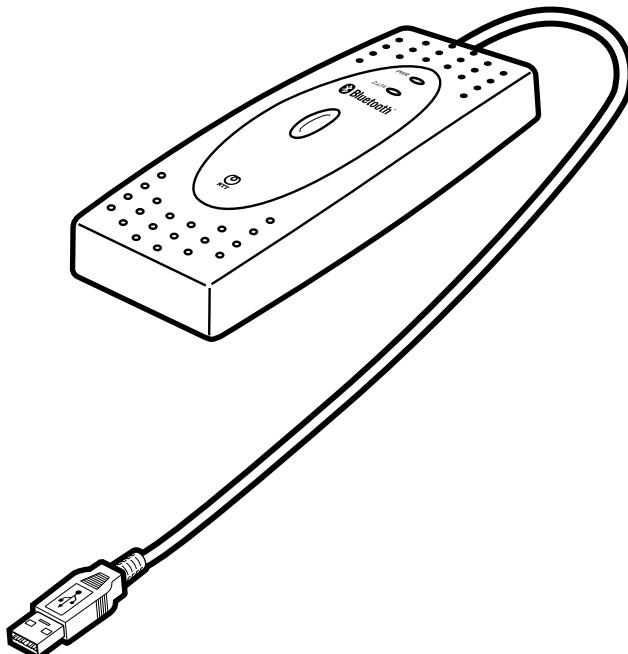
お知らせ

PDFファイルをご覧になるには、Adobe® Acrobat® Readerのインストールが必要です。案内ページの「Adobe Acrobat Readerのインストール」をクリックし、画面の指示に従って操作してください。(すでにAdobe® Acrobat® Reader4.0、4.05、または5.0がインストールされている場合は、不要です。)

オプションをご利用になるには

INSメイトFT80btのオプションとして、増設用のFT80btアダプタを別売しています。増設は同梱しているものを含め、10台まで登録することができます。増設登録につきましては、局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。

FT80btアダプタ (FT80BTアダプタ)



お知らせ

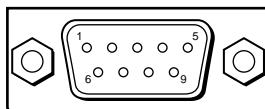
FT80btアダプタの増設登録を行っても、2台以上同時にデータ通信することはできません。

RS-232Cポートインターフェース

INSメイトFT80btのRS-232Cポートにパソコンなどを接続する場合は、付属のRS-232Cケーブルを使用してください。RS-232Cポートのインターフェースは次のようにになっています。

コネクタ形状

9ピンコネクタ（オス型）



RS-232C

RS-232Cポートインターフェースの信号線

ピン番号	JIS	信号方向 パソコン FT80bt	名称	機能
シェル	(FG)		保安用接地	装置のフレームアースです。
1	CD	←	キャリア検出	INSメイトFT80btが、パソコンにデータ受信を要求していることを示します。 ON：パソコンにデータ送受信を要求します OFF：パソコンにデータ送受信を要求しません
2	RD	←	受信データ	INSメイトFT80btからパソコンへ送られるデータです。
3	SD	→	送信データ	パソコンからINSメイトFT80btへ送られるデータです。
4	ER	→	データ端末レディ	パソコンの動作準備ができているかどうかを示します。 ON：パソコンが、データの授受の準備ができていることを示します OFF：パソコンが、データの授受の準備ができていないことを示します
5	SG		信号用接地	相互接続回路に基準電位を与えます。
6	DR	←	データセットレディ	INSメイトFT80btの動作準備ができているかどうかを示します。 ON：パソコンとデータの授受を行う準備ができていることを示します OFF：パソコンとデータの授受を行う準備ができていないことを示します
7	RS	→	送信要求	データ送信許可を要求します。 ON：データ送信許可を要求します OFF：データ送信許可を要求しません
8	CS	←	送信可	データ送信可能かどうかを示します。 ON：データ送信が可能です OFF：データ送信できません
9	CI	←	被呼表示	着信していることをパソコンに示します。 ON：着信があることを示します OFF：着信がないことを示します

通信仕様

同期方式	非同期
データ長	8 bit
パリティビット	なし
ストップビット	1 bit
通信速度	9.6/19.2/38.4/57.6/115.2/230.4 (kbit/s)

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

INSメイトFT80bt

基本的な使い方

こんなとき	原 因	確認してください	参照ページ
動作しない	接続方法が間違っている	正しく接続してください	☞P33
	電源アダプタがコンセントから抜けている	電源アダプタを正しく差し込んでください	☞P33
	内蔵DSUスイッチがOFFになっている	内蔵DSUスイッチをONにしてください	☞P29
	外付けDSUに接続していて、内蔵DSUスイッチがONになっている	内蔵DSUスイッチをOFFにしてください	☞P38
停電時に動作しない	停電時動作用の乾電池が消耗しているか、乾電池の向きが逆になっている	新品のアルカリ乾電池を正しい向きに入れてください	☞P31
PWR (POWER) ランプが赤く点滅している	停電動作中のため	故障ではありません 停電になつていない場合、電源アダプタの接続を確認してください	—
PWR (POWER) ランプ、MSG (Message) ランプが点滅している	バージョンアップ時正常に終了できなかった	再度バージョンアップ操作を行ってください	☞CD-ROM
液晶ディスプレイに何も表示されない	データ通信をしていない状態で、液晶ディスプレイがデータ系表示モードになっている	DISPボタンを押して、液晶ディスプレイを一般表示モードに切り替えてください	☞P26
本体があたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がる	故障ではありません	—
電源アダプタがあたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がる	故障ではありません	—

アナログ通信機器 / INSネット64機器

こんなとき	原 因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器の発信、着信ができない	アナログ通信機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	☞P35
	回線接続端子とINSネット64回線用モジュラジャックがしっかりと接続されていない	付属の電話機コードでしっかりと接続してください	☞P33
	停電中のため	故障ではありません 停電時動作用の新品のアルカリ電池を入れてください	☞P31
	発信規制の設定が「0発信規制」または「外線発信規制」に設定されている	発信規制の設定を「規制しない」に設定してください	☞P121, 212, CD-ROM

(次ページへ続きます)

故障かな？と思ったら

(前ページの続きです)

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器の発信、着信ができない	接続機器設定が「接続しない」に設定されている	接続機器設定を「接続しない」以外に設定してください	☞P35、187、208、CD-ROM
	128KマルチリンクPPP(☞CD-ROM)でデータ通信中で、かつリソースBOD(☞CD-ROM)を「使用しない」に設定している	データ通信を中断してください またはリソースBODを「使用する」に設定してください	☞CD-ROM
アナログ通信機器の着信ができない	なりわけ動作設定が「セキュリティ(着信拒否)」に設定されている	なりわけ動作設定を「識別リンク」に設定してください	☞P140、208、CD-ROM
	サブアドレスなし着信選択の設定が「着信しない」に設定されている	サブアドレスなし着信選択の設定を「着信する」に設定してください	☞P186、208、CD-ROM
	着信拒否の設定が「する」に設定されている	着信拒否の設定を「しない」に設定してください	☞P133、210、CD-ROM
	グローバル着信選択の設定が「着信しない」になっている	グローバル着信選択の設定を「着信する」に設定してください	☞P180、208、CD-ROM
	着信転送または疑似着信転送が設定されている	着信転送を「使用しない」に設定してください	☞P190
INSネット64用通信機器の発信、着信ができない	S/T端子にINSネット64用機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	☞P39
	終端抵抗が正しく設定されていない	終端抵抗を正しく設定してください	☞P29、40
アナログ通信機器のハンドセットを取りあげると、特定の番号に発信してしまう	ホットラインの設定が「する」に設定されている	ホットラインの設定を「しない」に設定してください	☞P152、212、CD-ROM
アナログポートに接続したファックスの着信応答ができない	ファックスを接続したアナログポートの接続機器の設定が「ファックス」で、発信側が携帯電話機、PHS対応電話機、INSネット64用通信機器などから発信した	携帯電話機、PHS対応電話機、INSネット64用通信機器などからの着信は、接続機器の設定を「電話機2」と認識するため、着信しません ファックスを接続したアナログポートの接続機器の設定を「ファックス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」に設定してください	☞P187、208、CD-ROM
	FAX自動転送(☞P158)の設定が「する」に設定されていてファックスがTEL1ポートに接続されている	ファックスをTEL2ポートに接続してください	—

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
着信時に内線着信音が鳴り、応答するとモデム音が聞こえる	ナンバー・ディスプレイ未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知が「する」に設定されている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「しない」に設定してください またはナンバー・ディスプレイに対応したアナログ通信機器を接続してください	☞P163、210、CD-ROM
	モデムダイヤルイン未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、モデムダイヤルイン着信電話番号通知が「する」に設定されている	モデムダイヤルイン着信電話番号通知を「しない」に設定してください またはモデムダイヤルインに対応したアナログ通信機器を接続してください	☞P182、210、CD-ROM
通話中に着信があるとモデム音が聞こえる	キャッチホン・ディスプレイ未対応のアナログ通信機器が接続されている状態で、キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知が「する」に設定されている	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知を「しない」に設定してください またはキャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器を接続してください	☞P167、212、CD-ROM
通話後、ハンドセットを置くと着信音が鳴ったり、発信しようとしてハンドセットを取りあげると「ブッブッ…」という発信音が聞こえる	ハンドセットを置いてから取りあげるまでの操作が速いため、内線機能がはたらいている	ハンドセットの操作をゆっくり行ってください フッキング検出タイムの設定を「長い」に設定してください 内線機能の設定を「使用しない」に設定してください	☞P120 ☞P129、204、CD-ROM ☞P129、204、CD-ROM
TEL1ポートにファクスを接続しているが、ファクス受信時1~2秒で切断されてしまう	FAX自動転送機能がはたらき、TEL2ポートへ転送されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	☞P158、204、CD-ROM
アナログ通信機器で相手の方の声や自分の声が大きく聞こえる	アナログ通信機器によっては受話音量が大きくなる場合がある	アナログ通信機器のPADを設定してください アナログ通信機器のPAD設定方法は、アナログ通信機器の取扱説明書などをご覧ください	—
		アナログ通信機器のPAD設定がない場合は、INSメイトFT80btの受話音量調整を「小」に設定してください	☞P121、210、CD-ROM

故障かな？と思ったら

(前ページの続きです)

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
アナログ通信機器で通話中に雑音が入る	INSメイトFT80btのFG端子がアースに接続されていない	INSメイトFT80btのFG端子にアースを接続してください アナログ通信機器にFG端子がある場合はFG端子をアースに接続してください	☞P33
	コードレス電話機や携帯電話機、PHS対応電話機などをINSメイトFT80btに近づけて使用している	コードレス電話機や携帯電話機、PHS対応電話機などをINSメイトFT80btから離してください	—
	FT80btアダプタを利用してワイヤレス通信しているときに、アナログポートを使用して通話をしている	アナログ通信機器をINSメイトFT80btやFT80btアダプタから離してください またはワイヤレス通信を中止してください	—
アナログポートに接続した料金表示機能付き電話機の料金表示と本商品の通信料金表示が一致しない	電話番号案内（104）や携帯電話機、PHS対応電話機に電話をした場合は正しく課金されない	故障ではありません	—
INSキャッチホンが利用できない	接続機器設定が「ファクス」に設定されている	接続機器設定を「ファクス」以外に設定してください	☞P187、208、CD-ROM
	FAX自動転送が「する」に設定されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	☞P158、204、CD-ROM
疑似キャッチホンが利用できない	接続機器の設定が「ファクス」に設定されている	接続機器設定を「ファクス」以外に設定してください	☞P187、208、CD-ROM
	FAX自動転送が「する」に設定されている	FAX自動転送を「しない」に設定してください	☞P158、204、CD-ROM
ナンバー・ディスプレイが利用できない	INSナンバー・ディスプレイを契約していない	INSナンバー・ディスプレイを契約してください	☞P163
	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定が「しない」になっている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定を「する」に設定してください	☞P163、210、CD-ROM
	ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器が接続されていない	ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続してください	☞P163
キャッチホン・ディスプレイが利用できない	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定が「しない」になっている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定を「する」に設定してください	☞P163、210、CD-ROM
	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定が「しない」になっている	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定を「する」に設定してください	☞P167、212、CD-ROM
	キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器が接続されていない	キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続してください	☞P166

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
ネーム・ディスプレイが利用できない	INSナンバー・ディスプレイおよびネーム・ディスプレイを契約していない	INSナンバー・ディスプレイおよびネーム・ディスプレイを契約してください	☞P168
	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知およびネーム・ディスプレイ発信者名通知の設定が「しない」になっている	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知およびネーム・ディスプレイ発信者名通知の設定を「する」に設定してください	☞P168、214、CD-ROM
	ネーム・ディスプレイ対応のアナログ通信機器が接続されていない	ネーム・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続してください	☞P168
INSボイスワープ / INSボイスワープセレクトが利用できない	発信者番号が登録されていない	TEL1ポートまたはTEL2ポート設定画面の発信者番号欄にINSボイスワープ / INSボイスワープセレクトを行う電話番号を登録してください	☞P196、210、CD-ROM
お出かけ設定ボタンを押しても転送が開始されない	INSボイスワープ / INSボイスワープセレクトを契約していない	INSボイスワープ / INSボイスワープセレクトを契約してください	☞P195
INSメッセージ到着お知らせサービスが利用できない	MSGランプ設定が「メッセージあり状態表示をしない」になっているまたはメッセージあり情報通知の設定が「しない」になっている	MSGランプ設定を「メッセージあり状態表示をする」にしてください またはメッセージあり情報通知の設定を「する」にしてください	☞P156、206、210、CD-ROM
	INSメッセージ到着お知らせサービス対応のアナログ通信機器が接続されていない	INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器を接続してください	☞P156

パソコン接続

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
設定ユーティリティが開けない インターネットに接続できない	RS-232Cポートをご利用のときINSメイトFT80btとパソコンの末端速度が合っていない	パソコンの通信速度設定を確認してください	—
	MacintoshでRS-232Cポートをご利用のとき、ER信号制御の設定を「常時ON」に設定していない	ER信号制御の設定を「常時ON」に設定してください	☞CD-ROM
	USBポートをご利用のときUSBドライバをインストールしていない	USBドライバをインストールしてください	☞P47、55、CD-ROM
	INSメイトFT80btとパソコンが接続されていない	INSメイトFT80btとパソコンの接続を確認してください	—
	インターネット接続時に、接続の設定が正しく設定されていない	別冊「インターネット接続ガイド」の「インターネットにうまく接続できないときのチェックポイント」を参照してください	☞別冊

故障かな？と思ったら

(前ページの続きです)

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
パソコン内蔵のモデムが使えない	パソコンの回線接続端子に電話回線を接続していない	パソコンの回線接続端子とINSメイトFT80btのTEL1ポートまたはTEL2ポートを接続してください	—
USBポートが使用できない	USBドライバをインストールしていない	USBドライバをインストールしてください	☞P47、55、CD-ROM
	OSのバージョンがUSBに対応していない	使用しているパソコンのOSのバージョンを確認してください	☞P42、43
	USBケーブルが正しく接続されていない	USBケーブルの接続を確認してください	☞P47、55、CD-ROM
	Mac OS Xをご利用の場合に設定スイッチ3がONになっている	設定スイッチ3をOFFにしてください	☞P29
USBドライバをインストールしたが動作しない(Windows® 98/98 Second Edition/Meの「デバイスマネージャ」画面のUSBドライバに「!」が付いている)	USBドライバが正しく設定されていない	USBドライバを正しく設定してください	☞P218
MUX機能が利用できない	MUX発信アドレスが正しく設定されていない	MUX発信アドレスを正しく設定してください	☞CD-ROM
	発信時に発信先を「90」と設定していない	発信先を「90」と設定してください	☞CD-ROM別冊
	1台めの接続が完了しないうちに2台めを接続しようとした	1台めの接続が完了したのを確認して、2台め以降の接続を行ってください	☞CD-ROM
	1台めのユーザ名と2台め以降のユーザ名が異なっている	ユーザ名を同じに設定してください。	☞CD-ROM別冊

FT80btアダプタ

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
ワイヤレスで通信ができない	FT80btアダプタとパソコンが正しく接続されていない	FT80btアダプタとパソコンを正しく接続してください	☞P79、80
	必要なソフトウェアがインストールされていない	必要なソフトウェアをインストールしてください	☞P76
	INSメイトFT80btとのバスキーが正しく設定されていない	バスキーを正しく設定してください	☞P84
	INSメイトFT80btとFT80btアダプタが離れすぎている	INSメイトFT80btとFT80btアダプタを近づけてください	—
	INSメイトFT80btまたはFT80btアダプタをテレビ、ラジオ、電子レンジ等に近づけて設置している	テレビ、ラジオ、電子レンジ等から離して設置してください	—
	無線リンクが確立されていない	FT80btアダプタ接続ユーティリティが起動していること、およびワントッチ接続が可能になっていることを確認してください	☞P90
	FT80btアダプタを2台以上登録している場合に、他のFT80btアダプタが通信中になっている	他のFT80btアダプタの通信を終了してください	—
	登録するINSメイトFT80btが間違っている	INSメイトFT80btのデバイスアドレスを確認し、再度登録を行ってください	☞P84
	INSメイトFT80btを初期化または登録されているバスキーを削除した	再度バスキーの登録を行ってください	☞P84
FT80btアダプタとINSメイトFT80btがワントッチ接続できない	ワントッチ接続設定が正しくされていない	ワントッチ接続の設定を正しく行ってください	☞P88
	INSメイトFT80btとFT80btアダプタが離れすぎている	INSメイトFT80btとFT80btアダプタを近づけてください	—
	電話機での操作をしたあとにハンドセットを置いてしまっている	液晶ディスプレイに[トウロクカンリョウ]と表示されるまで、ハンドセットを置かないでください	☞P84
DATAランプが点灯しない	転送しているデータ量が少ないときは、DATAランプが点灯しなかったり、暗かったりする	故障ではありません	☞P30

OS関連

Q.添付されているCD-ROM内の設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、CCLファイルが対応しているOSの種類は？

A. Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 2000、Windows NT® 4.0、Mac OS (7.6、8.0、8.1、8.5、8.6、9、9.1、9.2、X) に対応しています。ただし、Mac OS Xでは設定ユーティリティはご利用になれません。

Q.添付されているCD-ROM内の設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、CCLファイルは英語版OS (Windows®、Mac OS) に対応していますか？

A. 英語版OS (Windows®、Mac OS) には対応していません。

Q. USBポートでデータ通信をしたいのですが？

A. Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 98、Windows® 2000、Mac OS 8.6、Mac OS 9、Mac OS 9.1、Mac OS 9.2またはMac OS Xがインストールされていることが必要です。

Q. FT80btアダプタが対応しているOSの種類は？

A. Windows® XP、Windows® Me、Windows® 98 Second Edition、Windows® 2000に対応しています。

設置 / 接続

Q. 内蔵のDSUを使用しないようにできますか？

A. できます。

Q. 極性反転スイッチはついていますか？

A. INSメイトFT80btはINSネット回線の極性が反転していても自動認識して正常動作を行います。お客様が極性を意識する必要はありません。

Q. リセットスイッチ、電源スイッチはありますか？

A. ありません。INSメイトFT80btをリセットする場合は電源アダプタをコンセントから抜いて（乾電池を入れている場合は電池も一度取り外して）、再度差し込んでください（再度乾電池を取り付けてください）。この場合、設定内容は変更されません。なお、INSメイトFT80btのすべての設定内容をリセットするには設定ユーティリティのメニュー画面にある「初期化」をクリックするか、パソコンのターミナルモードからATコマンドでATZ98と入力してください。または、電話機からリセット処理（機能番号：999 ←P206）を行ってください。

Q. 乾電池は必ず入れないといけないのでしょうか？

A. 乾電池を入れていなくても通電状態の時は問題ありません。乾電池を入れていると不意の停電の際でも、すべてのポートが使用できます。なお、乾電池はお客様でご準備願います。

Q. 乾電池には何を使ってもいいのですか？

A. 公称電圧1.5 Vのアルカリ単3乾電池に限ります。電圧の低い1.2 Vのニカド電池や、長時間の使用に耐えないマンガン電池は使用しないでください。また、定期的に乾電池を交換してください。

Q.停電時に使用できる機能は何ですか？

A.パソコンなどがバッテリで動作をしていれば、すべての機能が使用できます。

Q.停電になって乾電池駆動に切り替わった後、何時間の動作ができますか？

A.アナログ通信機器の場合、新品の乾電池で待ち受け時間約3時間、または1つのアナログポートの通話で通話時間約2時間の動作ができます。

Q.S/T端子に他のDSU内蔵INSネット64用通信機器を接続することができますか？

A.DSUを未使用にできるタイプ（当社製：INSメイトV70 MAX、INSメイトV30 Tower、INSメイトFT50、INSメイトFT80btなど）が接続できます。DSUを未使用にできないタイプの場合は、そのINSネット64用通信機器にS/T端子があれば、INSメイトFT80btのDSUを未使用にすることにより接続することができます。

Q.S/T端子に他のINSネット64用通信機器を何台接続することができますか？

A.INSネット64用通信機器は、最大7台まで接続して使用できます。接続のしかたによってINSメイトFT80btの設定スイッチの「終端抵抗」の設定が異なります。INSネット64用通信機器を1台接続する場合、接続ケーブルが10 m以下であれば、設定スイッチの「終端抵抗」が「ON」の状態で使用できます。

INSネット64用通信機器の接続が1台で、接続ケーブルが10 m以上の場合、および2~7台接続する場合は、設定スイッチの「終端抵抗」を「OFF」に設定してください。またINSメイトFT80btから見てINSネット64用通信機器接続ジャックに接続した最遠端に位置するモジュラジャックには、必ず終端抵抗付きモジュラジャックをご使用ください。（☞P40）

Q.電話機を本体から離れた場所に設置する場合、アナログポートからの配線は何mまで可能でしょうか？

A.使用する電話機により異なりますが、配線するケーブルが0.5 の場合で約200 mを目安としてください。

Q.アナログポートから屋外に配線することはできますか？

A.できません。雷などによる故障の原因になりますので屋外配線は行わないでください。

Q.アナログポートはすべてのアナログ通信機器で使用できますか？

A.一般的のアナログ回線（電話回線）との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もありますのでご注意願います。

Q.購入時にRS-232CケーブルやUSBケーブルは添付されていますか？

A.パソコン接続のためのケーブル類としてRS-232Cケーブル、USBケーブルがそれぞれ1本添付されています。

Q.USBポートしかないMacintosh（iMac、PowerMac、iBook、PowerBookなど）が接続できますか？

A.INSメイトFT80btは接続できます。FT80btアダプタは接続できません。

液晶ディスプレイ表示

Q. 液晶ディスプレイに「カイセン イジョウ」と表示されています。何が原因でしょうか？

A. INSメイトFT80btは電源プラグを電源コンセントに差し込むと、自動的に自己診断を行います。自己診断が終了すると液晶ディスプレイに日付と時刻が表示されます。自己診断が終了したあとでも「カイセン イジョウ」と表示されるときは、INSネット64回線が接続されているか、または内蔵DSUスイッチが正しく設定されているか確認してください。それでも「カイセン イジョウ」と表示されるときは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

ランプ表示

Q. PWRランプが赤く点滅しています。何が原因でしょうか？

A. 乾電池で動作中です。パソコンの背面のコンセントなどからINSメイトFT80btの電源をとっている場合に、パソコンの電源を切ると、電池動作モードに切り替わる場合があり、乾電池が消耗します。電源はパソコンの背面以外のコンセントからとることをおすすめします。

アナログポート

Q. 着信時にアナログポートに接続した電話機のベルが最初の5回ほどは短いサイクルで鳴り、その後普通の呼び出し音に変わります。何か設定が必要でしょうか？

A. アナログポートにナンバー・ディスプレイ対応の電話機が接続されていない状態で、「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知」の設定が「する」になっています。ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が接続されていない場合は、「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知」の設定を「しない」にしてください。

詳しくは、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

Q. 相手側が先に終話した場合、切断信号（新たな切断信号）は出力されますか？

A. 出力されません。

Q. アナログポートに接続した電話機から発信しようとして、ダイヤルボタンを押してもツーという発信音が止まらずに発信できません。着信はできますがなぜでしょうか？

A. お使いの電話機は、ダイヤル式（DP）ではありませんか。INSメイトFT80btでは、ダイヤル式（DP）のアナログ通信機器は使用できません。プッシュ式（PB）のアナログ通信機器を接続してください。

Q. 1つのアナログポートに複数の電話機をブランチ接続することができますか？

A. 1つのアナログポートには1台のアナログ通信機器を接続してください。

Q. アナログポートに接続した電話機からアナログポートの設定ができますか？

A. TEL1、TEL2どちらのポートからでも設定できます。ただし同時にできません。

Q.インターネットに接続するのに「ISDNの場合はターミナルアダプタのアナログポートにモデムを接続してください」といわれましたがどうすればよいのですか？

A.パソコンにモデムが内蔵されている場合は、INSメイトFT80btのアナログポートとパソコン内蔵モデムの回線ジャックの間をパソコンに添付の電話機コードや市販の電話機コードで接続してください。

データポート

Q.無通信監視機能とは？

A.データポート通信中に通信相手とデータのやりとりがないとき（無通信状態）に通信を切断する機能です。監視時間を分単位で設定（0～10分：0は監視しない／初期値10分）することができます。ただし、インターネットサービスプロバイダによっては監視パケットなどを定期的に発信する場合があり、この場合は切断されませんので必ずパソコンから切断操作を行なうか、強制切断タイマとの併用でご利用ください。

Q.強制切断タイマとは？

A.データポート通信中に通信時間が設定した時間を超えたとき、強制的に通信を切断させることができます。無通信監視機能と異なり、インターネットサービスプロバイダから監視パケットが送出されても、強制的に通信を切断します。強制切断タイマは時間単位で設定（0～10時間：0は切断しない／初期値10時間）することができます。うっかりした切断忘れ防止のためにも、設定しておくことをおすすめします。

Q.INSメイトFT80btを2台対向でパソコン通信を行おうとしていますが、うまく接続できません。なにが原因でしょうか？

A.パソコン通信ソフトは非同期専用ではありませんか。INSメイトFT80btは非同期／同期PPP変換、128KマルチリンクPPP（発信のみ）での通信が可能です。非同期用のパソコン通信ソフトでは接続できません。

Q.データポートに接続したパソコンからFAXモデムを使用してFAX送受信することができますか？

A.できません。パソコンからFAXモデムを使用してFAX送受信する場合はアナログポートに接続してご利用ください。

Q.PIAFSでの発着信ができますか？

A.PIAFSには対応していません。弊社の商品ではINSメイトV70 MAX、INSメイトFT50、IPMATE1400RDが対応しています。

Q.128KマルチリンクPPPでプロバイダに接続できません。非同期／同期PPP変換（64 kbit/s）では接続できます。なぜでしょうか？

A.以下の点をご確認ください。

加入されているプロバイダは128KマルチリンクPPPに対応していますか？また128KマルチリンクPPP対応のアクセスポイントの電話番号に接続されていますか。

モデム定義ファイルは「INSメイトFT80bt MP」、「INSメイトFT80bt USB MP」、または「FT80bt Adapter MP」を選択されていますか？

(前ページの続きです)

INSメイトFT80btとパソコン間の通信速度は230.4 kbit/sで使用することをお勧めします。Windows®対応機種で使用する場合、お使いになるパソコンが230.4 kbit/sに対応していないときは、230.4 kbit/sに対応した市販の高速RS-232Cボードを別途ご用意ください。Macintoshで使用する場合、230.4 kbit/s対応の機種をお使いください。115.2 kbit/sで使用する場合は、十分な通信速度が出ない場合があります。

リソースBODを使用しない状態でアナログポートを使用していませんか。

Q.128KマルチリンクPPP接続時は料金が高くなりますか？

A.非同期／同期PPP変換の倍の料金が必要です。ただしINSテレホーダイご利用の場合は、INSテレホーダイによる料金となります。

Q.リソースBODの設定をして128KマルチリンクPPP接続を利用しています。アナログポートから発信する時は正常に発信できますが（Bチャネル1本削除）、着信時は話中となります。なぜでしょうか？

A.当社との契約で通信中着信通知サービスが必要です（月額料金：無料）。着信時すでにBチャネルの空きがない（インターネット接続でBチャネル2本使用中）状態でもDチャネルを通じて、着信があったことを通知します。

Q.スループットBODを利用して時間帯によりBチャネル接続数を自動変更することはできますか？

A.時間帯による自動変更はできません。データ量による自動変更のみ可能です。

Q.Windows®パソコンの「マイコンピュータ」、「コントロールパネル」、「モデムのプロパティ」、「詳細情報」を参照すると「ATI7～AT+FCLASS=?」が「ERROR」表示となりますか？

A.正常です。INSメイトFT80btは「ATI7～AT+FCLASS=?」はサポートしておりませんので「ERROR」をパソコンに返します。

Q.データポートのコールバック機能はありますか？

A.ありません。

Q.非同期／同期PPP変換で接続したとき、または128KマルチリンクPPPで接続したとき、どこで確認できますか？

A.液晶ディスプレイの表示で確認することができます。一般表示モードで「B1」または「B2」と表示されていれば、同期／非同期PPP（Bチャネル1本使用）で、「B12」と表示されていれば、128KマルチリンクPPP（Bチャネル2本使用）で接続されています。

Q.128KマルチリンクPPPは利用しないように設定できますか？

A.モデム定義ファイルとして「INSメイトFT80bt SYNC」、「INSメイトFT80bt USB SYNC」または「FT80bt Adapter SYNC」を選択すれば、128KマルチリンクPPP接続はできなくなります。

Q.RS-232Cの信号線のER信号を「常時ON」にすることはできますか？

A.できます。設定ユーティリティのデータポート設定内にある「ER信号制御」で「常時ON」としてください。また、ATコマンドのAT&DL0（0は数字です）でも可能です。

Q.INSなりわけサービスの機能がわからないのですが？

A.アナログポートへの着信時、登録されている電話番号から着信があった場合に通常とは異なる着信音を鳴らしたり、登録されている電話番号以外から着信があった場合は着信を拒否することができる機能です。INSなりわけサービスは当社との契約（有料）が必要です。また疑似なりわけ機能を利用するには当社とのINSナンバー・ディスプレイ（有料）の契約が必要です。

Q.ATコマンドで発信する場合、アドレスとサブアドレスの区切り子は何でしょうか？

A.区切り子は/です。（例）ATD*****/*

Q.フリーウェア利用時のダイヤルアップ初期化コマンドを教えてください？

A.非同期／同期PPP変換（同期：64 kbit/s）ATQ0V1\$N9=10\$N11=0&D0
128KマルチリンクPPP（同期：128 kbit/s）ATQ0V1\$N9=10\$N11=1&D0
0は数字です。

S/T端子

Q.S/T端子とデータポートの同時利用はできますか？

A.それぞれBチャネル1本の利用であれば可能です。

Q.S/T端子に接続した機器をダイヤルイン番号で呼ぶことはできますか？

A.できます。ダイヤルイン番号の設定はS/T端子に接続した機器に設定してください。

Q.S/T端子に接続したINSネット64用通信機器でリソースBODが使えますか？

A.使えません。リソースBODは本商品のアナログポートの発着信時に使用できます。

Q.データポートに接続したパソコンとS/T端子に接続したターミナルアダプタに接続されているパソコンで同時にインターネット接続ができますか？

A.できます。ただしINSネットのBチャネルが2本とも空きの場合です。

バージョンアップ／設定ユーティリティ／モデム定義ファイル／CCLファイル

Q.ファームウェアバージョンを確認するにはどうすればよいですか？

A.付属のINSメイトFT80btワイヤレスセットCD-ROMの中の設定ユーティリティをパソコンにインストールして、設定ユーティリティメインメニュー（起動直後の画面）の「バージョン情報」の「ファームウェアバージョン」にて確認することができます。また、INSメイトFT80btのファームウェアバージョンアップにともない設定ユーティリティもバージョンアップされることがあります。その場合の設定ユーティリティのバージョン確認は設定ユーティリティメインメニュー（起動直後の画面）の「バージョン情報」の「設定ユーティリティバージョン」にて確認することができます。

Q.ファームウェアバージョンアップを行ったあと、「通信料金」、「データ通信履歴」を確認したらすべてクリアされしていましたがなぜですか？

A.ファームウェアバージョンアップを行う際、「直前の料金情報」、「累積料金情報」、「データ通信履歴」、「データ通信最新・詳細履歴」、「カレンダ設定」の内容はクリアされます。

(前ページの続きです)

- Q. ファームウェアバージョンアップを行う際、設定内容がクリアされることはないでしょうか？
- A. バージョンアップを行う前の状態で保持されます。ただし、「直前の料金情報」、「累積料金情報」、「データ通信最新・詳細履歴」、「カレンダ設定」の内容はクリアされます。
- Q. INSタイムプラスを利用してますが、設定ユーティリティの「料金情報」で確認すると3分9円で累積されていますがなぜでしょうか？
- A. INSメイトFT80btの「料金情報」表示の内容は通信切断時の交換機からの料金情報をもとにしています。現在INSタイムプラスを考慮した料金情報が交換機から送出されないためこのようになっております。もちろん料金ご請求の際にはINSタイムプラスの料金を反映した料金となっておりますのでご安心ください。
- Q. 他のINSメイトシリーズの設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、CCLファイルはINSメイトFT80btでも利用可能ですか？
- A. 利用できません。設定ユーティリティ、モデム定義ファイル、CCLファイルは機器に添付されているものをご利用ください。
- Q. モデム定義ファイルをなくしてしまいました。ホームページからダウンロードできますか？
- A. ダウンロードできます。
- Q. アップルリモートアクセス(ARA)用の非同期CCLファイルは準備されていますか？
- A. INSメイトFT80btは非同期通信に対応しておりませんので準備されておりません。
- Q. INSメイトFT80bt用設定ユーティリティをアンインストールしたいのですが？
- A. Windows®の場合、[スタート]ボタンをクリックして[プログラム]→[INSメイトFT80btユーティリティ]→[INSメイトFT80bt ユーティリティアンインストール]をクリックします。その後、画面の説明に従い操作します。
Macintoshの場合、[INSメイトFT80bt]フォルダをごみ箱にドラッグします。
なお、USBドライバ、モデム定義ファイル、CCLファイルは削除されません。
- Q. FT80btアダプタ接続ユーティリティおよびFT80btアダプタのUSBドライバをアンインストールしたいのですが？
- A. 以下の手順で行ってください。
1. FT80btアダプタをパソコンから外します。
 2. [スタート]ボタンをクリックして[設定]→[コントロールパネル](Windows® XPの場合は[コントロールパネル](のみ))をクリックします。
 3. [コントロールパネル]の中にある[アプリケーションの追加と削除](Windows® XPの場合は[プログラムの追加と削除])をダブルクリックして、[FT80btアダプタ接続ユーティリティ]を選択し、[追加と削除](Windows® XP、Windows® 2000の場合は[変更と削除])をクリックします。その後、画面の説明に従い操作します。
 - [共有ファイルの検出]画面が表示された場合は、[はい]を選択します。
 - [ロックされたファイルの検出]画面が表示された場合は、[再起動]を選択します。
- OSをバージョンアップしていた場合、デスクトップにショートカットが残る場合がありますが、その場合はごみ箱にドラッグして削除します。

アルファベット

ATコマンド	228
Bluetooth™	75
CD-ROM	228
COMポート	
通信ポート選択	67
DATAランプ	30
DISPボタン	25
DSU	
外付けDSU	38, 40
内蔵DSU	33, 40
ER信号制御	
Macintoshの制御信号	27
FAX自動転送	158
設定する	158
FAX無鳴動着信	160
設定する	160
FG端子	28
FT80btアダプタ	30, 73, 229
FT80btアダプタ接続ユーティリティ	
Windows® XPの場合の準備	91
Windows® 2000の場合の準備	102
アンインストールする	244
インストール	76
画面	114
表示する	112
終了する	113
パソコンを登録する	82
ワンタッチ接続の設定	88
i・ナンバー	170, 172
設定する	172
モデムダイヤルイン	182
INSキャッチホン	135
すべての電話をキャッチする	199

設定する	135
優先着信ポート指定と組み合わせて	
使う	139
INSなりわけサービス	140
キャッチホンと組み合わせて使う	143
設定する	140
INSナンバー・ディスプレイ	163
キャッチホンと組み合わせて	
利用する	166
設定する	163
INSナンバー・リクエスト	165
設定する	165
INSネット64のサービス	17
i・ナンバー	170, 172
INSキャッチホン	135
INSなりわけサービス	140
INSナンバー・ディスプレイ	163
INSナンバー・リクエスト	165
INSボイスワープ	188, 195
INSボイスワープセレクト	188, 195
INSマジックボックス	189, 199
三者通話	144
着信転送	188, 190
通信中転送	149
発信者番号通知	161
フレックスホン	19, 144, 190
INSボイスワープ	188, 195
設定する	196
無応答時転送	189
無条件転送	188, 198
話中時転送	189
INSボイスワープセレクト	188, 195
設定する	196
INSマジックボックス	189, 199
設定する	199

索引

メッセージ録音	199
INSメッセージ到着お知らせサービス	156
Lモード	154
MSG (Message) ランプ	25,154,156
PWR (POWER) ランプ	25,30
Q&A	238
RS-232Cポート	28
インターフェース	230
インターフェースの信号線	230
パソコンとの接続	42
S/T端子	28,38,39
TEL1ポート	28
TEL2ポート	28
USBケーブル	24,30
USBドライバ	
Windows® でUSBドライバが 使用できないとき	218
アンインストールする	223,244
インストール	
イージーウィザードを利用して インストールする	47
イージーウィザードが 利用できないときは	228
削除する	223
USBポート	28
FT80btアダプタとパソコンとの 接続	74
INSメイフト80btとパソコンとの 接続	42
Q&A	224
USBポートが利用できるOS	42
Windows® XPの場合の準備	91
Windows® 2000の場合の準備	102
Windows® 98のバージョン	43

五十音

【ア行】

アナログポート	28
アナログポート共通の機能	202
アナログポート個別の機能	208
暗証番号	82
アンテナ	25
一般表示モード	26
イージーウィザード	44,47,51
インストール	
FT80btアダプタ	
接続ユーティリティ	76
INSメイフト80bt用	
ユーティリティ	44,55
USBドライバ	47
イージーウィザードが 利用できないときは	228
インターネット接続ガイド	21
液晶ディスプレイ	25,26
液晶ディスプレイ	
表示モード	27,121,123,206
お出かけ設定ボタン	25,198
オプション	229
音量	
受話音量を調節する	121

【カ行】

回線接続端子	28
カレンダ設定	72
乾電池	31
乾電池を入れる	31
疑似キヤッчホン	136
設定する	137
疑似三者通話	145

設定する	145	設定する	186
疑似着信転送	188,190	特定の電話機を呼び出す	171,186
設定する	191	サブアドレス通知	164,167
停止／再開する	194	参考情報	228
疑似なりわけ	140	三者通話	144
キャッチホンと組み合わせて使う	143	3人で同時に話す	147
設定する	141	相手を切り替えて話す	146
機能	16	疑似三者通話	145
キャッチホン	135	モードを変える	148
INSキャッチホン	135	シャープ(#)ボタン	
INSナンバー・ディスプレイと		シャープ(#)ボタンをダイヤル	
組み合わせて利用する	166	として使用する	121
お話し中にかかってきた電話に		終端抵抗	29,40
出る	138	受信	
疑似キャッチホン	135	着信音を鳴らさずにファクスを	
すべての電話をキャッチする	199	受信する	160
なりわけと組み合わせて利用する	143	ファクスを受信する	122
両方のアナログポートに電話機を		受話音量調整	121
接続しているとき	139	仕様	251
キャッチホン・ディスプレイ	166	接続	33
設定する	167	FT80btアダプタとパソコンとの	
切替モード	144,145,146	接続	74
グローバル着信	180	INSネット64回線の接続	33
グローバル着信を利用		INSネット64用通信機器を	
しないときは	181	接続する	39,40
故障かな？と思ったら	231	INSメイトFT80btとパソコンとの	
コネクタ形状	230	接続	42
【サ行】		アナログ通信機器を1台のみ	
サービス		接続する	35
INSネット64のサービス	17	外付けDSUを使う	38
サービスガイド	16	他のINSネット64用通信機器を	
サブアドレス	171,186	接続する	39
サブアドレスを指定して		電話機などの接続	35
電話をかける	121	接続機器の設定	171,187

設定する	187	短縮ダイヤル	151
着信できないとき	187	設定する	151
接続早わかりガイド	20	電話をかける	151
切断ボタン	25	着信	122
設定		着信音	
設定一覧	202	着信音を鳴らさずにファクスを受信する	160
設定をお買い求め時の状態に		着信音が鳴る電話機を指定する	132
戻す	201, 206	着信音で相手を識別する	140
操作を間違えたとき	201	着信拒否	133
短縮ダイヤルを設定する	151	着信転送	188, 190
中止する	201	疑似着信転送	188, 190
電話機から機能を設定する	200	設定する	191
連続して設定する	201	停止／再開	194
設定記入シート	228	着信履歴	124
設定スイッチ	29, 40	通信中着信識別通知	143
設定ユーティリティ		設定する	143
インストール	44	通信中転送	149
カレンダ設定	72	設定する	149
起動／終了	64	中止する	150
起動中の着信	64, 66	転送する	149
基本操作	70	通信料金	
通信ポート選択	67	直前の通信料金を表示する	126
メニュー画面	68	累積の通信料金を表示する	127
セット内容	24	停電	31
送信		データ系表示モード	26
ファクスを送る	120	デバイスアドレス	28, 86, 89
外付けDSU	38, 40	電源アダプタ	24
【タ行】		電源アダプタコード端子	28
ダイヤルイン	170, 180	転送	
設定する	180	お話し中に別の電話番号に転送する	149
モデムダイヤルイン	184	条件を指定して転送する	195
ダイヤル桁間タイマ	121	外からの電話を別の相手に転送する	190
ダイヤル終了識別	121		
ダイヤル種別	37		

電話機からファクスへ	
自動転送する	158
内線で転送する	130
転送元電話番号表示	164
電池	
電池カバー	28
電池動作モード	31
電池ホルダ	29
電話番号	
電話番号が通知されないとき	
メッセージで応答する	165
電話番号の通知のされたた	161
電話を受ける	122
お話し中にかかってきた電話に	
出る	138
電話に出られないときの	
いろいろな方法	188
電話をかける	120
外へ電話をかけられないように	
する	121
短縮ダイヤルで電話をかける	151
電話がかけられることの確認	37
ホットラインでかける	152
同期64 kbit/s	49
動作確認	34
登録	
パソコンを登録する	82
【八行】	
内線通話	128
内線機能を停止する	129
内線でお話し中に電話がかかって	
きたとき	129
内線転送	130
相手が応答しなかったとき	131
中止する	131
電話機からファクスに転送する	123
内線呼出信号設定	129
内蔵DSU	33,40
内蔵DSUスイッチ	29
なりわけ	140
INSなりわけサービス	140
疑似なりわけ	141
キャッチホンと組み合わせて	
利用する	143
なりわけ動作	140,142
ナンバー・ディスプレイ	
INSナンバー・ディスプレイ	163
ネーム・ディスプレイ	168
【八行】	
パスキー	84
パソコンとの接続	42,74
パソコンのOS	42
OSを確認する	43
使用できるポート	42
発信	
発信するまでの時間を変更する	121
ホットラインで電話をかける	152
発信規制	121
発信者番号	
一般回線からの電話番号も	
表示する	163
発信者番号通知	161
設定する	162
発信履歴	124
非通知理由	165
品名紙	28
ファクス	
着信音を鳴らさずに受信する	160

電話機からファクスに転送する	123	呼び分け	170
電話機からファクスへ		【ラ行】	
自動転送する	158	ランプ表示	25, 30
ファクスを受ける	122	センタにメッセージが	
ファクスを送る	120	あるとき	154, 156
フッキング	129	リセット処理	206
フッキング検出タイマ	129	【ワ行】	
フッキングの長さを設定する	129	ワイヤレス接続	90
フレックスホン	19	話者切替タイマ	148, 150
三者通話	144		
着信転送	190		
ページの構成	22		
保守サービス	253		
ホットライン	152		
解除する	153		
設定する	152		
電話をかける	152		
【マ行】			
ミキシングモード	144, 145, 147		
メッセージ録音	199		
モデムダイヤルイン	170, 182		
i・ナンバーを利用する場合	182		
ダイヤルインを利用する場合	184		
【ヤ行】			
優先着信ポート指定	132		
キヤッヂホンを利用しているとき	132		
設定する	132		
ユーティリティ			
INSメイトFT80btのユーティリティを			
インストールする	44, 55		
FT80btアダプタ接続			
ユーティリティを利用する	112		
呼出音			
内線の呼出音を変える	129		

INSメイトFT80bt

回線	適用回線	INSネット64	
	通信交換方式	Bチャネル回線交換	
	接続インターフェース	6ピンモジュラジャック（内蔵DSU未使用時は8ピンモジュラジャックとなります）	
	インターフェース形態	P-MP接続	
	レイヤ1起動種別	呼毎起動または常時起動	
S/T点インターフェース	8ピンモジュラジャック（内蔵DSU未使用時の回線接続インターフェースと共用です）		
RS-232C ポート	電気的条件	ITU-T勧告 V.28準拠	
	論理的条件	ITU-T勧告 V.24準拠	
	物理的条件	D-SUB9ピンコネクタ	
	端末速度 (kbit/s)	非同期	9.6/19.2(38.4/57.6/115.2/230.4) ()内はV.28規格外
	通信速度 (kbit/s)	非同期/同期変換	64/128
	接続手順	ATコマンド	
	フロー制御	RS/CS	
USB ポート	端末速度	非同期12 Mbit/s	
無線部	通信方式	Bluetooth™ Ver.1.1	
	使用周波数帯	2.4GHz帯(2.400 ~ 2.4835 GHz)	
	変調方式	FH-SS	
	チャネル数	79 ch	
	出力レベル	Bluetooth Power Class 1	
アナログポート		6ピンモジュラジャック×2 約-48V給電(待機時)極性反転あり ナンバー・ディスプレイ/キャッチホン・ディスプレイ/ネーム・ディスプレイ対応	
使用電源		AC100 V±10 V(50/60 Hz) 乾電池によるDC9 V(停電時)	
消費電力		約10 W	
外形寸法		約120 mm(高さ)×約56 mm(奥行)×約190 mm(幅)(アンテナ含まず)	
質量		約1.0 kg(電源アダプタ含む)	
使用条件		温度0~40 湿度20~85 % RH(結露しないこと)	

INSメイトFT80btに使用可能な電源アダプタは、**91-54909**
(定格入力: AC100 V 15 VA50/60 Hz 出力: DC11 V 600 mA) です。

仕様

FT80btアダプタ

無線部	通信方式	Bluetooth™ Ver.1.1
	使用周波数帯	2.4GHz帯 (2.400 ~ 2.4835 GHz)
	変調方式	FH-SS
	チャネル数	79 ch
	出力レベル	Bluetooth Power Class 1
ホストインターフェース	USB (端末速度 : 非同期12 Mbit/s)	
電源	USBバス給電による	
消費電力	約1.5 W	
外形寸法	約19 mm (高さ) × 約115 mm (奥行) × 約45 mm (幅) (接続ケーブル含まず)	
質量	約0.1 kg	
使用条件	温度0 ~ 40 湿度20 ~ 85 %RH (結露しないこと)	

保守サービスのご案内

保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
 （詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
 当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	<p>修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。) 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。</p>

故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： ☎ 0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

補修用部品の保有期間にについて

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

MEMO

MEMO

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： ☎ 0120 - 109217
トーカニイーナ

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2002 NTTEAST・NTTWEST



本2214-4(2002.6)
INSメイトFT80BTセットトリセツ